

プロセッサ

取扱説明書

機能編

VP-4450HD / LL-7000 用

このたびは、弊社製品をお買い上げいただきましてありがとうございます。
ご使用になる前に、本取扱説明書をよくお読みいただき、
不測の事故を回避するとともに、機器の性能を十分に発揮して、ご使用くださるようお願い致します。

はじめに

- 1 ユーザー設定画面の階層と基本操作
- 2 システムの初期設定
- 3 プロセッサへの患者情報登録・編集
- 4 画像処理機能の設定
- 5 画像の記録

目次

はじめに	5
表記の規則	6
第1章 ユーザー設定画面の階層と基本操作	7
1.1 ユーザー設定画面の階層	7
1.1.1 患者入力 キー	7
1.1.2 患者 キー	8
1.1.3 ドクター キー	8
1.1.4 手技 キー	8
1.1.5 コメント入力 キー	9
1.1.6 タイマー キー	9
1.1.7 連絡事項 キー	9
1.1.8 ドクターページ キー	9
1.1.9 周辺機器 キー	10
1.1.10 パネル キー	11
1.1.11 システム キー	16
1.1.12 画像一覧 キー	16
1.1.13 検索 キー	17
1.2 基本操作	18
1.2.1 カーソルを合わせる	18
1.2.2 サブメニューを表示する	19
1.2.3 ページを選択する	19
1.2.4 ポップアップメニューから項目を選択する	20
1.2.5 スライダーで数値を選択する	21
1.2.6 文字を入力する	22
第2章 システムの初期設定	23
2.1 病院名・日付・時刻の設定	23
2.2 マルチズーム動作モードの設定	30
2.3 スコープスイッチの設定	32
2.4 ドクター名の設定	34
2.4.1 ドクター名の登録	34
2.4.2 ドクター名の削除	37
2.5 手技名の設定	39
2.5.1 手技名の登録	39
2.5.2 手技名の削除	40
2.6 連絡事項の設定	42
2.6.1 連絡事項の登録	42
2.6.2 連絡事項の削除	43
2.7 CF メモリーカードの設定	45
2.7.1 CF メモリーカードの設定	45
2.7.2 転送済み画像の一括削除	48
2.7.3 CF メモリーカードの初期化	49
2.8 ネットワークの設定	51
2.9 プリンターの設定	55

第3章 プロセッサへの患者情報登録・編集.....	59
3.1 患者情報の登録.....	59
3.1.1 患者番号自動入力.....	59
3.1.2 患者番号固定入力.....	65
3.2 患者情報の呼び出し.....	67
3.3 患者情報の修正.....	68
3.4 患者情報の削除.....	70
3.5 磁気カードからの患者情報の登録.....	72
第4章 画像処理機能の設定.....	75
4.1 構造強調の設定.....	75
4.1.1 構造強調の切り替え.....	75
4.1.2 構造強調の設定.....	76
4.2 FICE の設定.....	81
4.2.1 FICE の切り替え.....	81
4.2.2 FICE ページの登録・呼び出し.....	82
4.2.3 FICE セットの呼び出し.....	85
4.2.4 FICE セットの設定.....	86
4.2.5 簡易 FICE スイッチ設定.....	88
4.2.6 FICE セットのリセット.....	89
4.2.7 FICE ページの削除.....	91
4.2.8 FICE 設定値の確認.....	92
4.3 色彩強調の設定.....	93
4.3.1 色彩強調機能の切り替え.....	93
4.3.2 色彩強調機能の設定.....	94
4.4 カラー調整の設定.....	98
4.4.1 「赤」と「青」の色調整.....	98
4.4.2 カラー調整の設定.....	99
4.4.3 カラー調整のリセット.....	104
4.5 シャッタースピードの設定.....	105
4.5.1 シャッタースピードの切り替え.....	105
4.5.2 シャッタースピードの詳細設定.....	106
4.6 測光モードの設定.....	109
4.6.1 測光モードの切り替え.....	109
4.6.2 測光モードの設定.....	110
4.7 ピーク検出レベルの設定.....	113
4.7.1 ピーク検出レベルの切り替え.....	113
4.7.2 ピーク検出レベルの設定.....	113
4.8 ノイズリダクションの設定.....	115
4.8.1 ノイズリダクションの切り替え.....	115
4.8.2 ノイズリダクションの設定.....	115
4.9 ハイパートーンの設定.....	117
4.9.1 ハイパートーンの切り替え.....	117
4.9.2 ハイパートーンの設定.....	117

4.10	ドクターページの登録・編集	119
4.10.1	ドクターページの登録.....	119
4.10.2	ドクターページの色調の呼び出し	121
4.10.3	ドクターページの削除.....	122
4.11	コメントの入力.....	123
4.12	タイマーのスタート/ ストップ	124
4.13	特殊光観察プリセット設定	125
4.13.1	特殊光観察プリセットの設定	125
4.13.2	特殊光観察プリセットの削除	126
4.13.3	特殊光観察プリセットのリセット	128
4.14	特殊光簡易切り替え設定	130
第5章	画像の記録.....	133
5.1	本体メモリー	133
5.2	CFメモリーカード	134
5.3	CFメモリーカード内の検索.....	135
5.3.1	CFメモリーカード内の検索.....	135
5.3.2	検索した画像の転送.....	139
5.3.3	検索した画像の削除.....	140
5.4	CFメモリーカードに記録された画像のプリント.....	141
索引	143
製品のお問い合わせ窓口について	144

はじめに

本取扱説明書の内容をよく読んで理解してから使用してください。

取扱説明書について

この取扱説明書は、光源装置 LL-7000 を使用する際の、プロセッサ VP-4450HD のユーザー設定画面で行う各種設定の詳細について説明します。

光源装置 XL-4450 をご使用の際は、本書の代わりにプロセッサ VP-4450HD に同梱している取扱説明書をお読みください。

プロセッサ VP-4450HD 取扱説明書（基本編）LL-7000 用、および、ご使用の光源装置と内視鏡の取扱説明書をあわせてよくお読みください。

<システムのバージョンについて>

VP-4450HD の制御は、ソフトウェアで行われています。このため、操作方法はソフトウェアを含むシステムのバージョンによって異なります。この取扱説明書では、Ver.2.400 ～ 2.499 の操作について説明します。

システムバージョンは、**[Shift]** キーを押しながら **[コメント入力]** キーを押したときに表示される画面の「System」の項目で確認できます。

取扱説明書の内容に不明な点や疑問点がある場合、および電子化された添付文書の閲覧については、営業所またはお買い上げの代理店のサービス窓口にお問い合わせください。

取扱説明書の読み方

◆ 表記の説明

この取扱説明書では、操作の説明をわかりやすくするために、本文中で次のような表記の規則を使っています。

■ 一般の表記

表 記	説 明
警告	回避しないと、死亡または重傷を招く可能性がある危険な状況を説明します。
注意	回避しないと、軽傷または中程度の傷害を招く可能性がある危険な状況を説明します。 回避しないと、機器の損傷を招く可能性がある状況を説明します。
(1)、(2)、(3)、...	操作手順の連続する番号は、連続した操作を示します。
参考	注釈や補足を示します。
→	参照項目を示します。

第 1 章 ユーザー設定画面の階層と基本操作

- ※ 設定画面は、DVI 端子または PC に設定された RGB TV/PC 端子に接続しているモニターに表示されます。
- ※ 設定画面を表示中、NTSC/PAL に設定された RGB TV/PC 端子、RGB TV 端子、ビデオ端子、S ビデオ端子に接続しているモニターには、「メニュー表示中です」のメッセージが表示されます。

1.1 ユーザー設定画面の階層

ファンクションキーを押すと、そのキーに割り当てられている設定画面が表示されます。各キーと設定画面の階層は、次の構成になっています。

1.1.1 患者入力 キー

患者情報入力画面（患者番号自動入力）

患者情報入力画面（患者番号自動入力）のスクリーンショット。画面には「患者情報入力」のタイトルと「患者番号 02」が表示されています。患者情報入力欄には以下の情報が表示されています：

検査番号	: 20070215
患者ID	: 123456
患者名	: フジ タロウ
性別	: なし M F
生年月日	: 1960/07/07
年齢	: 47
医師名	: AOYAMA
手技	: なし
連絡事項	: セイケンシ

画面下部には「この患者で検査する」ボタン、「登録終了」ボタン、「次の患者情報を入力する」ボタン、「内容クリア」ボタンが並んでいます。最下部には「[↓][↑]移動 [Enter]選択 [Esc]キャンセル」の操作説明があります。

患者情報入力画面（患者番号固定入力）

患者情報入力画面（患者番号固定入力）のスクリーンショット。画面には「患者情報入力」のタイトルと「患者番号 01」が表示されています。患者情報入力欄には以下の情報が表示されています：

検査番号	: 20070215
患者ID	: 123456
患者名	: フジ タロウ
性別	: なし M F
生年月日	: 1960/07/07
年齢	: 47
医師名	: AOYAMA
手技	: なし
連絡事項	: セイケンシ

画面下部には「この患者で検査する」ボタンが並んでいます。最下部には「[↓][↑]移動 [Enter]選択 [Esc]キャンセル」の操作説明があります。

1.1.2 患者 キー

患者リスト画面

患者リスト

患者リスト 1/3

番号	患者名	患者ID
01	タナカ イチロウ	123455
02	フジ タロウ	123456
03	スズキ ケンイチ	123457
04	カトウ マサコ	123458
05	ササキ ヨシハル	123459
06	モリスアウ ミヨ	123460
07	アサダ アイコ	123461
08	コバヤシ ケンタ	123462
09	イガラシ タカオ	123463
10		
11		
12		
13		
14		
15		

検査番号 : 20070215
 患者ID : 123456
 患者名 : フジ タロウ
 性別 : M
 生年月日 : 1960/07/07
 年齢 : 47
 ドクター : AOYAMA
 手技 : なし
 連絡事項 : セケンケン

患者リスト 1/3

リスト全削除

[↑][↓]移動 [Enter]選択 [Insert]編集 [Delete]削除 [Esc]キャンセル

1.1.3 ドクター キー

ドクターリスト画面

ドクターリスト

ドクターリスト 1/2

番号	ドクター名	フリーズモード	ドクターページ	FICE ページ
01	AOYAMA			
02	SHIBUYA			
03	SHINAGAWA			
04	MEGURO	フリーズ/トリガー	DoctorPage1	FICE Page1
05	ADACHI	フリーズ+トリガー	DoctorPage1	
06	ETOU			
07	SUGINAMI			
08	OTA	フリーズ	DoctorPage2	FICE Page2
09	EDOGAWA			
10	ARAKAWA	フリーズ	DoctorPage1	

ドクターリスト 1/2

リスト全削除

[↑][↓]移動 [Enter]選択 [Insert]編集 [Delete]削除 [Esc]キャンセル

1.1.4 手技 キー

手技リスト画面

手技リスト

手技リスト 1/2

番号	手技名
01	シュギ 1
02	シュギ 2
03	シュギ 3
04	シュギ 4
05	シュギ 5
06	シュギ 6
07	シュギ 7
08	シュギ 8
09	シュギ 9
10	シュギ 10

手技リスト 1/2

リスト全削除

[↑][↓]移動 [Enter]選択 [Insert]編集 [Delete]削除 [Esc]キャンセル

1.1.5 コメント入力キー

設定画面は表示されません。
 (観察画面上でコメントを入力できる状態にします。)

1.1.6 タイマーキー

設定画面は表示されません。
 (観察画面上のタイマーをスタート/ストップします。)

1.1.7 連絡事項キー

連絡事項リスト画面

☑ 連絡事項リスト

◀ 連絡事項リスト 1/2 ▶

番号	連絡事項
01	レンラクジコウ1
02	レンラクジコウ2
03	レンラクジコウ3
04	レンラクジコウ4
05	レンラクジコウ5
06	レンラクジコウ6
07	レンラクジコウ7
08	レンラクジコウ8
09	レンラクジコウ9
10	レンラクジコウ10

◀ 連絡事項リスト 1/2 ▶

🗑️ コリスト全削除

[↑][↓]移動 [Insert]編集 [Delete]削除 [Esc]キャンセル

1.1.8 ドクターページキー

ドクターページ画面

🔍 ドクターページ

設定リスト

番号	ドクターページ名
* 01	(起動時設定)
01	DoctorPage1
02	未登録
03	未登録
04	未登録
05	未登録

特殊光簡易切替設定

割り当て1	割り当て2	割り当て3
BLI	BLI-brt	設定なし

通常モード

構造強調	切時	入時
構造強調	:なし	中
輪郭強調(微細部)	:+0	+2
輪郭強調(構造部)	:+0	+2
色彩強調	切時	入時
赤色強調	:なし	なし
色彩強調	:なし	強
カラー調整		
明るさ	:+0	
赤 (R)	:+0	
緑 (G)	:+0	
青 (B)	:+0	
赤の色合い	:M1	
彩度	:+2	
コントラスト	:+2	

[↑][↓]移動 [←][→]表示モード切替 [Enter]選択 [Delete]削除 [Esc]キャンセル

1.1.9 周辺機器 キー

周辺機器設定画面

周辺機器設定

CFカード : 使用する ←
 ネットワーク : 使用する ←
 プリンター : 使用しない ←

動画記録装置 : 使用しない
 静止画記録装置 : 使用しない
 連帯装置 : 使用しない

設定終了

[↑][↓]移動 [Enter]選択 [Esc]キャンセル

サブメニュー

CFカード設定

使用 : 使用する
 圧縮率 : 1/20 (JPEG)
 記録可能枚数警告メッセージ : ON
 画面表示 : OFF

情報1 :
 情報2 :
 CFカード使用率 : 40%使用 5MB 空き

転送済バックアップ画像の一括削除 ←
 CFカード初期化 →

設定終了

[↑][↓]移動 [Enter]選択 [Esc]キャンセル

ネットワーク設定

使用 : 使用する
 圧縮率 : 1/20 (JPEG)

CFカードにバックアップ : する
CFカードにバックアップする場合 CFカードの設定は無効になります。
 転送済バックアップ画像 : 検査終了時に削除する
 未転送バックアップ画像 : 検査開始時に再送する

情報1 :
 情報2 :

設定終了

[↑][↓]移動 [Enter]選択 [Esc]キャンセル

プリンター設定

使用 : 使用しない
 プリント枚数 : 1
 マルチプリント : 4in1

設定終了

[↑][↓]移動 [Enter]選択 [Esc]キャンセル

1.1.10 パネル キー

パネルスイッチ設定画面

サブメニュー

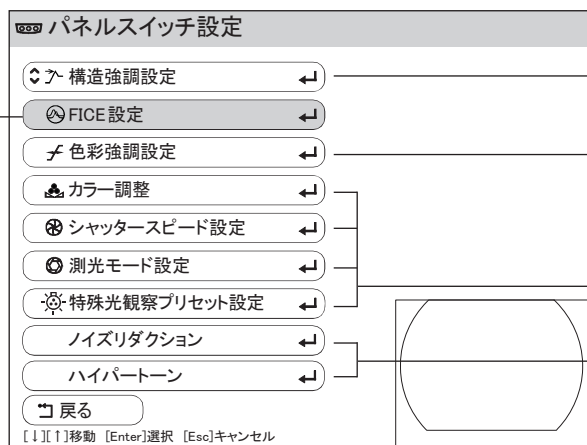
通常モードの場合：

BLI の場合：

BLI-bright の場合：

LCI の場合：

パネルスイッチ設定画面



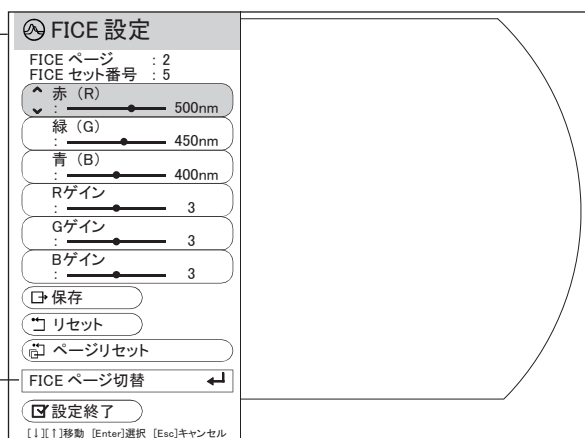
このサブメニューは P10 に表示しています

このサブメニューは P12 に表示しています

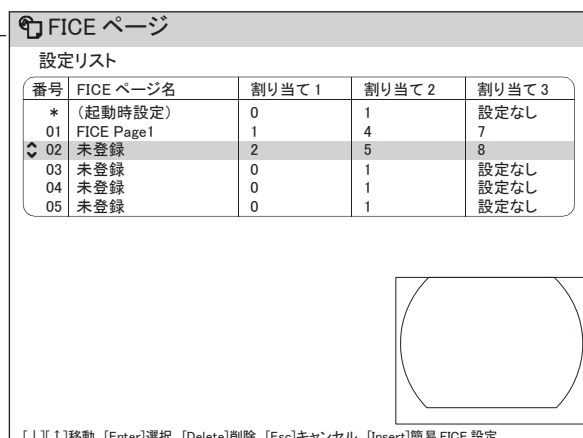
この4つのサブメニューは P13 に表示しています

この2つのサブメニューは P14 に表示しています

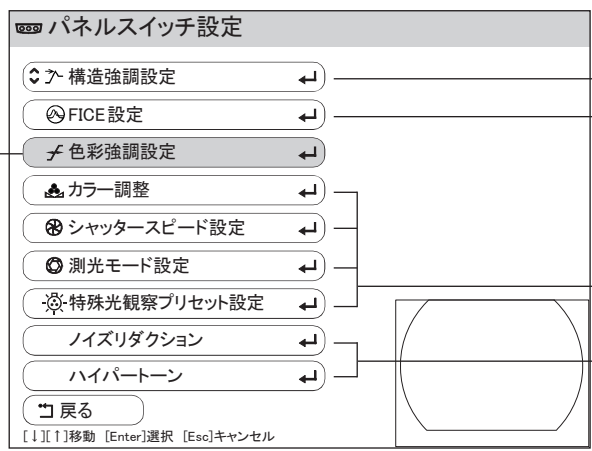
サブメニュー



サブメニュー



パネルスイッチ設定画面



このサブメニューは P10 に表示しています

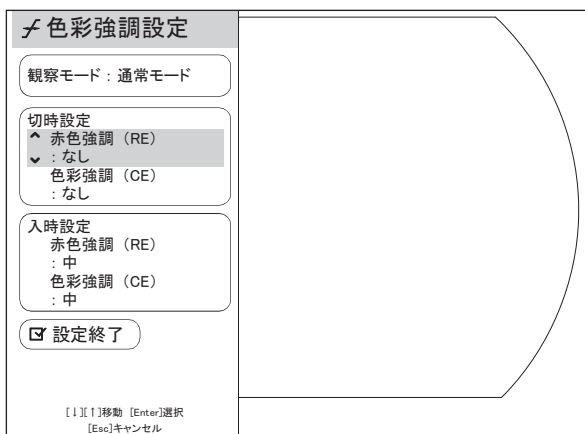
このサブメニューは P11 に表示しています

この4つのサブメニューは P13 に表示しています

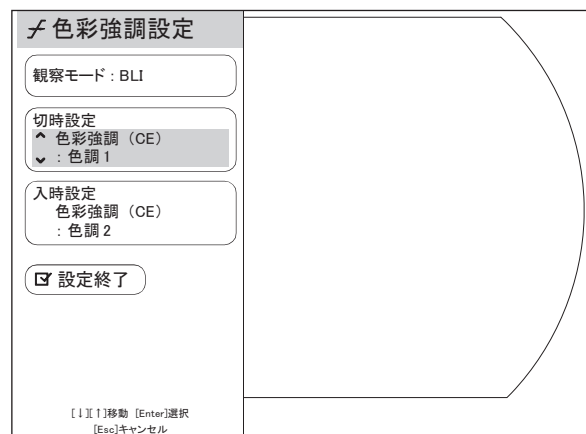
この2つのサブメニューは P14 に表示しています

サブメニュー

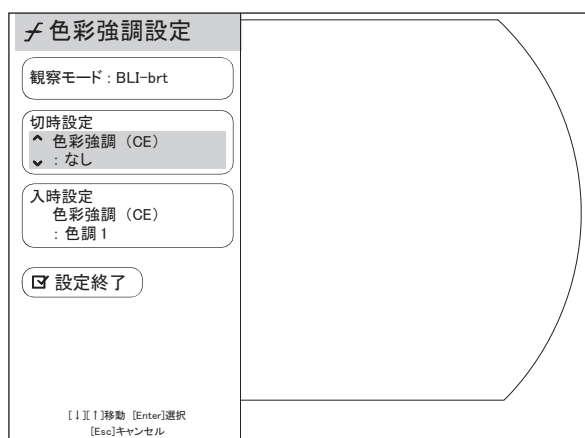
通常モードの場合:



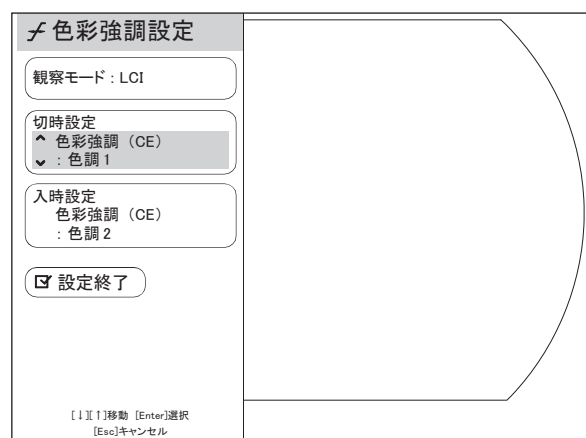
BLI の場合:



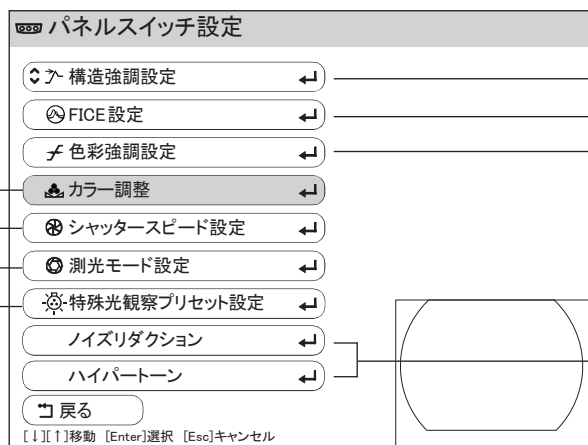
BLI-bright の場合:



LCI の場合:



パネルスイッチ設定画面



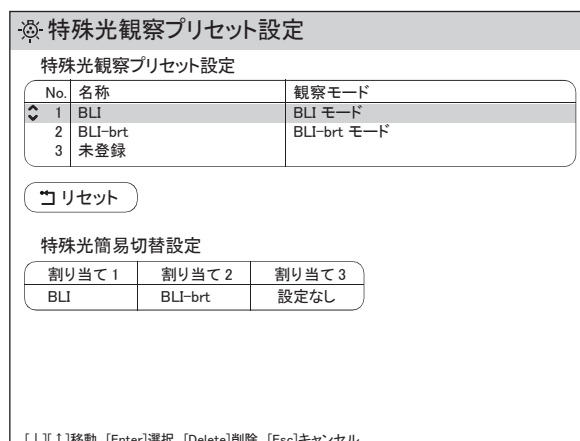
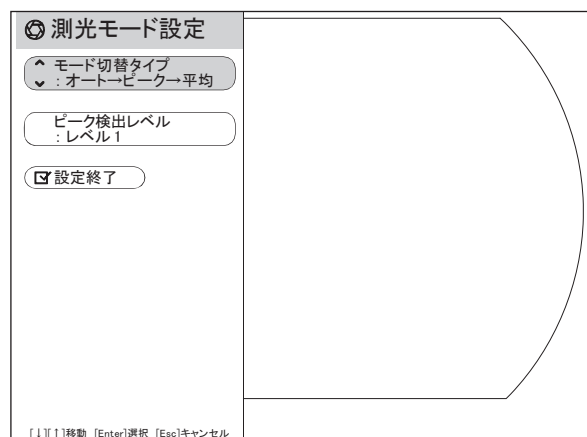
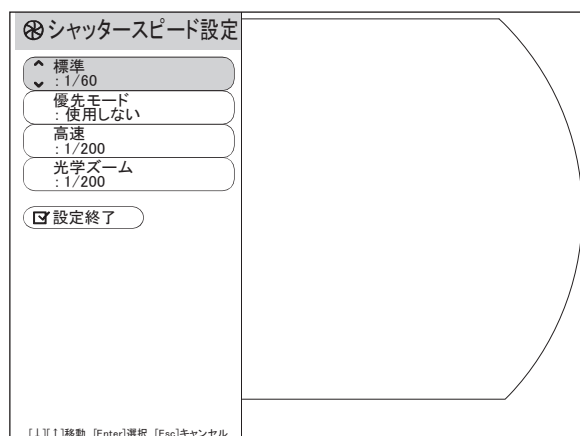
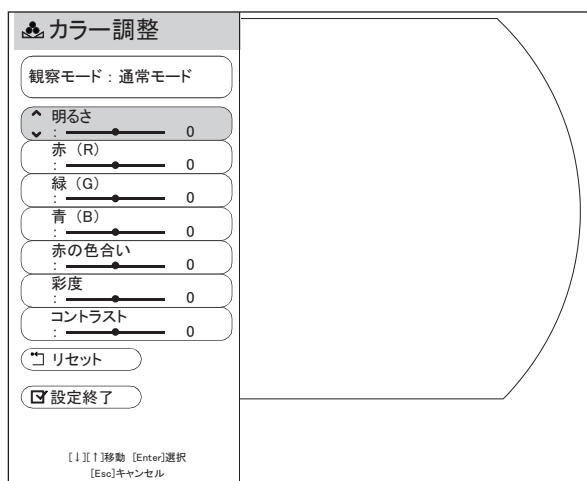
このサブメニューは P10 に表示しています

このサブメニューは P11 に表示しています

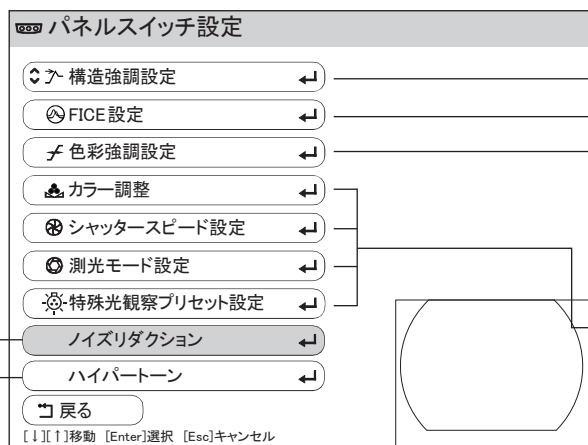
このサブメニューは P12 に表示しています

この2つのサブメニューは P14 に表示しています

サブメニュー



パネルスイッチ設定画面



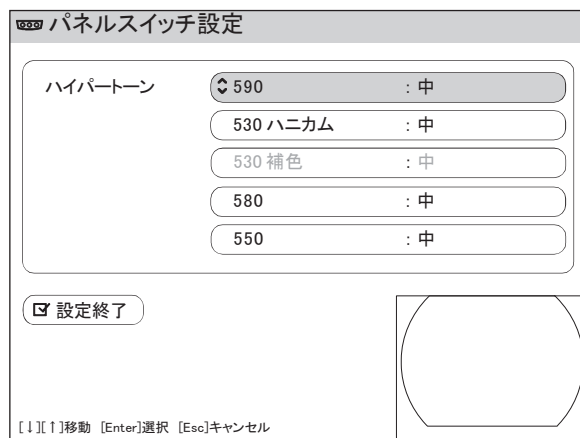
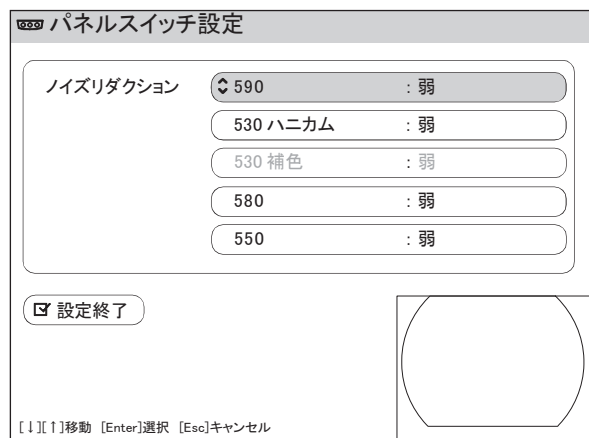
このサブメニューは P10 に表示しています

このサブメニューは P11 に表示しています

このサブメニューは P12 に表示しています

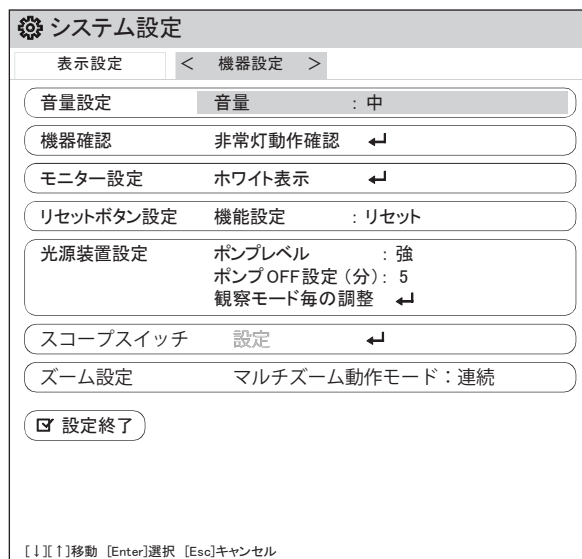
この4つのサブメニューは P13 に表示しています

サブメニュー



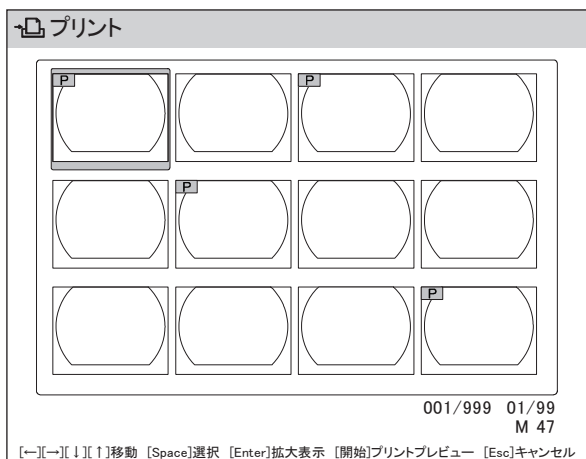
1.1.11 システム キー

システム設定画面

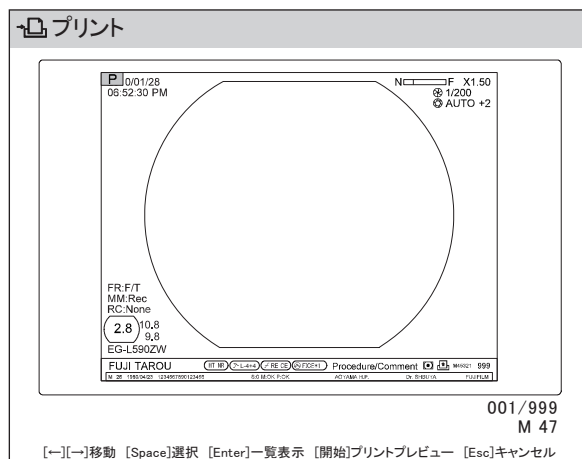


1.1.12 画像一覧 キー

プリント画面 (一覧表示)



プリント画面 (拡大表示)



1.1.13 検索 キー

検索画面（条件入力）
ネットワーク使用時

検索

条件設定

⇅ 検査番号 or 患者ID : 123456

検査日付 : 2007/12/31

CF画像 : 含める

FTP未転送バックアップ画像 : 含める

FTP転送済バックアップ画像 : 含める

[↓][↑]移動 [Enter]選択 [Esc]キャンセル

検索画面（リスト）

検索

検索条件 : 123456 NA

◀ 検索結果 1/4 ▶

番号	検査日付	患者ID	患者名	検査番号
01	2007/09/22	123456	フジ タロウ	0223456
⇅ 02	2007/09/22	123456	フジ タロウ	0223456
03	2007/09/22	123456	フジ タロウ	0223456
☺ 04	2007/09/22	123456	フジ タロウ	0223456
05	2007/09/22	123456	フジ タロウ	0223456
☹ 06	2007/11/10	123456	フジ タロウ	0223457
☹ 07	2007/11/10	123456	フジ タロウ	0223457
☺ 08	2007/11/10	123456	フジ タロウ	0223457
09	2007/11/10	1234567	フジ ハナコ	0223458
10	2007/11/10	1234567	フジ ハナコ	0223458
11	2007/12/31	123456	フジ タロウ	0223459
12	2007/12/31	123456	フジ タロウ	0223459
13	2007/12/31	123456	フジ タロウ	0223459
14	2007/12/31	123456	フジ タロウ	0223459
15	2007/12/31	123456	フジ タロウ	0223459

◀ 検索結果 1/4 ▶

[↓][↑]移動 [Enter]選択 [Esc]キャンセル [N]転送 [D]削除

1.2 基本操作

ここでは、設定画面での基本操作の一例について説明します。

参考 観察中は、設定画面の右下に観察画面が子画面で表示されます。

1.2.1 カーソルを合わせる

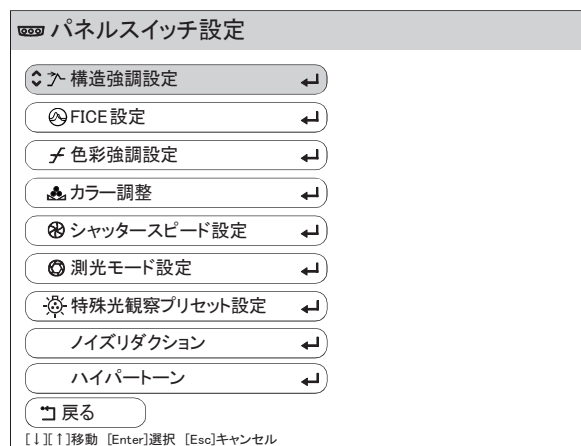
この取扱説明書で「カーソルを合わせる」とは、項目がバーカーソルで選択されている状態を指します。

カーソルを合わせた項目は、濃い緑色など、色が変わった状態で表示されます。

- (1) メニューを表示します。

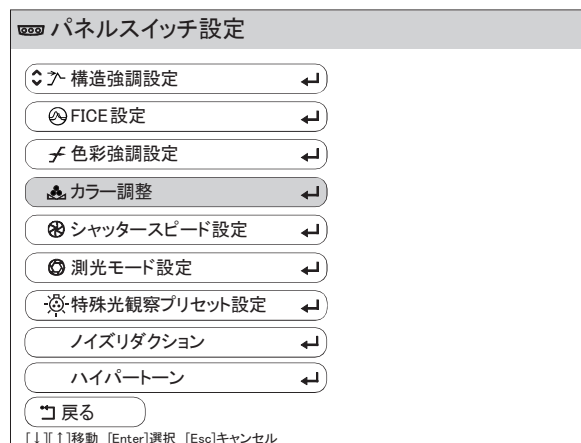
参考

基本的に一番上の項目にカーソルが合った状態で表示されます。



- (2) **↑**、**↓** キーで、目的の項目までカーソルを移動します。

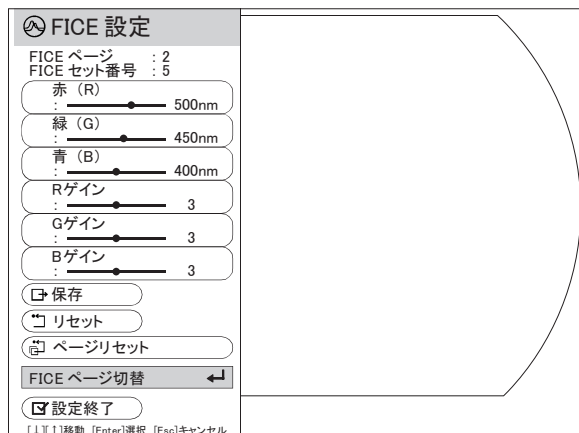
- (3) カーソルを合わせた項目は色が変わり、設定をすることができます。



1.2.2 サブメニューを表示する

右端に「←」が表示されている項目は、サブメニューを表示することができます。

- (1) 「←」のある項目にカーソルを合わせます。



- (2) **[Enter]** キーを押すと、サブメニューに移動します。

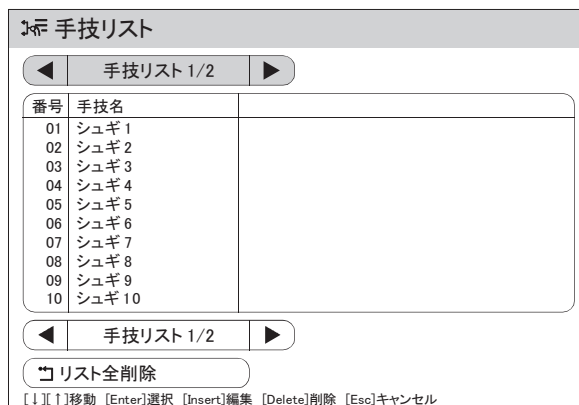
参考

サブメニューから前の画面に戻ることはできません。

番号	FICE ページ名	割り当て 1	割り当て 2	割り当て 3
*	(起動時設定)	0	1	設定なし
01	FICE Page1	1	4	7
02	未登録	2	5	8
03	未登録	0	1	設定なし
04	未登録	0	1	設定なし
05	未登録	0	1	設定なし

1.2.3 ページを選択する

- (1) **[↑]**、**[↓]** キーで、ページ番号を表示しているバーにカーソルを合わせます。

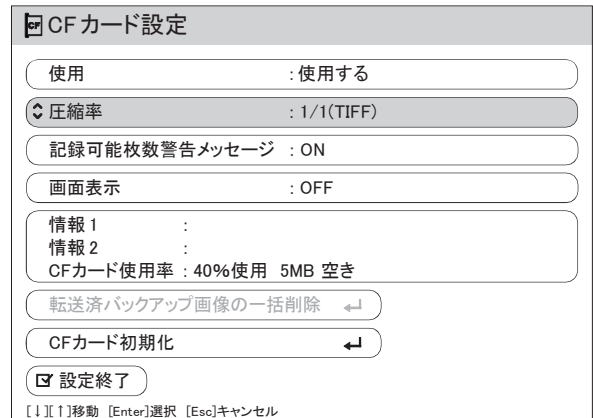


- (2) ◀、▶キーで、ページを選択します。
- (3) ページ番号が変化し、そのページに含まれる情報が表示されます。



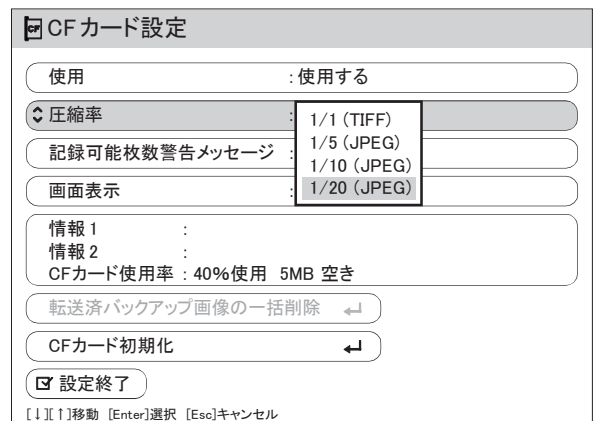
1.2.4 ポップアップメニューから項目を選択する

- (1) ↑、↓キーで、設定する項目までカーソルを移動します。



- (2) [Enter]キーを押すと、選択項目がポップアップメニューで表示されます。

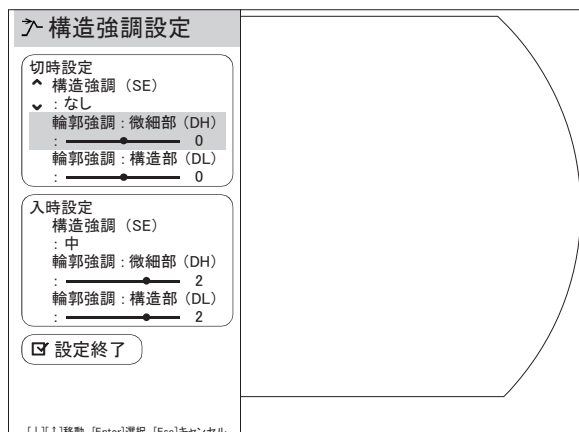
- (3) ポップアップメニューが表示された状態で↑、↓キーを押し、メニュー内の項目にカーソルを合わせます。



- (4) [Enter]キーを押すと、(3)で選択した項目を設定し、メニュー画面に戻ります。

1.2.5 スライダーで数値を選択する

- (1) **↑**、**↓** キーで、設定する項目までカーソルを移動します。



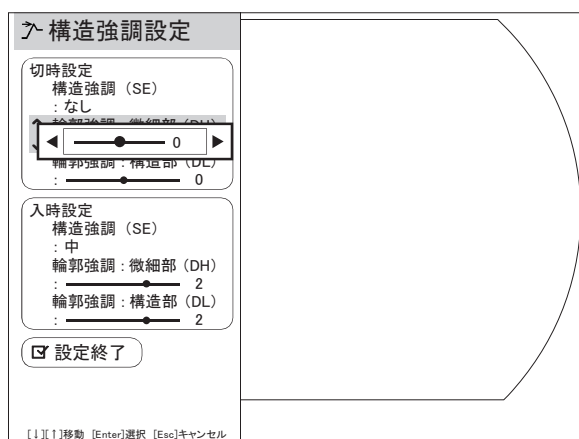
- (2) **Enter** キーを押すと、スライダーがポップアップで表示されます。

- (3) スライダーがポップアップで表示された状態で **←**、**→** キーを押すと、スライダーの「●」印が左右に移動し、数値が変化します。

参考

FICE 設定画面では、**Enter** キーを押さずに、**←**、**→** キーを押してスライダーで数値を選択します。

- (4) **Enter** キーを押すと、(3) で選択した数値を設定し、(1) の画面に戻ります。



1.2.6 文字を入力する

- (1) **↑**、**↓** キーで、設定する項目にカーソルを合わせます。

検索

全検索開始

条件設定

検査番号 or 患者ID	:	
検査日付	:	/ /
CF画像	:	含める
FTP未転送バックアップ画像	:	含める
FTP転送済バックアップ画像	:	含める

検索開始

[↑][↓]移動 [Enter]選択 [Esc]キャンセル

- (2) **Enter** キーを押すと、文字カーソル「|」が表示され、文字入力ができる状態になります。

参考

メニュー画面の下に「[Insert] 編集」と表示されている場合は、**Insert** キーを押して文字カーソルを表示します。

文字入力の際は画面下の表示に従って **Enter** キー、または **Insert** キーを押してください。

検索

全検索開始

条件設定

検査番号 or 患者ID	:	1234
検査日付	:	/ /
CF画像	:	含める
FTP未転送バックアップ画像	:	含める
FTP転送済バックアップ画像	:	含める

検索開始

[↑][↓]移動 [Enter]選択 [Esc]キャンセル

- (3) 英数字を入力する場合はキーボードから直接入力します。**Caps Lock** キーを押すか、**Shift** キーを押しながら入力すると、小文字を入力します。

カタカナ/ローマ字 キーを押すと、カナの直接入力と英数字入力を切り替えます。

カナをローマ字入力するには、**Caps Lock** キーを押します。

- (4) 文字カーソルより前の文字を削除する場合は **Backspace** キー、後の文字を削除する場合は **Delete** キーを押します。

- (5) 入力が終わったら、**Enter** キーを押して確定します。

第2章 システムの初期設定

この章では、システムの初期設定の操作について説明します。

参考 観察中は、設定画面の右下に観察画面が子画面で表示されます。

2.1 病院名・日付・時刻の設定

観察画面に表示される病院名、日付、時刻の設定方法について説明します。日付、時刻は工場出荷時に設定済みですので、必要に応じて設定してください。

- (1) キーボードの **[システム]** キーを押します。
システム設定画面が表示されます。

参考

設定画面では、**[↑]**、**[↓]** キーで上下の項目にカーソルを合わせ、**[Enter]** キーで設定項目を選択できます。
「表示設定」または「機器設定」にカーソルを合わせ、**[←]**、**[→]** キーを押すと、設定画面を切り替えることができます。

- (2) 「日時設定」の「年月日設定」にカーソルを合わせ、**[Enter]** キーを押します。

数字を入力し **[Enter]** キーを押すとカーソルが次に移動します。

システム設定

< 表示設定 > 機器設定

日時設定

年月日設定	: 2007/12/31
日付表示形式	: Y/M/D
時間設定	: 1 : 23 : 33
時間表示形式	: 12 時間
タイムゾーン	: GMT + 11 時間

病院施設名称 病院施設名称 :

表示する情報

マスクタイプ	: タイプ1
検査情報	: 患者ID
スコープ情報	: スコープタイプ

設定終了

[↑][↓]移動 [Enter]選択 [Esc]キャンセル

システム設定

< 表示設定 > 機器設定

日時設定

年月日設定	: 2007/12/31
日付表示形式	: Y/M/D
時間設定	: 1 : 23 : 33
時間表示形式	: 12 時間
タイムゾーン	: GMT + 11 時間

病院施設名称 病院施設名称 :

表示する情報

マスクタイプ	: タイプ1
検査情報	: 患者ID
スコープ情報	: スコープタイプ

設定終了

[↑][↓]移動 [Enter]選択 [Esc]キャンセル

参考

日付表示形式を変更する場合は、「日付表示形式」にカーソルを合わせ、**[Enter]** キーを押します。ポップアップメニューが表示されるので、日付表示形式を「Y/M/D (西暦年/月/日)」「D/M/Y (日/月/西暦年)」「M.D.Y (月名の略称/日/西暦年)」から選択します。



- (3) 「時間設定」にカーソルを合わせ、**[Enter]** キーを押します。時刻を入力し、**[Enter]** キーを押すと、カーソルが次に移動します。

[Enter] キーを押した時点から時刻が進みます。



参考

時刻表示形式を変更する場合は、「時間表示形式」にカーソルを合わせ、**[Enter]** キーを押します。ポップアップメニューが表示されるので、時刻表示形式を「24 時間」または「12 時間」から選択します。



- (4) 「タイムゾーン設定」にカーソルを合わせ、**Enter** キーを押します。

標準時間 (GMT) からの増減方向と増減値を入力し、**Enter** キーを押すと、カーソルが次に移動します。

[設定終了] を押した時点で設定したタイムゾーンが反映されます。

参考

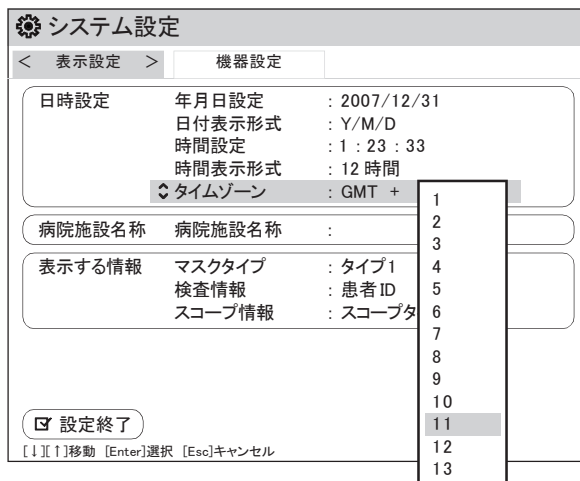
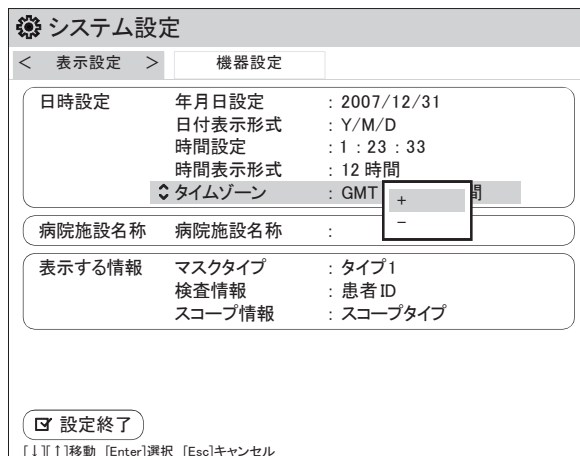
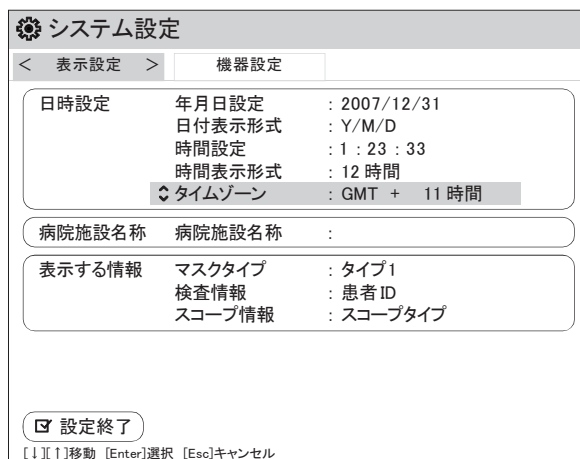
グリニッジ標準時間からの時差をタイムゾーンとして設定することができます。
出荷する地域に応じて変更してください。

参考

タイムゾーン設定を変更する場合は、「タイムゾーン設定」にカーソルを合わせ、**Enter** キーを押します。
標準時間 (GMT) からの増減方向のポップアップメニューが表示されるので、「+」または「-」から選択し、**Enter** キーを押します。

参考

再度、**Enter** キーを押すと、標準時間 (GMT) からの増減値のポップアップメニューが表示されるので、時間を設定します。
増減方向の設定によって、増減値で設定できる値は変わります。



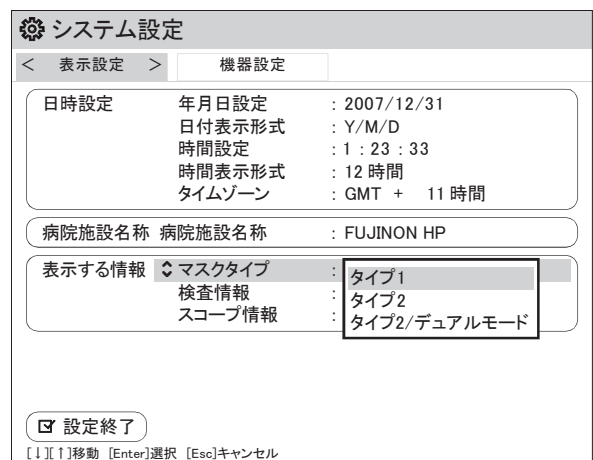
- (5) 「病院施設名称」の「病院施設名称」にカーソルを合わせ、**[Enter]**キーを押します。
 文字入力ができるようになるので、病院名を入力し、**[Enter]**キーを押します。
 病院施設名称は 20 文字以内で入力します。



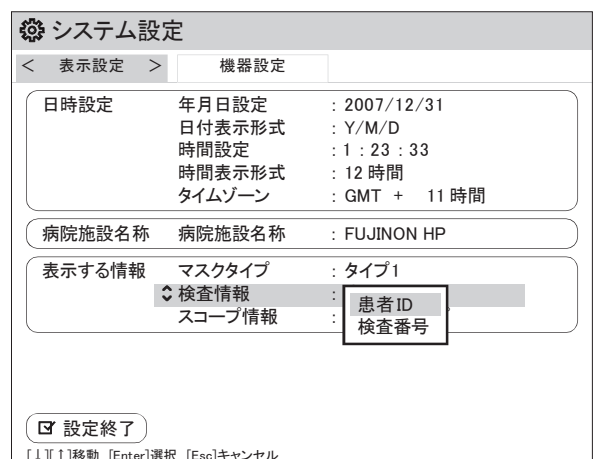
- (6) 「表示する情報」の「マスクタイプ」にカーソルを合わせ、**[Enter]**キーを押します。
 ポップアップメニューが表示されるので、マスクタイプを「タイプ 1」、「タイプ 2」または「タイプ 2/デュアルモード」から選択します。
 ここで選択したマスクを観察画面に表示します。

参考

観察モードが BLI、BLI-bright または LCI の場合は「タイプ 2/デュアルモード」に設定しても、子画面に動画は表示されません。



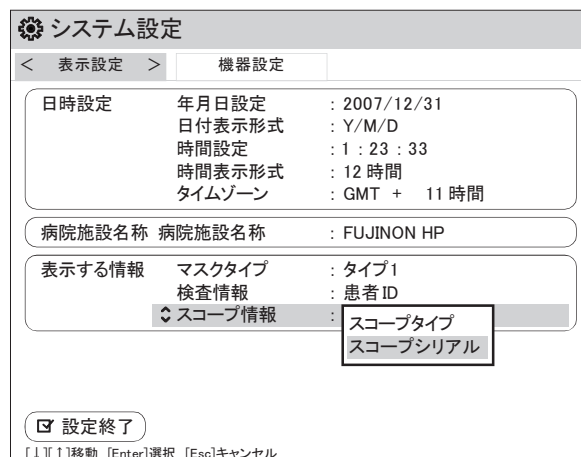
- (7) 「表示する情報」の「検査情報」にカーソルを合わせ、**[Enter]**キーを押します。
 ポップアップメニューが表示されるので、表示する情報を「患者 ID」または「検査番号」から選択します。
 ここで選択した情報が観察画面の下段に表示されます。



- (8) 「表示する情報」の「スコープ情報」にカーソルを合わせ、**[Enter]**キーを押します。

ポップアップメニューが表示されるので、スコープ情報を「スコープタイプ」または、「スコープシリアル」から選択します。

ここで選択したスコープ情報を観察画面に表示します。



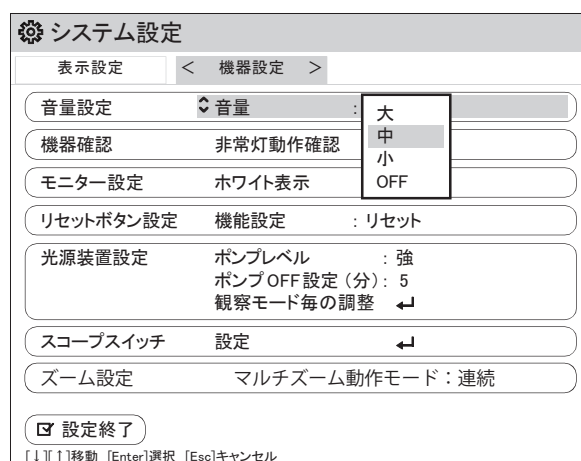
- (9) 「機器設定」にカーソルを合わせた後、「音量設定」の「音量」にカーソルを合わせ、**[Enter]**キーを押します。

ポップアップメニューが表示されるので、スピーカー音量を「大」「中」「小」「OFF」から選択します。

OFF は音が出ません。

参考

- ・「音量」設定時、確認音が出ます。
- ・LL-7000 を使用している場合は、「機器確認」の「非常灯動作確認」の操作は不要です。



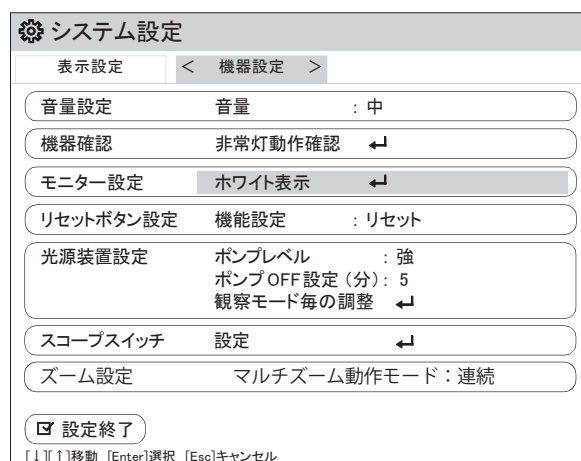
- (10) 「モニター設定」の「ホワイト表示」にカーソルを合わせ、**[Enter]**キーを押すと、画面全体を白で表示します。**[Esc]**キーまたは**[Enter]**キーを押すと、システム設定画面に戻ります。

参考

検査中「ホワイト表示」は選択できません。

この機能は液晶モニターの画面の自動位置調整に使用します。

液晶モニターの画面の自動位置調整について、詳しくは各液晶モニターの取扱説明書をご参照ください。



- CDL1909A、CDL1576A 設置マニュアル
- RADIANCE24 付属の取扱説明書
- CL-22 (CL22220-FFCL22)、CL-24 (CL24244-FFCL24) の取扱説明書

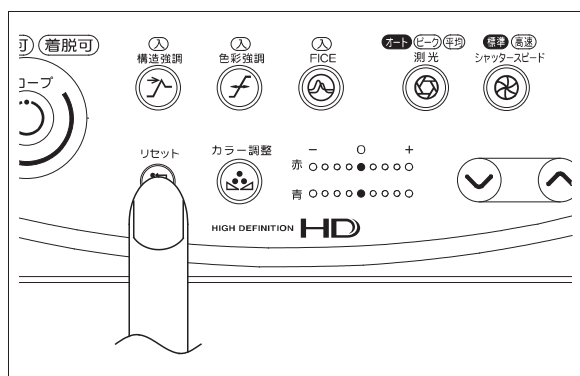
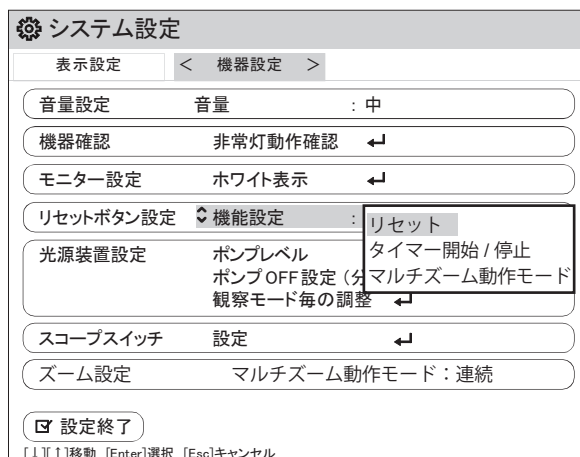
(11) 「リセットボタン設定」の「機能設定」にカーソルを合わせ、**[Enter]**キーを押します。

ポップアップメニューが表示されるので、リセットボタンに割り当てる機能を「リセット」、「タイマー開始 / 停止」または「マルチズーム動作モード」から選択します。

参考

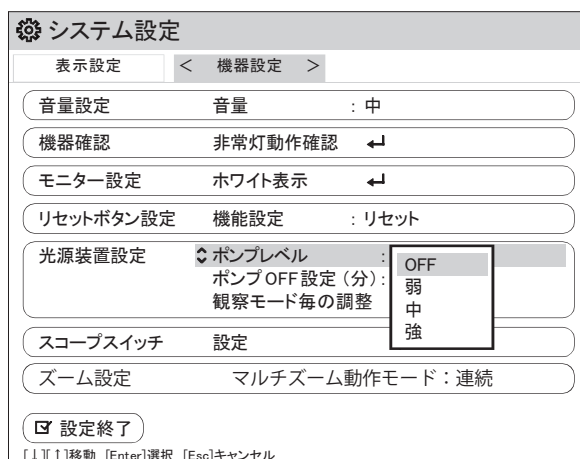
「タイマー開始 / 停止」または「マルチズーム動作モード」を選択した場合、リセットボタンによる撮影枚数カウンターのリセットおよびカラー調整値のリセットはできなくなります。

この設定により、前面パネルのリセットボタンの機能が変わります。

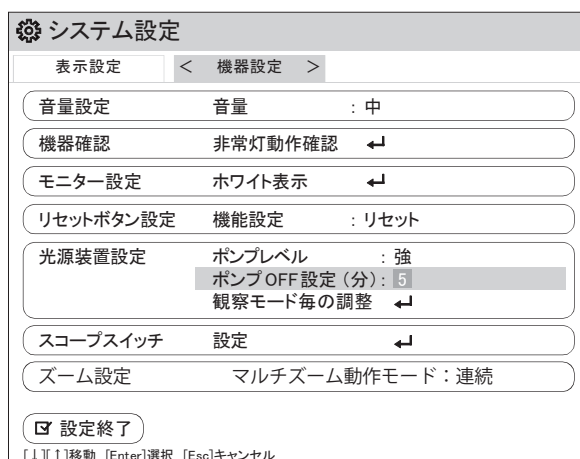


(12) 「光源装置設定」の「ポンプレベル」にカーソルを合わせ、**[Enter]**キーを押します。

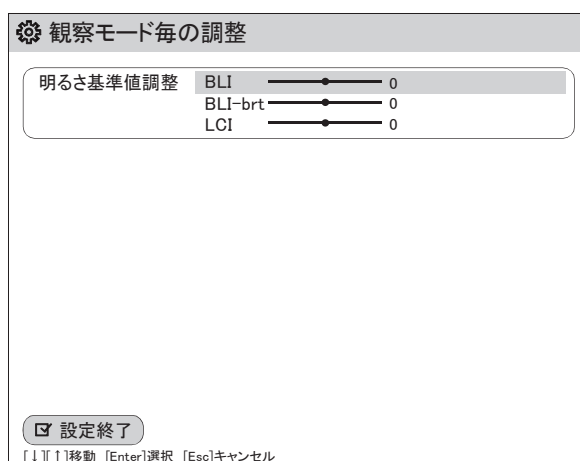
ポップアップメニューが表示されるので、「OFF」、「弱」、「中」、「強」から選択します。検査開始時にここで選択したポンプレベルを送気ポンプのデフォルト設定として適用します。



- (13) 「光源装置設定」の「ポンプ OFF 設定 (分)」にカーソルを合わせ、**[Enter]** キーを押します。カーソルが表示されるので、数値 (分) を入力してください。検査終了時からここで設定した時間後に自動で送気ポンプが OFF になります。設定可能範囲は 0 ~ 60 (分) です。



- (14) 「光源装置設定」の「観察モード毎の調整」にカーソルを合わせ、**[Enter]** キーを押します。カーソルが表示されるので、調整値 (「-1」、「0」または「1」) を入力してください。ここで設定した基準値を特殊光観察時の明るさ基準として適用します。

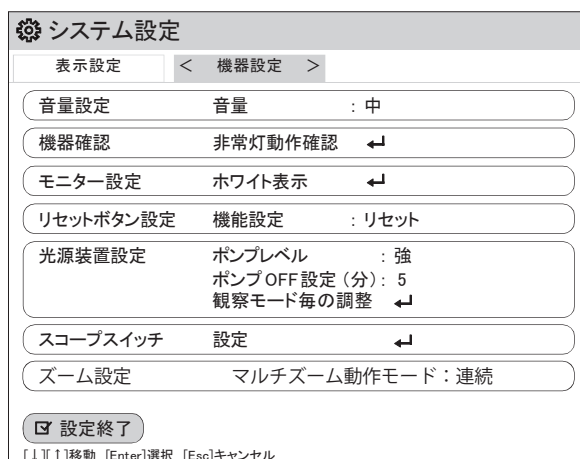


- (15) 「設定終了」にカーソルを合わせ **[Enter]** キーを押します。システム設定画面に戻ります。

- (16) 「設定終了」にカーソルを合わせ、**[Enter]** キーを押します。設定した日付、時刻などの情報が反映され、観察画面に戻ります。

参考

「設定終了」を選択せずに **[Esc]** キーを押すと、設定をキャンセルして観察画面に戻ります。時間設定はキャンセルされません。



2.2 マルチズーム動作モードの設定

光学ズームスコープのマルチズーム動作モードを設定する方法について説明します。

- (1) キーボードの **[システム]** キーを押します。
システム設定画面が表示されます。

システム設定	
< 表示設定 >	機器設定
日時設定	年月日設定 : 2007/12/31 日付表示形式 : Y/M/D 時間設定 : 1:23:33 時間表示形式 : 12時間 タイムゾーン : GMT + 11 時間
病院施設名称	病院施設名称 :
表示する情報	マスクタイプ : タイプ 1 検査情報 : 患者 ID スコープ情報 : スコープタイプ
<input checked="" type="checkbox"/> 設定終了	
<small>[L][R] 移動 [Enter] 選択 [Esc] キャンセル</small>	

- (2) 「機器設定」にカーソルを合わせた後、「ズーム設定」の「マルチズーム動作モード」にカーソルを合わせ、**[Enter]** キーを押します。





ポップアップメニューが表示されるので、マルチズーム動作モードを「連続」「5 ステップ」「3 ステップ」「2 ステップ」から選択します。

参考

リセットボタンに「マルチズーム動作モード」を割り当てている場合、前面パネルのリセットボタンを約 2 秒間押し続けると、システム設定画面が表示され、「ズーム設定」の「マルチズーム動作モード」にカーソルが合います。

システム設定					
表示設定	< 機器設定 >				
音量設定	音量 : 大				
機器設定	非常灯動作確認 ←				
モニター設定	ホワイト表示 ←				
リセットボタン設定	機能設定 : リセット				
光源装置設定	ポンプレベル : 中 ポンプ OFF 設定 (分) : 5 観察モード毎の調整 ←				
スコープスイッチ	設定 ←				
ズーム設定	マルチズーム動作モード : <table border="1" style="display: inline-table; vertical-align: middle;"> <tr><td>連続</td></tr> <tr><td>5 ステップ</td></tr> <tr><td>3 ステップ</td></tr> <tr><td>2 ステップ</td></tr> </table>	連続	5 ステップ	3 ステップ	2 ステップ
連続					
5 ステップ					
3 ステップ					
2 ステップ					
<input checked="" type="checkbox"/> 設定終了					
<small>[L][R] 移動 [Enter] 選択 [Esc] キャンセル</small>					

選択したマルチズーム動作モードに応じて、光学ズーム動作と観察画面右上のフォーカスマーターの表示が変わります。

動作モード	光学ズーム動作	フォーカスマーター表示
連続	ピント位置が無段階に停止します。	
5 ステップ	ピント位置が 5 段階に停止します。	
3 ステップ	ピント位置が 3 段階に停止します。	
2 ステップ	ピント位置が 2 段階に停止します。	

参考

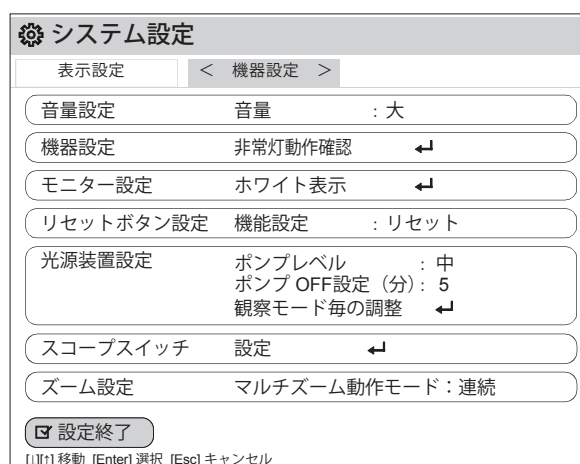
マルチズーム動作モードに対応した内視鏡のみ、本設定が有効となります。各動作モードの詳細説明については、内視鏡の取扱説明書を参照してください。

マルチズーム動作モードに対応していない内視鏡の場合は、本設定に関係なく連続モードで動作します。

- (3) 「設定終了」にカーソルを合わせ、**[Enter]** キーを押します。観察画面に戻り、設定に応じてフォーカスマーターの表示が変わります。

参考

- ・「設定終了」を選択せずに **[Esc]** キーを押すと、設定をキャンセルして観察画面に戻ります。
- ・リセットボタンに「マルチズーム動作モード」を割り当てている場合、「設定終了」を選択せずに前面パネルのリセットボタンを押すと、設定をキャンセルして観察画面に戻ります。



2.3 スコープスイッチの設定

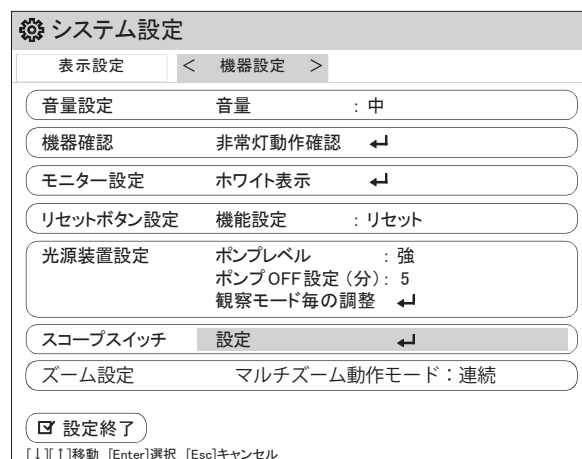
スコープスイッチの設定はシステムスコープ単位（500系スコープ等）と、スコープスイッチタイプ別（ノーマル、ズーム等）の組み合わせで記憶され、設定には該当の記憶単位のスコープを接続して行います。一度設定を行った後に、記憶単位が同じスコープで再設定をした場合、それが別号機や別機種のスコープであっても元の設定が上書きされます。スコープスイッチタイプや割り当て可能な機能については設置マニュアルを参照してください。

→ VP-4450HD/LL-7000 設置マニュアル「4.3 スコープスイッチの設定」

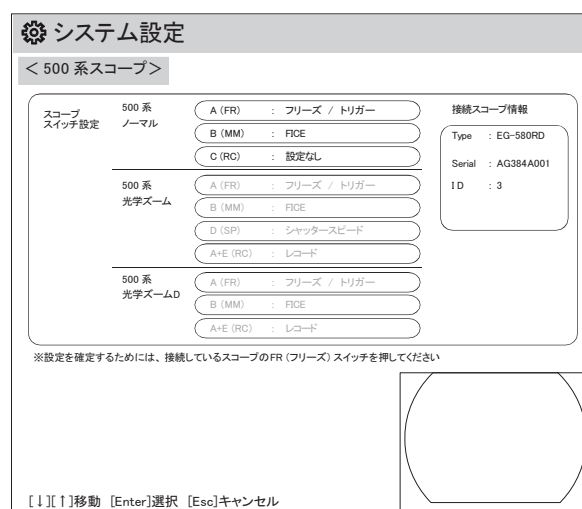
- (1) 設定したいスコープスイッチタイプのスコープをシステムに接続し、システムの電源を入れてください。システムが起動済みの場合はプロセッサのパネル上の「スコープ」ボタンを押して検査開始にしてください。

→ VP-4450HD 取扱説明書（基本編）LL-7000 用「5.2 内視鏡と機器の接続」

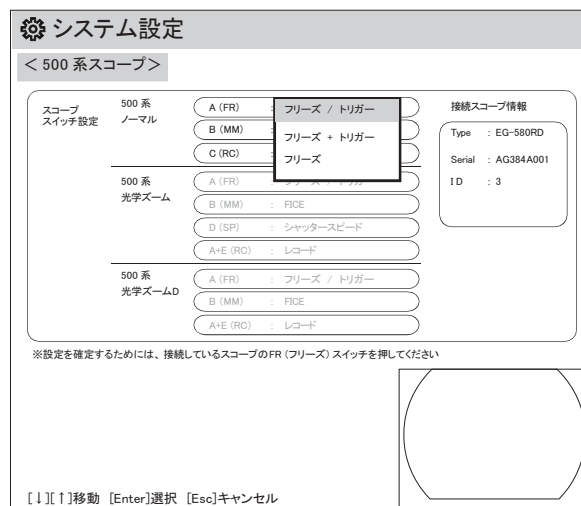
- (2) キーボードの **システム** キーを押します。
システム設定画面が表示されます。
- (3) 「機器設定」にカーソルを合わせた後、「スコープスイッチ」の「設定」にカーソルを合わせ、**Enter** キーを押します。



- (4) スコープスイッチ設定画面が表示されます。接続されたスコープで設定可能な項目が通常通り表示され、設定不可のスコープスイッチ設定はグレー表示されます。



- (5) 設定したいスコープスイッチにカーソルを合わせ、**[Enter]** キーを押すと設定可能な機能がポップアップされるので、割り当てたい機能を選択します。



- (6) 必要な割り当てが全て完了したら、スコープのFRスイッチを押します。
スコープスイッチ設定画面が閉じて、システム設定画面に戻ります。

参考

- ・この操作によりスコープスイッチの設定が記憶されます。
FRスイッチを押さずに**[Esc]** キーで画面を閉じた場合は、設定は記憶されません。
- ・スコープスイッチが番号 (1、2、3…) の内視鏡の場合は、FRスイッチの代わりにスイッチ1を押します。

- (7) 「設定終了」を選択するか、または**[Esc]** キーを押してシステム設定画面を閉じ、検査画面に戻ります。
- (8) 各スコープスイッチを押して動作を確認し、正しく機能が割り当てられているか確認します。
- (9) プロセッサの前面パネルのスコープボタンを2秒以上押して検査を終了し、スコープを着脱可にしてください。
- (10) 他のスコープスイッチタイプのスコープの設定を行う場合は、(1) から (9) の操作を繰り返してください。

2.4 ドクター名の設定

ドクターリストにドクター名を登録する方法と、削除する方法について説明します。
ドクターリストに登録したドクター名は、患者情報の登録の際に選択できます。
患者情報の登録については、「3.1 患者情報の登録」を参照してください。

2.4.1 ドクター名の登録

ドクター名は 20 名まで登録できます。

- (1) **ドクター** キーを押します。
ドクターリスト画面が表示されます。

リストのページを変更する場合は「ドクターリスト 1/2(2/2)」にカーソルを合わせ、**←**、**→** キーを押します。

ドクターリスト

ドクターリスト 1/2

番号	ドクター名	フリーズモード	ドクターページ	FICE ページ
01				
02				
03				
04				
05				
06				
07				
08				
09				
10				

ドクターリスト 1/2

リスト全削除

[↑][↓]移動 [Enter]選択 [Insert]編集 [Delete]削除 [Esc]キャンセル

- (2) ドクター名を登録する番号にカーソルを合わせ、**Insert** キーを押します。
ドクター名を入力できる状態になります。

参考

Enter キーを押すと、選択しているドクター名を呼び出して観察画面に戻ります。
ドクター名が登録されていない場合は、何も起こりません。

ドクターリスト

ドクターリスト 1/2

番号	ドクター名	フリーズモード	ドクターページ	FICE ページ
01				
02				
03				
04				
05				
06				
07				
08				
09				
10				

ドクターリスト 1/2

リスト全削除

[↑][↓]移動 [Enter]選択 [Insert]編集 [Delete]削除 [Esc]キャンセル

- (3) ドクター名を入力します。
ドクター名は 20 文字以内で入力します。

ドクターリスト

ドクターリスト 1/2

番号	ドクター名	フリーズモード	ドクターページ	FICE ページ
01				
02	SHIBUYA			
03				
04				
05				
06				
07				
08				
09				
10				

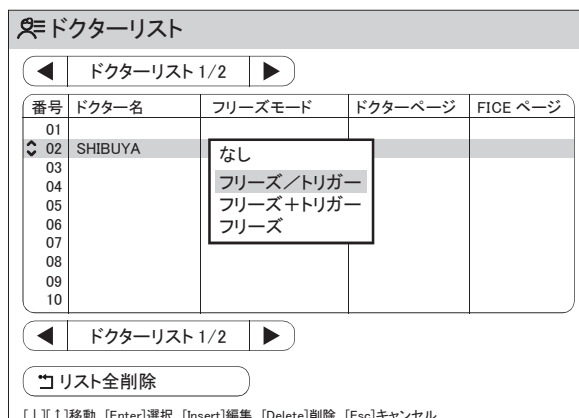
ドクターリスト 1/2

リスト全削除

[↑][↓]移動 [Enter]選択 [Insert]編集 [Delete]削除 [Esc]キャンセル

- (4) ドクター名の入力が終わったら、**[Enter]**キーを押します。ポップアップメニューが表示されるので、「なし」またはフリーズモードに設定する機能を選択します。

フリーズモードで設定した機能は、内視鏡のFRスイッチの機能として割り当てられます。「なし」を選択すると、サービスマンが設定したスコープスイッチの機能をFRスイッチに割り当てます。



参考

- ・フリーズモードで設定した機能はドクター固有の設定として、サービスマンによる設定よりも優先されます。
- ・フリーズモードで「フリーズ」を設定している場合、内視鏡のRCスイッチにトリガーもしくはレコードの機能が割り当てられていないL600システムスコープまたはL500システムスコープを接続したときは、自動的にRCスイッチにトリガーの機能が割り当てられます。
- ・スコープスイッチが番号(1、2、3…)の内視鏡の場合は、FRスイッチ、RCスイッチの代わりにスイッチ1、スイッチ4に機能が割り当てられます。

→ VP-4450HD/LL-7000 設置マニュアル「4.3 スコープスイッチの設定」

- (5) フリーズモードの設定が終わったら、**[Enter]**キーを押します。ポップアップメニューが表示されるので、「なし」または「ドクターページ」名を選択します。

「ドクターページ」名はあらかじめドクターページが設定されている場合に表示されます。



参考

ドクターページには観察画面で設定した「構造強調」「色彩強調」「カラー調整」の設定値を登録しておくことができます。

→ 「4.10 ドクターページの登録・編集」

- (6) ドクターページの選択が終わったら、**Enter** キーを押します。
ポップアップメニューが表示されるので、「なし」または「FICE ページ」名を選択します。

「FICE ページ」名はあらかじめ FICE ページが設定されている場合に表示されます。

参考

FICE ページは、FICE セット番号 0 ~ 9 の合計 10 個の FICE セット設定内容をプリセットとして保存する領域です。複数の術者が共用して使用する場合、術者ごとの異なる FICE セットを設定・保存するのに有効です。

→ 「4.2.3 FICE セットの呼び出し」

- (7) 複数のドクター名を登録する場合は、手順 (2) ~ (6) を繰り返します。

ドクターリスト

ドクターリスト 1/2

番号	ドクター名	フリーズモード	ドクターページ	FICE ページ
01				
02	SHIBUYA	フリーズ/トリガー	DoctorPage1	(起動時設定) FICE Page1 FICE Page2 FICE Page3
03				
04				
05				
06				
07				
08				
09				
10				

ドクターリスト 1/2

リスト全削除

[] [] [] 移動 [Enter] 選択 [Insert] 編集 [Delete] 削除 [Esc] キャンセル

ドクターリスト

ドクターリスト 1/2

番号	ドクター名	フリーズモード	ドクターページ	FICE ページ
01	AOYAMA			
02	SHIBUYA	フリーズ/トリガー	DoctorPage1	FICE Page1
03	SHINAGAWA			
04				
05				
06				
07				
08				
09				
10				

ドクターリスト 1/2

リスト全削除

[] [] [] 移動 [Enter] 選択 [Insert] 編集 [Delete] 削除 [Esc] キャンセル

- (8) 入力が終了したら、**Enter** キーを押します。
選択しているドクター名を呼び出して、観察画面に戻ります。

ドクター名を呼び出さずに観察画面に戻るには、**Esc** キーを押します。

ドクターリスト

ドクターリスト 1/2

番号	ドクター名	フリーズモード	ドクターページ	FICE ページ
01	AOYAMA			
02	SHIBUYA			
03	SHINAGAWA			
04	MEGURO	フリーズ/トリガー	DoctorPage1	FICE Page1
05	ADACHI	フリーズ+トリガー	DoctorPage1	
06	ETOU			
07	SUGINAMI			
08	OTA	フリーズ	DoctorPage2	FICE Page2
09	EDOGAWA			
10	ARAKAWA	フリーズ	DoctorPage1	

ドクターリスト 1/2

リスト全削除

[] [] [] 移動 [Enter] 選択 [Insert] 編集 [Delete] 削除 [Esc] キャンセル

2.4.2 ドクター名の削除

- (1) **ドクター** キーを押します。
ドクターリスト画面が表示されます。

リストのページを変更する場合は「ドクターリスト 1/2(2/2)」にカーソルを合わせ、**←**、**→** キーを押します。

☰ドクターリスト

◀ ドクターリスト 1/2 ▶

番号	ドクター名	フリーズモード	ドクターページ	FICE ページ
01	AOYAMA			
02	SHIBUYA			
03	SHINAGAWA			
04	MEGURO	フリーズ/トリガー	DoctorPage1	FICE Page1
05	ADACHI	フリーズ+トリガー	DoctorPage1	
06	ETOU			
07	SUGINAMI			
08	OTA	フリーズ	DoctorPage2	FICE Page2
09	EDOGAWA			
10	ARAKAWA	フリーズ	DoctorPage1	

◀ ドクターリスト 1/2 ▶

🗑️リスト全削除

[↑][↓]移動 [Enter]選択 [Insert]編集 [Delete]削除 [Esc]キャンセル

- (2) 削除するドクター名の番号にカーソルを合わせ、**Delete** キーを押します。
「このドクター情報を削除します。よろしいですか？」のアラートが表示されます。

☰ドクターリスト

◀ ドクターリスト 1/2 ▶

番号	ドクター名	フリーズモード	ドクターページ	FICE ページ
01	AOYAMA			
02	SHIBUYA			
03	SHINAGAWA			
04	MEGURO	フリーズ/トリガー	DoctorPage1	FICE Page1
05	ADACHI	フリーズ+トリガー	DoctorPage1	
06	ETOU			
07	SUGINAMI			
08	OTA	フリーズ	DoctorPage2	FICE Page2
09	EDOGAWA			
10	ARAKAWA	フリーズ	DoctorPage1	

このドクター情報を削除します。
よろしいですか？

いいえ はい

◀ ドクターリスト 1/2 ▶

🗑️リスト全削除

[↑][↓]移動 [Enter]選択 [Insert]編集 [Delete]削除 [Esc]キャンセル

- (3) 「はい」を選択するとドクター名が削除されます。
削除されたリストは空白で表示されます。

☰ドクターリスト

◀ ドクターリスト 1/2 ▶

番号	ドクター名	フリーズモード	ドクターページ	FICE ページ
01	AOYAMA			
02				
03	SHINAGAWA			
04	MEGURO	フリーズ/トリガー	DoctorPage1	FICE Page1
05	ADACHI	フリーズ+トリガー	DoctorPage1	
06	ETOU			
07	SUGINAMI			
08	OTA	フリーズ	DoctorPage2	FICE Page2
09	EDOGAWA			
10	ARAKAWA	フリーズ	DoctorPage1	

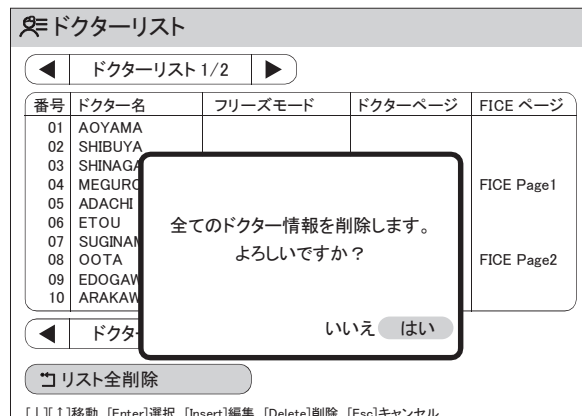
◀ ドクターリスト 1/2 ▶

🗑️リスト全削除

[↑][↓]移動 [Enter]選択 [Insert]編集 [Delete]削除 [Esc]キャンセル

参考

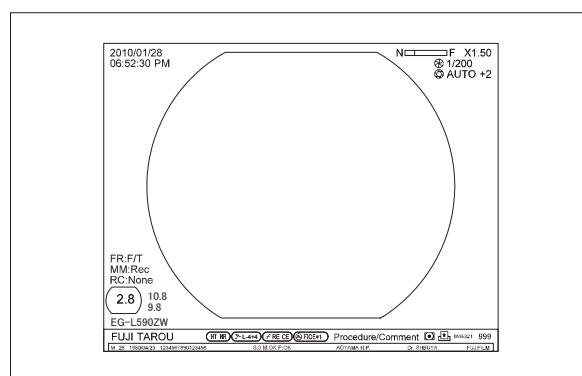
すべてのドクター名を削除する場合は、「リスト全削除」にカーソルを合わせ、**[Enter]** キーを押します。
 「全てのドクター情報を削除します。よろしいですか？」のアラートが表示されます。



(4) **[Enter]** キーを押します。

選択しているドクター名を呼び出して観察画面に戻ります。

ドクター名を呼び出さずに観察画面に戻るには、**[Esc]** キーを押します。



2.5 手技名の設定

手技リストに手技名を登録する方法と、削除する方法について説明します。
手技リストに登録した手技名は、患者情報の登録の際に選択できます。
患者情報の登録については、「3.1 患者情報の登録」を参照してください。

2.5.1 手技名の登録

手技名は 20 種類まで登録できます。

- (1) **[手技]** キーを押します。

手技リスト画面が表示されます。

リストのページを変更する場合は「手技リスト 1/2 (2/2)」にカーソルを合わせ、**[←]**、**[→]** キーを押します。

Hand Skill List screen showing a list of 10 empty rows for registration. The screen title is "手技リスト" and the page indicator is "手技リスト 1/2". The list has columns for "番号" (Number) and "手技名" (Skill Name). Below the list are navigation buttons for "手技リスト 1/2" and a "リスト全削除" (Delete All List) button. At the bottom, there is a legend: "[↑][↓]移動 [Enter]選択 [Insert]編集 [Delete]削除 [Esc]キャンセル".

- (2) 手技名を登録するリスト番号にカーソルを合わせ、**[Insert]** キーを押します。

手技名を入力できる状態になります。

参考

[Enter] キーを押すと、選択している手技名を呼び出して観察画面に戻ります。
手技名が登録されていない場合は何も起こりません。

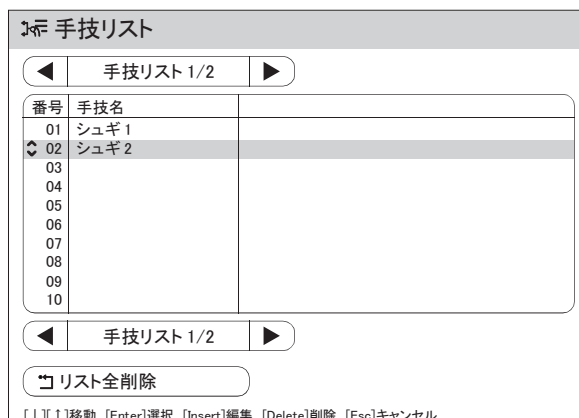
Hand Skill List screen with the first row selected for editing. The screen title is "手技リスト" and the page indicator is "手技リスト 1/2". The list has columns for "番号" (Number) and "手技名" (Skill Name). The first row (01) is highlighted. Below the list are navigation buttons for "手技リスト 1/2" and a "リスト全削除" (Delete All List) button. At the bottom, there is a legend: "[↑][↓]移動 [Enter]選択 [Insert]編集 [Delete]削除 [Esc]キャンセル".

- (3) 手技名を入力し、**[Enter]** キーを押します。

手技名は 20 文字以内で入力します。

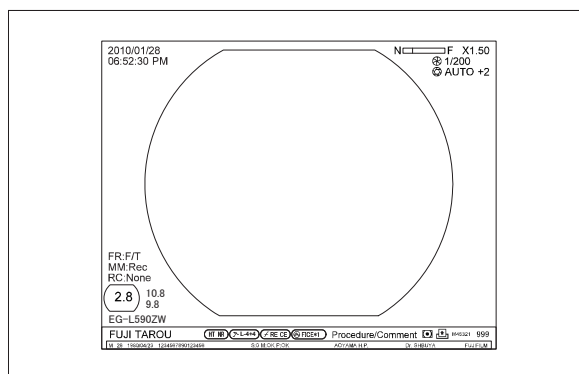
Hand Skill List screen with the first row containing the text "シュギ1". The screen title is "手技リスト" and the page indicator is "手技リスト 1/2". The list has columns for "番号" (Number) and "手技名" (Skill Name). The first row (01) is highlighted and contains "シュギ1". Below the list are navigation buttons for "手技リスト 1/2" and a "リスト全削除" (Delete All List) button. At the bottom, there is a legend: "[↑][↓]移動 [Enter]選択 [Insert]編集 [Delete]削除 [Esc]キャンセル".

- (4) 複数の手技名を登録する場合は、手順(2)～(3)を繰り返します。



- (5) 入力が終了したら、**[Enter]**キーを押します。
 選択している手技名を呼び出して、観察画面に戻ります。

手技名を呼び出さずに観察画面に戻るには、**[Esc]**キーを押します。



2.5.2 手技名の削除

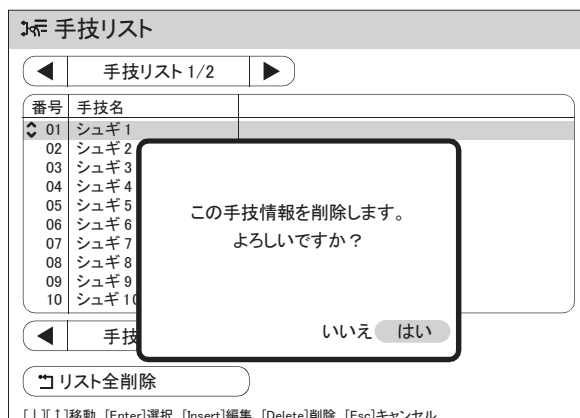
- (1) **[手技]**キーを押します。
 手技リスト画面が表示されます。

リストのページを変更する場合は「手技リスト 1/2 (2/2)」にカーソルを合わせ、**[←]**、**[→]**キーを押します。

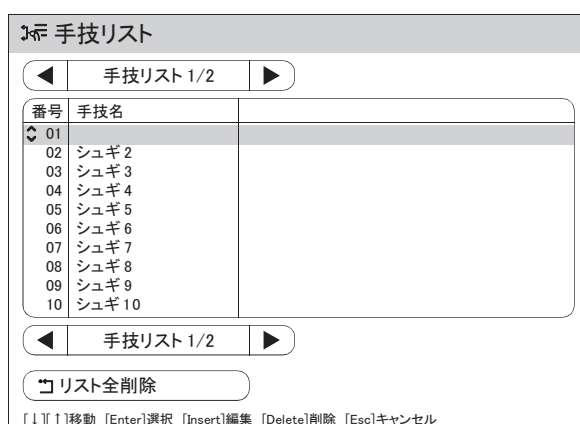


- (2) 削除する手技名の番号にカーソルを合わせ、
 キーを押します。

「この手技情報を削除します。よろしいですか？」
 のアラートが表示されます。

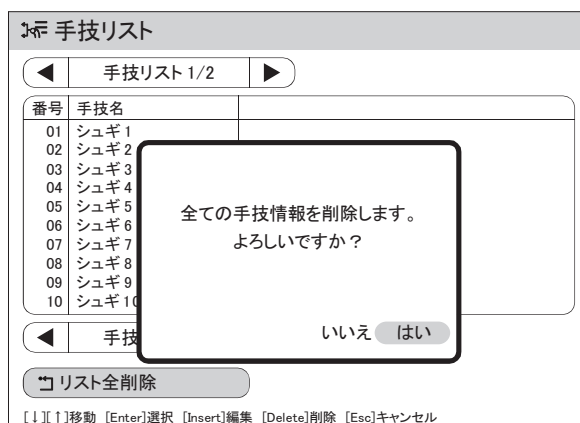


- (3) 「はい」を選択すると手技名が削除されます。
 削除されたリストは空白で表示されます。

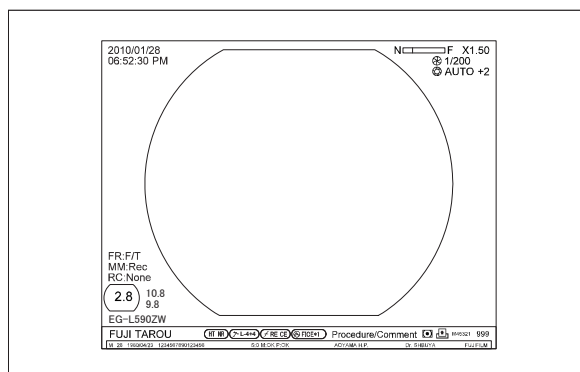


参考

すべての手技名を削除する場合は、「リスト全削除」にカーソルを合わせ、
 キーを押します。



- (4) キーを押します。
 観察画面に戻ります。



2.6 連絡事項の設定

患者情報に反映させる連絡事項を登録しておくことができます。

2.6.1 連絡事項の登録

連絡事項は20種類まで登録できます。

- (1) **連絡事項** キーを押します。

連絡事項リスト画面が表示されます。

リストのページを変更する場合は「連絡事項リスト 1/2(2/2)」にカーソルを合わせ、**←**、**→** キーを押します。

番号	連絡事項
01	
02	
03	
04	
05	
06	
07	
08	
09	
10	

- (2) 連絡事項を登録するリスト番号にカーソルを合わせ、**Insert** キーを押します。

連絡事項を入力できる状態になります。

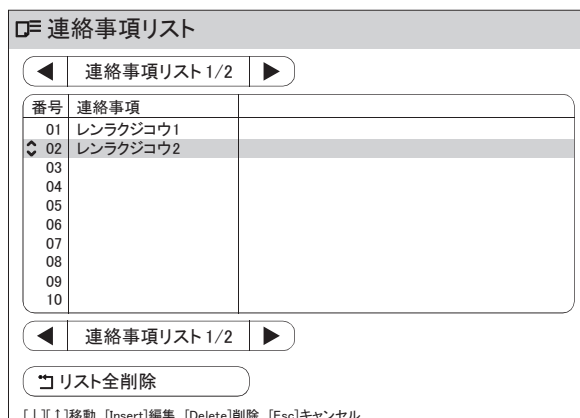
番号	連絡事項
01	
02	
03	
04	
05	
06	
07	
08	
09	
10	

- (3) 連絡事項を入力し、**Enter** キーを押します。

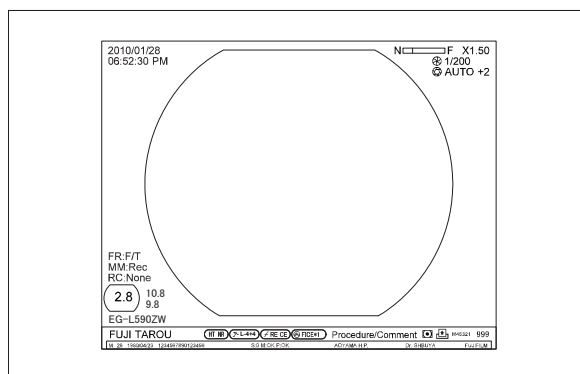
連絡事項は20文字以内で入力します。

番号	連絡事項
01	レンラクジコウ1
02	
03	
04	
05	
06	
07	
08	
09	
10	

- (4) 複数の連絡事項を登録する場合は、手順 (2) ~ (3) を繰り返します。



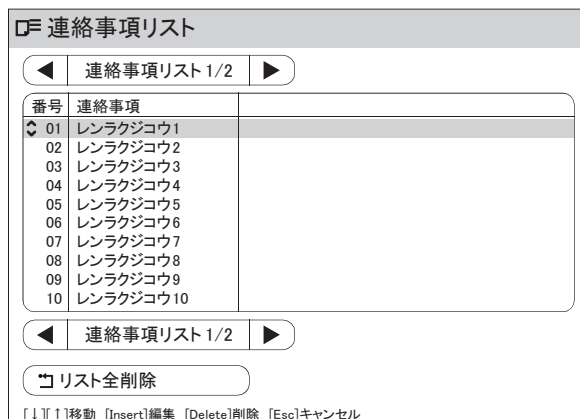
- (5) [Esc] キーを押します。
観察画面に戻ります。



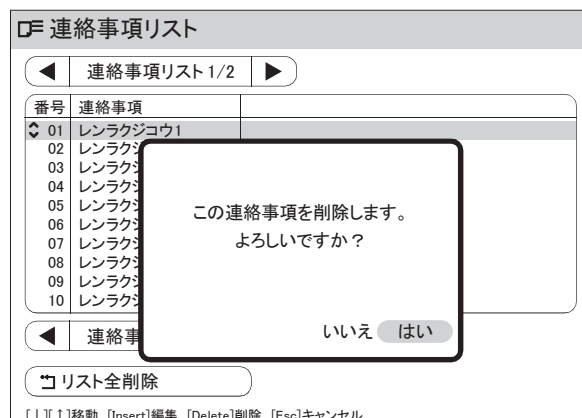
2.6.2 連絡事項の削除

- (1) [連絡事項] キーを押します。
連絡事項リスト画面が表示されます。

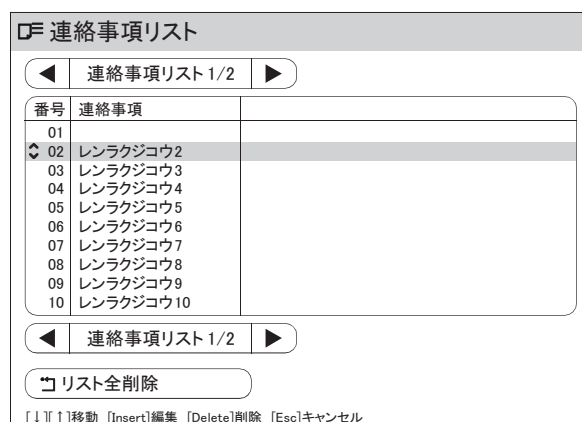
リストのページを変更する場合は「連絡事項リスト 1/2(2/2)」にカーソルを合わせ、[←]、[→] キーを押します。



- (2) 削除する連絡事項の番号にカーソルを合わせ、
 キーを押します。
 「この連絡事項を削除します。よろしいですか？」
 のアラートが表示されます。

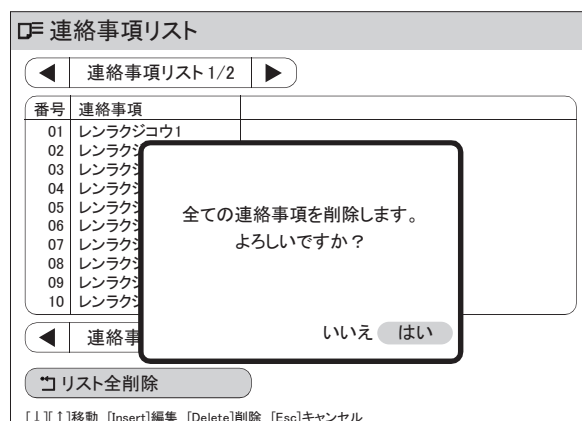


- (3) 「はい」を選択すると連絡事項が削除されます。
 削除されたリストは空白で表示されます。

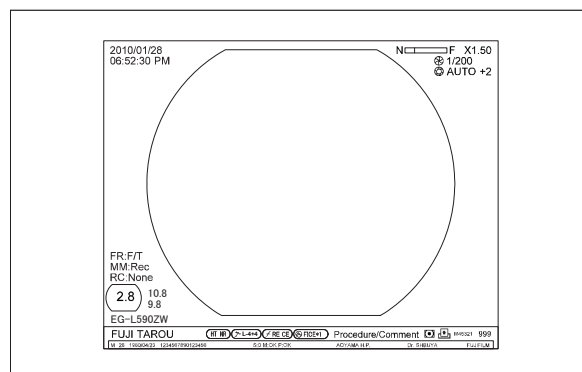


参考

すべての連絡事項を削除する場合は、「リスト全削除」にカーソルを合わせ、
 キーを押します。



- (4) キーを押します。
 観察画面に戻ります。



2.7 CFメモリーカードの設定

VP-4450HDでCFメモリーカードを使用するための設定方法について説明します。

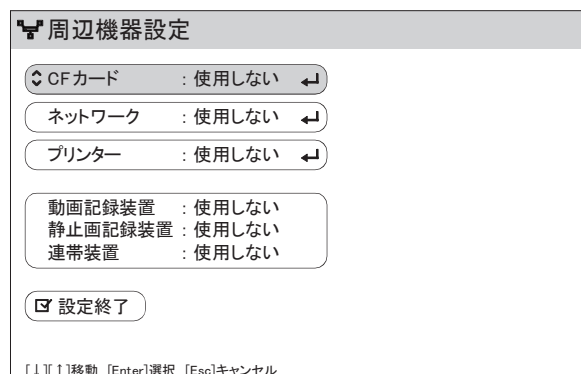
CFメモリーカードは、当社指定のものをご使用ください。

当社指定以外のCFメモリーカードを使用すると画像が正常に記録できない場合があります。

- VP-4450HD取扱説明書（基本編）LL-7000用
「6.8 CFメモリーカードに画像を記録し、プリントするには」

2.7.1 CFメモリーカードの設定

- (1) **周辺機器** キーを押します。
周辺機器設定画面が表示されます。



- (2) 「CFカード」にカーソルを合わせ、**Enter** キーを押します。
CFカード設定画面が表示されます。



参考

ネットワーク設定の「CFカードにバックアップ」で「する」を設定している場合、CFメモリーカードはバックアップモードとなり、この画面での設定はできなくなります。

- 「2.8 ネットワークの設定」

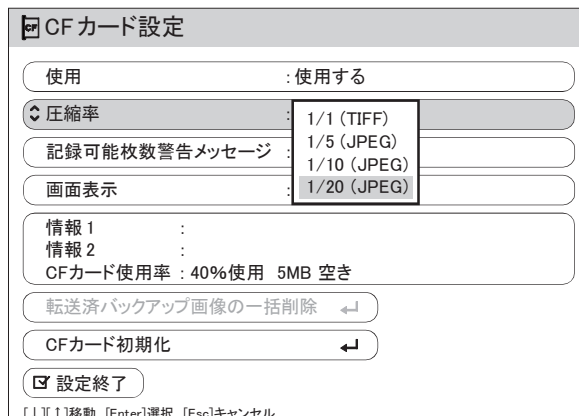
- (3) 「使用」にカーソルを合わせ、**Enter** キーを押します。
ポップアップメニューが表示されるので、「使用する」または「使用しない」を選択します。「使用しない」を選択すると、以下の選択がすべて無効となります。



- (4) 「圧縮率」にカーソルを合わせ、**[Enter]** キーを押します。
 ポップアップメニューが表示されるので、画像データの圧縮率を選択します。
 圧縮率は、「1/1 (TIFF)」、「1/5 (JPEG)」、「1/10 (JPEG)」、「1/20 (JPEG)」から選択します。

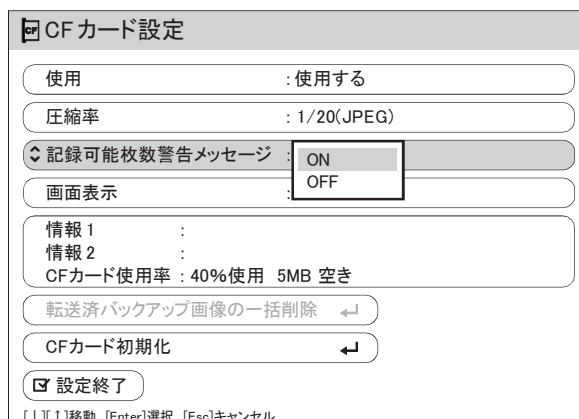
参考

圧縮率はあくまで目安であり、保存対象の画像により異なります。
 「1/1 (TIFF)」は、非圧縮保存です。保存には時間がかかります。また、大きく容量を消費しますので、空き容量をご確認ください。
 画像が正常に記録できない原因となるので、保存中には圧縮率の変更を行わないでください。



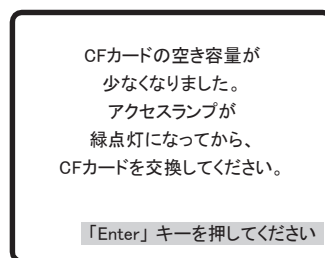
- (5) 「記録可能枚数警告メッセージ」にカーソルを合わせ、**[Enter]** キーを押します。
 ポップアップメニューが表示されるので、メッセージの表示の有無を選択します。

ON : CFメモリーカードに保存できる枚数が20枚になったとき、観察画面にメッセージを表示します。
 OFF : メッセージを表示しません。



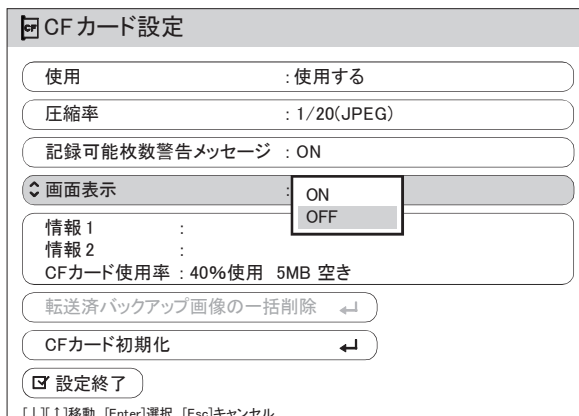
表示されるメッセージは右のとおりです。

[Enter] キーを押してメッセージを消し、CFメモリーカードアクセスランプが緑点灯になってからCFメモリーカードを交換してください。



- (6) 「画面表示」にカーソルを合わせ、**[Enter]** キーを押します。
 ポップアップメニューが表示されるので、画面表示の「ON」「OFF」を選択します。

ON : 観察画面にCFメモリーカード記録可能枚数を表示します。
 OFF : 観察画面にCFメモリーカード記録可能枚数を表示しません。



- (7) 「情報 1」または「情報 2」にカーソルを合わせ、**[Enter]** キーを押すと、周辺機器設定のユーザーメモを入力できます。

「CFカード使用率」で、CFメモリーカードの空き容量を確認します。

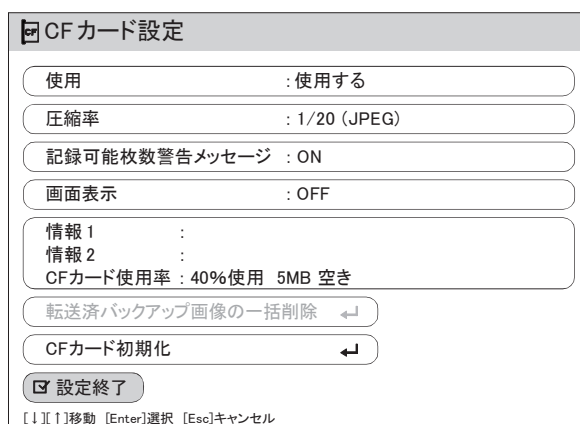
参考

CFカード使用率は目安であり、状態により値が変化します。



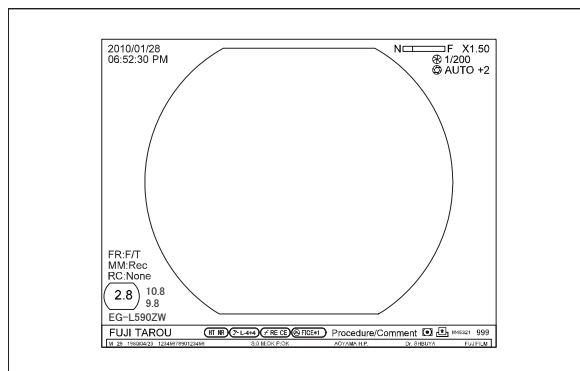
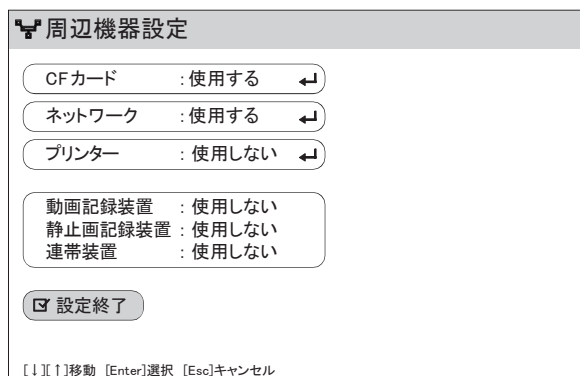
- (8) 「設定終了」にカーソルを合わせ、**[Enter]** キーを押します。

CFメモリーカードの設定を読み込んで、周辺機器設定画面に戻ります。



- (9) 「設定終了」にカーソルを合わせ、**[Enter]** キーを押します。

観察画面に戻ります。



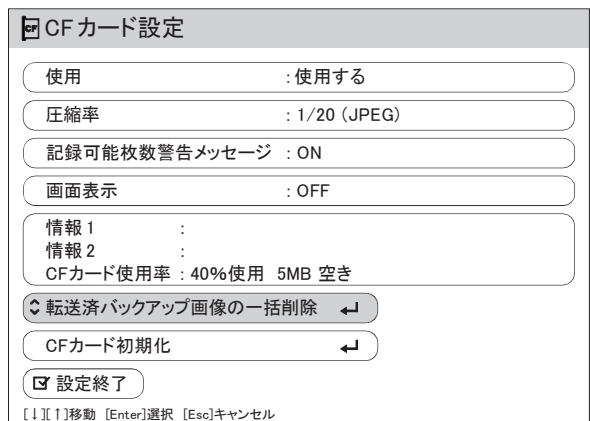
2.7.2 転送済み画像の一括削除

CFメモリーカードに保存されている検査ごとの画像データのうち、FTPサーバーにすべて転送済みとなっている検査の画像データを一括して削除します。

参考 「ネットワーク設定」の「CFカードにバックアップ」で「する」に設定し、CFカード設定が「バックアップモード」になっているときに有効です。

→「2.8 ネットワークの設定」

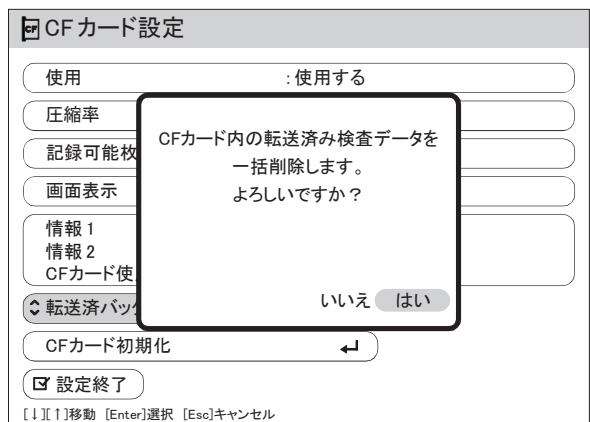
- (1) 「転送済みバックアップ画像の一括削除」にカーソルを合わせ、**[Enter]**キーを押します。



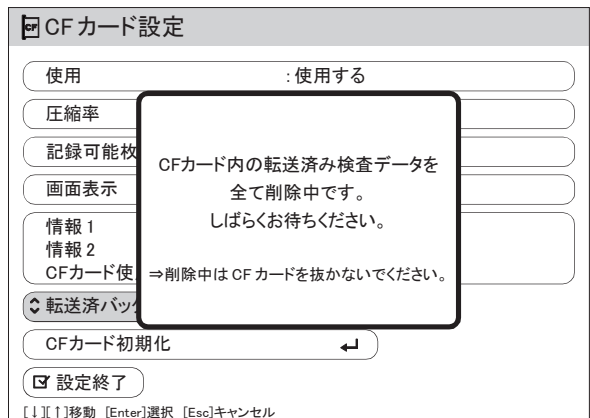
- (2) 「CFカード内の転送済み検査データを一括削除します。よろしいですか？」のアラートが表示されます。

参考

- ・画像データの削除は1検査単位で行います。
- ・未転送の画像データがある検査のデータは削除しません。



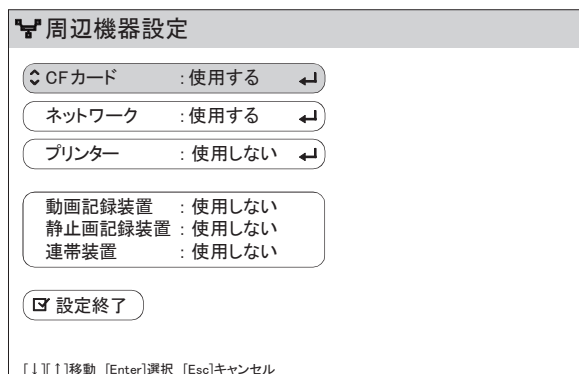
- (3) 「はい」にカーソルを合わせ、**[Enter]**キーを押すと、「CFカード内の転送済み検査データを全て削除中です。しばらくお待ちください。」のメッセージが表示され、CFメモリーカードに保存されている画像データのうち、FTPサーバーに転送済みの画像データがすべて削除されます。削除が完了するとメッセージが消えます。



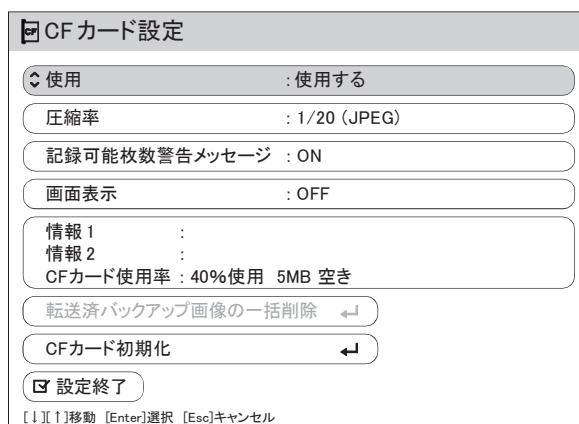
「いいえ」にカーソルを合わせ、**[Enter]**キーを押すとデータを消去せずにメッセージが消えます。

2.7.3 CFメモリーカードの初期化

- (1) **周辺機器** キーを押します。
周辺機器設定画面が表示されます。



- (2) 「CFカード」にカーソルを合わせ、**Enter** キーを押します。
CFカード設定画面が表示されます。



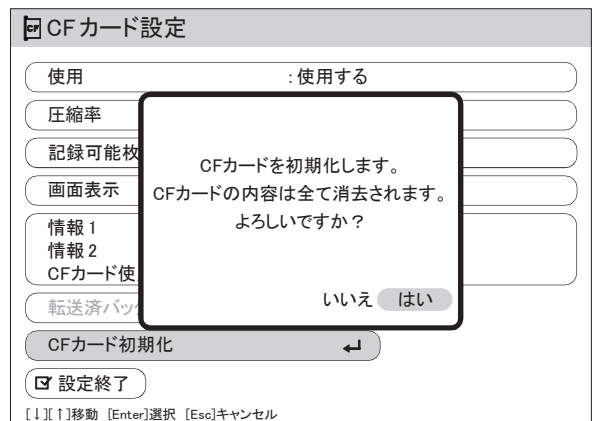
- (3) CFメモリーカードを初期化する場合は、「CFカード初期化」にカーソルを合わせ、**[Enter]**キーを押します。



「CFカードを初期化します。CFカードの内容は全て消去されます。よろしいですか?」のアラートが表示されます。

「はい」にカーソルを合わせ**[Enter]**キーを押すと、CFメモリーカードが初期化され、メッセージは消えます。

「いいえ」にカーソルを合わせ**[Enter]**キーを押すと、CFメモリーカードが初期化されずにメッセージが消えます。



参考

- ・初期化を実行すると、CFメモリーカード内のデータは消失し、復活させることはできません。初期化を実行するときは、CFメモリーカードの内容をよくご確認ください。
- ・本項目のCFメモリーカードの初期化とは、インデックス領域（目次データ）の消去のことをいいます。
CFメモリーカード全体の初期化（フォーマット）は、本機では実行できません。
- ・CFメモリーカード全体の初期化を行う場合は、パーソナルコンピュータでフォーマットしてください。
- ・同じCFメモリーカードを使い続けるとCFメモリーカードの処理が遅くなる場合があります（メモリーの断片化）。
その場合も、CFメモリーカード全体の初期化を行うために、パーソナルコンピュータでフォーマットしてください。

→ VP-4450HD 取扱説明書（基本編）LL-7000 用「6.8 CFメモリーカードに画像を記録し、プリントするには」

2.8 ネットワークの設定

VP-4450HDでネットワークを使用して画像をFTPサーバーに保存することができます。ネットワークの設定は、サービスマンが行います。

ここでは、ネットワークを使用して保存する画像の設定を行います。

- (1) **周辺機器** キーを押します。

周辺機器設定画面が表示されます。

周辺機器設定

CFカード : 使用する ←

ネットワーク : 使用しない ←

プリンター : 使用しない ←

動画記録装置 : 使用しない
 静止画記録装置 : 使用しない
 連帯装置 : 使用しない

設定終了

[!][1]移動 [Enter]選択 [Esc]キャンセル

- (2) 「ネットワーク」にカーソルを合わせ、**Enter**

キーを押します。

ネットワーク設定画面が表示されます。

ネットワーク設定

使用 : 使用しない

圧縮率 : 1/20 (JPEG)

CFカードにバックアップ : しない

CFカードにバックアップする場合 CFカードの設定は無効になります。
 転送済バックアップ画像 : 検査終了時に削除する
 未転送バックアップ画像 : 検査開始時に再送する

情報1 :
 情報2 :

設定終了

[!][1]移動 [Enter]選択 [Esc]キャンセル

- (3) 「使用」にカーソルを合わせ、**Enter** キーを押

します。
 ポップアップメニューが表示されるので、「使用する」または「使用しない」を選択します。

「使用しない」を選択すると、以下の選択がすべて無効となります。

ネットワーク設定

使用 : **使用する**
 使用しない

圧縮率

CFカードにバックアップ : しない

CFカードにバックアップする場合 CFカードの設定は無効になります。
 転送済バックアップ画像 : 検査終了時に削除する
 未転送バックアップ画像 : 検査開始時に再送する

情報1 :
 情報2 :

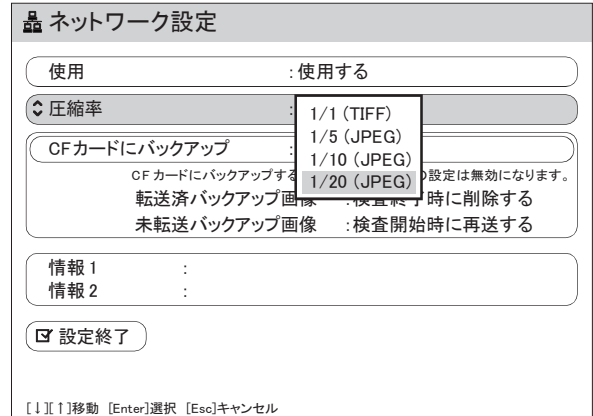
設定終了

[!][1]移動 [Enter]選択 [Esc]キャンセル

- (4) 「圧縮率」にカーソルを合わせ、**[Enter]** キーを押します。
 ポップアップメニューが表示されるので、画像データの圧縮率を選択します。
 圧縮率は、「1/1 (TIFF)」、「1/5 (JPEG)」、「1/10 (JPEG)」、「1/20 (JPEG)」から選択します。

参考

圧縮率はあくまで目安であり、保存対象の画像により異なります。
 「1/1 (TIFF)」は、非圧縮保存です。保存には時間がかかります。また、大きく容量を消費しますので、空き容量をご確認ください。
 画像が正常に記録できない場合があります。保存中には圧縮率の変更を行わないでください。



- (5) 「CFカードにバックアップ」にカーソルを合わせ、**[Enter]** キーを押します。
 ポップアップメニューが表示されるので、CFカードにバックアップ「する」「しない」を選択します。

する : 画像をネットワークのFTPサーバーに保存する際に、CFメモリーカードにも画像を保存します。CFメモリーカードの空き容量がなくなった場合、CFメモリーカードにバックアップせずにFTPサーバーに保存します。新しいCFメモリーカードを挿入し直すと、その時点の画像データからバックアップを再開します。
 CFメモリーカードにバックアップされた画像データは、VP-4450HDの検索機能で検索することができます。

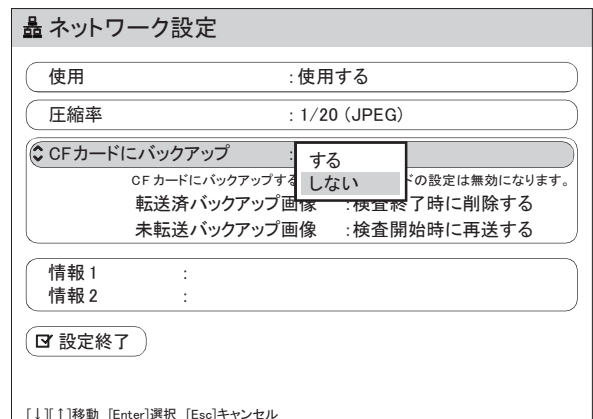
→ 「5.3 CFメモリーカード内の検索」

しない : ネットワークのFTPサーバーのみに画像を保存します。

参考

「する」を選択すると、CFメモリーカードはバックアップモードとなり、「2.7 CFメモリーカードの設定」による設定は無効となります。

→ 「2.7 CFメモリーカードの設定」



< CFカードにバックアップ「する」を選択した場合 >

参考

CFカードにバックアップ「しない」を選択する場合は手順(8)をご参照ください。

- (6) 「転送済バックアップ画像」にカーソルを合わせ、
 キーを押します。

ポップアップメニューが表示されるので、「検査終了時に削除しない」「検査終了時に削除する」を選択します。

「検査終了時に削除する」を選択すると、検査終了時に、その検査でCFメモリーカードに保存した画像データがすべてFTPサーバーに転送済みの場合に、1検査分の画像データを一括して削除します。

参考

- ・1検査分の画像データがすべて転送済みのときに削除します。未転送の画像データがある場合は削除しません。
- ・終了する検査で保存された画像データのみを削除します。

- (7) 「未転送バックアップ画像」にカーソルを合わせ、
 キーを押します。

ポップアップメニューが表示されるので、「検査開始時に再送しない」「検査開始時に再送する」を選択します。

「検査開始時に再送する」を選択すると、次の検査開始時に、CFメモリーカードにFTPサーバーに未転送の画像データを含む前回検査時のデータが残っている場合、前回検査1検査分の画像データを一括して転送します。

参考

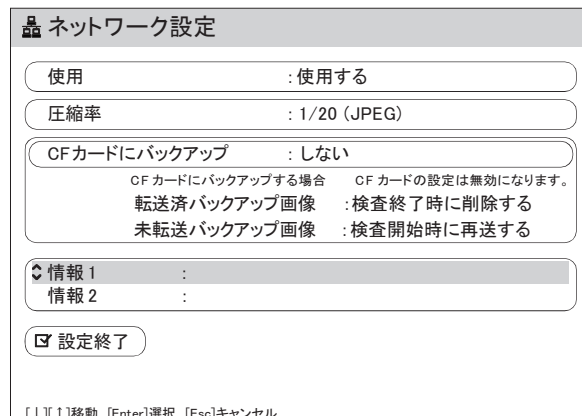
再送された前回検査時の画像データは「転送済バックアップ画像」を「検査終了時に削除する」に設定していても、CFメモリーカードから削除はされません。

→ 「2.7.2 転送済み画像の一括削除」

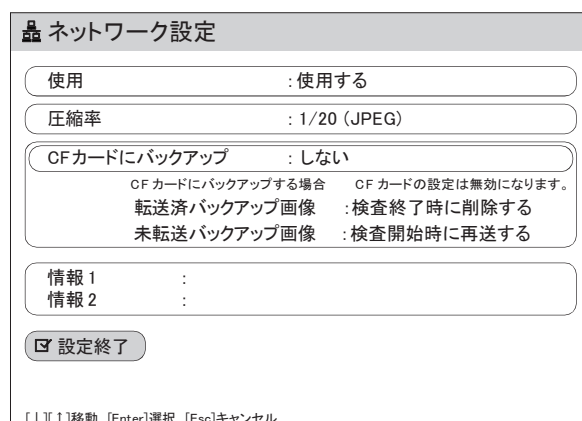
品 ネットワーク設定	
使用	: 使用する
圧縮率	: 1/20 (JPEG)
CFカードにバックアップ	: する
CFカードにバックアップする場合 CFカードの設定は無効になります。	
転送済バックアップ画像	: 検査終了時に削除しない
未転送バックアップ画像	: 検査終了時に削除する
情報1	:
情報2	:
<input checked="" type="button" value="設定終了"/>	
[!] [↑] 移動 [Enter] 選択 [Esc] キャンセル	

品 ネットワーク設定	
使用	: 使用する
圧縮率	: 1/20 (JPEG)
CFカードにバックアップ	: する
CFカードにバックアップする場合 CFカードの設定は無効になります。	
転送済バックアップ画像	: 検査終了時に削除する
未転送バックアップ画像	: 検査開始時に再送しない 検査開始時に再送する
情報1	:
情報2	:
<input checked="" type="button" value="設定終了"/>	
[!] [↑] 移動 [Enter] 選択 [Esc] キャンセル	

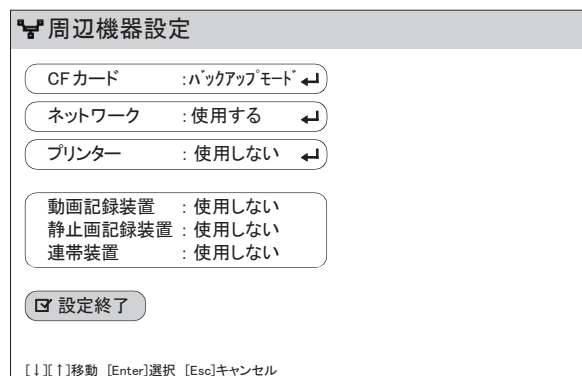
- (8) 「情報 1」または「情報 2」にカーソルを合わせ、**Enter** キーを押すと、周辺機器設定のユーザーメモを入力することができます。



- (9) 「設定終了」にカーソルを合わせ、**Enter** キーを押します。
 ネットワークの設定を読み込んで、周辺機器設定画面に戻ります。

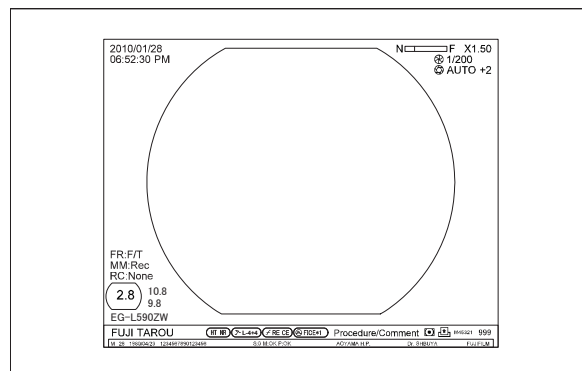


- (10) 「設定終了」にカーソルを合わせ、**Enter** キーを押します。
 観察画面に戻ります。



参考

「CFカードにバックアップ」で「する」を選択すると、CFメモリーカードはバックアップモードとなり「2.7 CFメモリーカードの設定」による設定は無効となります。



2.9 プリンターの設定

VP-4450HD に接続されているプリンターの使用、プリント枚数、マルチプリント、プリントサイズの設定を行います。

- 参考**
- ・使用するプリンターの機種によっては、設定が固定されている項目があります。
 - ・あらかじめ使用するプリンターを登録しておく必要があります。登録はサービスマンが行います。

< RS232C 接続のプリンターを使用しない場合 >

RS232C 接続のプリンターを使用しない場合は、以下の手順に従って、プリンター使用設定を解除してください。

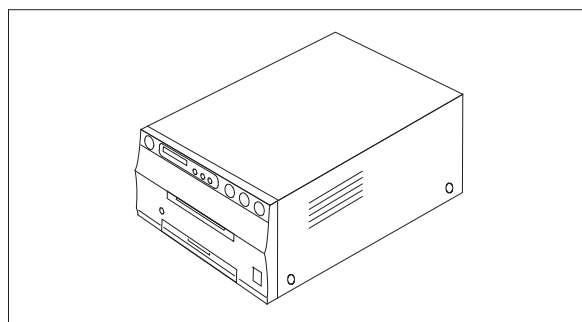
- (1) **周辺機器** キーを押して周辺機器設定画面を表示します。
- (2) **↑**、**↓** キーで「プリンター」にカーソルを合わせ、**Enter** キーを押します。
- (3) 「使用」にカーソルを合わせ、**Enter** キーを押します。
- (4) ポップアップメニューが表示されるので、**↑**、**↓** キーで「使用しない」にカーソルを合わせ、**Enter** キーを押します。
- (5) 「設定終了」にカーソルを合わせ、**Enter** キーを押して周辺機器設定画面に戻ります。
- (6) 「設定終了」にカーソルを合わせ、**Enter** キーを押して観察画面に戻ります。

参考 使用設定を解除しないと、モニター画面に「プリンターを認識できません。プリンターの電源およびケーブルの接続を確認してください。」のエラーメッセージが表示されます。

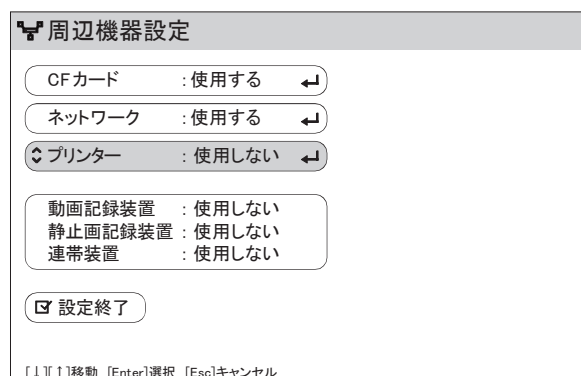
- (1) プリンター本体の電源を入れます。

参考

機器を設定する前に、プリンターの電源を入れてください。電源を切ったままでは、プロセッサ側の設定がプリンターに反映されません。



- (2) **周辺機器** キーを押します。
周辺機器設定画面が表示されます。
- (3) 「プリンター」にカーソルを合わせ、**Enter** キーを押します。



プリンター設定画面が表示されます。

プリンター設定

使用 : 使用しない

プリント枚数 : 1

マルチプリント : 4in1

設定終了

[↑][↓]移動 [Enter]選択 [Esc]キャンセル

- (4) 「使用」にカーソルを合わせ、**Enter** キーを押します。
 ポップアップメニューが表示されるので、接続されているプリンター機種名または「使用しない」を選択します。
 「使用しない」を選択すると、以下の選択がすべて無効となります。

プリンター設定

使用 : 使用しない

プリント枚数 : CP-900D

マルチプリント : 4in1

設定終了

[↑][↓]移動 [Enter]選択 [Esc]キャンセル

- (5) 「プリント枚数」にカーソルを合わせ、**Enter** キーを押します。
 ポップアップメニューが表示されるので、プリント枚数を選択します。
 プリント枚数は、「1」、「2」、「3」、「4」から選択します。

プリンター設定

使用 : CP-900D

プリント枚数 : 1

マルチプリント : 2

設定終了

[↑][↓]移動 [Enter]選択 [Esc]キャンセル

- (6) 「マルチプリント」にカーソルを合わせ、**Enter**キーを押します。

ポップアップメニューが表示されるので、1枚のプリント用紙にプリントする画像数を選択します。

設定画面の表示は、接続されているプリンターによって異なります。

4in1 : 1枚に4画像をプリント

1in1 : 1枚に1画像をプリント

プリンターの設定値 : 1枚にプリンター側で設定されている画像数をプリント

プリンター設定

使用 : CP-900D

プリント枚数 : 1

マルチプリント : 4in1
1in1

設定終了

[↑][↓]移動 [Enter]選択 [Esc]キャンセル

- (7) 「プリントサイズ」は固定です。

プリンター設定

使用 : CP-900D

プリント枚数 : 1

マルチプリント : 4in1

設定終了

[↑][↓]移動 [Enter]選択 [Esc]キャンセル

- (8) 「設定終了」にカーソルを合わせ、**Enter**キーを押します。
設定を読み込んで、周辺機器設定画面に戻ります。

プリンター設定

使用 : CP-900D

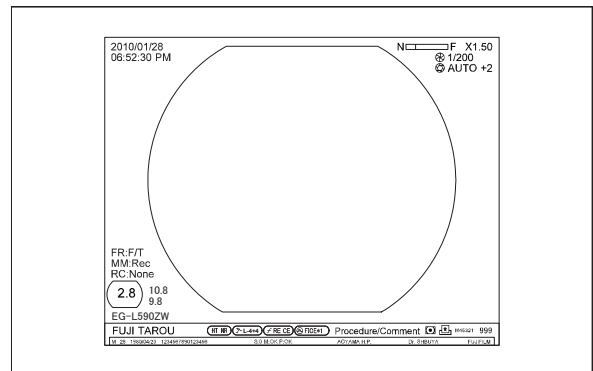
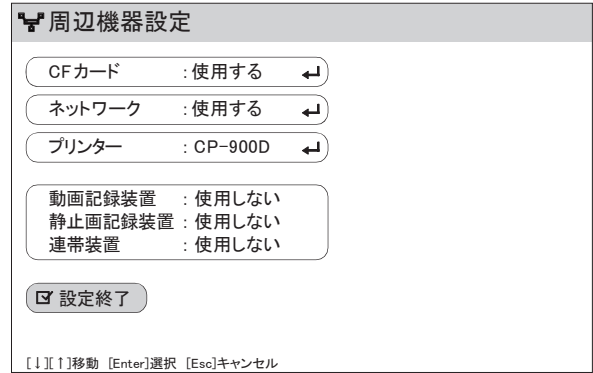
プリント枚数 : 1

マルチプリント : 4in1

設定終了

[↑][↓]移動 [Enter]選択 [Esc]キャンセル

- (9) 「設定終了」にカーソルを合わせ、**Enter** キーを押します。
観察画面に戻ります。



第3章 プロセッサーへの患者情報登録・編集

この章では、プロセッサーへの患者情報の登録・編集の操作について説明します。

参考 観察中は、設定画面の右下に観察画面が子画面で表示されます。

3.1 患者情報の登録

患者情報の登録方法について説明します。

患者情報入力画面は、「患者番号自動入力」と「患者番号固定入力」の2つのモードから選択できます。設定は、サービスマンが行います。

「患者番号自動入力」を選択した場合、患者情報は45名まで患者リストに登録できます。

「患者番号固定入力」を選択した場合、患者情報は検査ごとに入力します。「患者入力」キーで患者情報を入力する場合、患者番号は「01」に固定され、患者情報を登録するたびに新しい患者情報を上書きします。

3.1.1 患者番号自動入力

- (1) 「患者入力」キーを押します。

患者情報入力画面が表示されます。

患者情報は「患者番号 01」から始まります。

患者情報入力

患者番号 01

検査番号 :
患者ID :
患者名 :
性別 : なし M F
生年月日 :
年齢 :
医師名 :
手技 :
連絡事項 :

この患者で検査する

登録終了

次の患者情報を入力する

内容クリア

[Left/Right] 移動 [Enter] 選択 [Esc] キャンセル

- (2) 「検査番号」にカーソルを合わせます。
文字入力ができるようになるので、検査番号を入力し、「Enter」キーを押します。
検査番号は16文字以内で入力します。

参考

登録しない項目は、「Enter」キーを押さずにカーソルを次の項目に移動します。

患者情報入力

患者番号 01

検査番号 : 20070215
患者ID :
患者名 :
性別 : なし M F
生年月日 :
年齢 :
医師名 :
手技 :
連絡事項 :

この患者で検査する

登録終了

次の患者情報を入力する

内容クリア

[Left/Right] 移動 [Enter] 選択 [Esc] キャンセル

- (3) 「患者 ID」にカーソルを合わせます。
 患者 ID を入力し、**[Enter]** キーを押します。
 患者 ID は 16 文字以内で入力します。

参考

周辺機器によっては、受け付け可能な患者 ID の文字数が 16 文字未満の場合があります。各周辺機器の受け付け可能な文字数を確認してから入力してください。

患者情報入力

患者番号 01

検査番号	: 20070215
患者 ID	: 123456
患者名	:
性別	: なし M F
生年月日	:
年齢	:
医師名	:
手技	:
連絡事項	:

この患者で検査する

登録終了

次の患者情報を入力する

内容クリア

[↑][↓]移動 [Enter]選択 [Esc]キャンセル

- (4) 「患者名」にカーソルを合わせます。
 患者名を入力し、**[Enter]** キーを押します。
 患者名は 20 文字以内で入力します。

患者情報入力

患者番号 01

検査番号	: 20070215
患者 ID	: 123456
患者名	: フジ タロウ
性別	: なし M F
生年月日	:
年齢	:
医師名	:
手技	:
連絡事項	:

この患者で検査する

登録終了

次の患者情報を入力する

内容クリア

[↑][↓]移動 [Enter]選択 [Esc]キャンセル

- (5) 「性別」にカーソルを合わせます。
[←]、**[→]** キーで、性別を「なし」、「M」(男性)、「F」(女性) から選択します。

患者情報入力

患者番号 01

検査番号	: 20070215
患者 ID	: 123456
患者名	: フジ タロウ
性別	: なし M F
生年月日	:
年齢	:
医師名	:
手技	:
連絡事項	:

この患者で検査する

登録終了

次の患者情報を入力する

内容クリア

[↑][↓]移動 [Enter]選択 [Esc]キャンセル

- (6) 「生年月日」にカーソルを合わせます。
 生年月日を入力します。
 数字を入力して **[Enter]** キーを押すと次の数字
 入力に進みます。

患者情報入力

患者番号 01

検査番号	: 20070215
患者ID	: 123456
患者名	: フジ タロウ
性別	: なし M F
生年月日	: 1960/07/
年齢	:
医師名	:
手技	:
連絡事項	:

この患者で検査する

登録終了

次の患者情報を入力する

内容クリア

[] [] 移動 [Enter] 選択 [Esc] キャンセル

- (7) 「生年月日」を入力すると「年齢」に患者の年齢が自動計算で表示されます。
 「年齢」にカーソルを合わせると、数字入力
 で年齢を修正できます。

参考

再度カーソルを「生年月日」に合わせると、年齢を自動計算した値に戻します。

患者情報入力

患者番号 01

検査番号	: 20070215
患者ID	: 123456
患者名	: フジ タロウ
性別	: なし M F
生年月日	: 1960/07/07
年齢	: 47
医師名	:
手技	:
連絡事項	:

この患者で検査する

登録終了

次の患者情報を入力する

内容クリア

[] [] 移動 [Enter] 選択 [Esc] キャンセル

- (8) 「医師名」にカーソルを合わせ、 **[Enter]** キーを押します。
 ドクターリストに登録されているドクター名が
 ポップアップメニューで表示されます。

→ 「2.4 ドクター名の設定」

「なし」または「ドクター名」を選択します。

患者情報入力

患者番号 01

検査番号	: 20070215
患者ID	: 123456
患者名	: フジ タロウ
性別	: なし M F
生年月日	: なし
年齢	: AOYAMA
医師名	: SHIBUYA
手技	: SHINAGAWA
連絡事項	: MEGURO
	: ADACHI
	: ETOU
	: SUGINAMI
	: OOTA

この患者で検査する

登録終了

次の患者情報を入力する

内容クリア

[] [] 移動 [Enter] 選択 [Esc] キャンセル

- (9) ドクター名が見つからない場合や直接入力する場合は、「医師名」にカーソルを合わせ、**[Insert]**キーを押します。文字入力が可能となるのでドクター名を直接入力し、**[Enter]**キーを押します。

「ドクターリスト自動検索」がONに設定されている場合、入力したドクター名に一致するものがドクターリストに登録されているか自動検索を行います。

一致するものがある場合はドクターリストに登録された設定を使用します。

一致するものがない場合は「該当するドクターが登録されていません」のアラートが表示され、ドクターページとFICEページは起動時設定を使用します。

参考

- ・「ドクターリスト自動検索」は、大文字/小文字を区別します。
- ・ここで入力したドクター名は、ドクターリストに登録されません。

→ 「2.4 ドクター名の設定」

- (10) 「手技」にカーソルを合わせ、**[Enter]**キーを押します。手技リストに登録されている手技名がポップアップメニューで表示されます。

→ 「2.5 手技名の設定」

「なし」または「手技名」を選択します。

手技名を直接入力する場合は、手技名にカーソルを合わせ、**[Insert]**キーを押します。文字入力が可能となるので手技名を直接入力し、**[Enter]**キーを押します。

入力した手技名に一致するものが手技リストに登録されているか自動検索を行います。

一致するものがある場合は手技リストに登録された手技名を使用します。

一致するものがない場合は「該当する手技が登録されていません」のアラートが表示されます。

参考

ここで入力した手技名は、手技リストに登録されません。

→ 「2.5 手技名の設定」

- (11) 「連絡事項」にカーソルを合わせ、**[Enter]** キーを押します。
 連絡事項リストに登録されている連絡事項がポップアップメニューで表示されます。

→ 「2.6 連絡事項の設定」

「なし」または「連絡事項」を選択します。

患者情報入力

患者番号 01

検査番号 : 20070215
 患者ID : 123456
 患者名 : フジ タロウ
 性別 : なし M F
 生年月日 : 1960/07/07
 年齢 : 47
 医師名 : AOYAMA
 手技 : なし

連絡事項 : なし

この患者で検査する

登録終了

次の患者情報を入力する

内容クリア

[] [] 移動 [Enter] 選択 [Esc] キャンセル

- (12) 手順 (1) ~ (11) の操作で、1 人分の患者情報の登録が完了します。

登録した患者情報でそのまま検査を行うには「この患者で検査する」にカーソルを合わせ、**[Enter]** キーを押します。

患者情報入力

患者番号 01

検査番号 : 20070215
 患者ID : 123456
 患者名 : フジ タロウ
 性別 : なし M F
 生年月日 : 1960/07/07
 年齢 : 47
 医師名 : AOYAMA
 手技 : なし
 連絡事項 : セイケンキン

この患者で検査する

登録終了

次の患者情報を入力する

内容クリア

[] [] 移動 [Enter] 選択 [Esc] キャンセル

呼び出した患者情報と、スコープ情報の確認ダイアログが表示されます。

確認ダイアログは **[Enter]** キーを押すと消去されます。

参考

この画面を保存するには、「周辺機器設定」の「CFカード」または「ネットワーク」を「使用する」に設定し、内視鏡のFRスイッチを押します。画面の画像データがCFメモリーカードまたはネットワークのFTPサーバーに保存されます。

→ 「2.7 CFメモリーカードの設定」

→ 「2.8 ネットワークの設定」

2010/01/28 06:52:30 PM

患者ID 123456
 患者名 フジ タロウ
 性別 M
 生年月日 1960/07/07
 年齢 47

連絡事項 セイケンキン
 ドクター AOYAMA
 手技 なし
 OFカード記録可能枚数: 117

スコープタイプ : 電子口鏡内径
 スコープシリアル : 先端部内径
 スコープID : 軟性部外径

FR:FT MM:Rec RC:None

2.8 10.8 9.8

EG-L5902W

FUJII TAROU

Procedure/Comment

- (13) 続けて複数の患者情報を登録する場合は「次の患者情報を入力する」にカーソルを合わせ、**[Enter]**キーを押します。
- 次の患者情報「患者番号 02」を登録できる状態になります。

患者情報入力

患者番号 01

検査番号	: 20070215
患者ID	: 123456
患者名	: フジ タロウ
性別	: なし M F
生年月日	: 1960/07/07
年齢	: 47
医師名	: AOYAMA
手技	: なし
連絡事項	: セイケンシン

この患者で検査する

登録終了

→ [Enter] 次の患者情報を入力する

内容クリア

[↑][↓]移動 [Enter]選択 [Esc]キャンセル

- (14) 手順(2)～(11)を繰り返して、患者情報を入力します。

患者情報入力

患者番号 02

検査番号	: 20070215
患者ID	: 123657
患者名	: フジ ハナコ
性別	: なし M F
生年月日	: 1970/04/
年齢	:
医師名	:
手技	:
連絡事項	:

この患者で検査する

登録終了

→ [Enter] 次の患者情報を入力する

内容クリア

[↑][↓]移動 [Enter]選択 [Esc]キャンセル

- (15) すべての患者情報を入力したら、「登録終了」にカーソルを合わせ、**[Enter]**キーを押します。
- 観察画面に戻ります。

患者情報入力

患者番号 02

検査番号	: 20070215
患者ID	: 123657
患者名	: フジ ハナコ
性別	: なし M F
生年月日	: 1970/04/04
年齢	: 37
医師名	: AOYAMA
手技	: シュギ 1
連絡事項	: セイケンシン

この患者で検査する

登録終了

→ 次の患者情報を入力する

内容クリア

[↑][↓]移動 [Enter]選択 [Esc]キャンセル

3.1.2 患者番号固定入力

- (1) **患者入力** キーを押します。
患者情報入力画面が表示されます。
患者情報は「患者番号 01」固定です。

患者情報入力

患者番号 01 **内容クリア**

検査番号 : 20070215
患者ID : 123456
患者名 : フジ タロウ
性別 : なし M F
生年月日 : 1960/07/07
年齢 : 47
医師名 : AOYAMA
手技 : なし
連絡事項 : セイケンジン

この患者で検査する

[↑][↓]移動 [Enter]選択 [Esc]キャンセル

- (2) すでに患者情報が入力されている場合など、入力されている内容をすべて消去したい場合は、「内容クリア」にカーソルを合わせ、**Enter** キーを押します。

「患者情報を削除します。よろしいですか？」のアラートが表示され、「はい」を選択すると表示している患者情報のすべての内容を消去します。

患者情報入力

患者番号 01 **内容クリア**

検査番号 : 20070215
患者ID : 123456
患者名 : フジ タロウ
性別 : なし M F
生年月日 : 1960/07/07
年齢 : 47
医師名 : AOYAMA
手技 : なし
連絡事項 : セイケンジン

患者情報を削除します。
よろしいですか?

いいえ はい

この患者で検査する

[↑][↓]移動 [Enter]選択 [Esc]キャンセル

- (3) 「検査番号」にカーソルを合わせます。

文字入力ができるようになるので、検査番号を入力し、**Enter** キーを押します。

検査番号は 16 文字以内で入力します。

参考

登録しない項目は、**Enter** キーを押さずに **↑**、**↓** キーでカーソルを次の項目に移動します。

- (4) 「3.1.1 患者番号自動入力」の (3) ~ (11) の手順に従って、患者情報の項目を入力していきます。

患者情報入力

患者番号 01 **内容クリア**

検査番号 : |
患者ID : :
患者名 : :
性別 : なし M F
生年月日 : :
年齢 : :
医師名 : :
手技 : :
連絡事項 : :

この患者で検査する

[↑][↓]移動 [Enter]選択 [Esc]キャンセル

- (5) 全ての患者情報を登録し終わったら「この患者で検査する」にカーソルを合わせ、**[Enter]**キーを押します。

参考

システム設定画面の「表示する情報」を「患者ID」に設定している場合、患者情報入力画面を開いた直後は、「患者ID」が選択されています。「検査番号」を入力する場合には、**[↑]**、**[↓]**キーを使って「検査番号」を入力してください。

呼び出した患者情報と、スコープ情報の確認ダイアログが表示されます。確認ダイアログはキーを押すと消去されます。

参考

この画面を保存するには、「周辺機器設定」の「CFカード」または「ネットワーク」を「使用する」に設定し、内視鏡のFRスイッチを押します。画面の画像データがCFメモリーカードまたはネットワークのFTPサーバーに保存されます。

- 「2.7 CFメモリーカードの設定」
- 「2.8 ネットワークの設定」

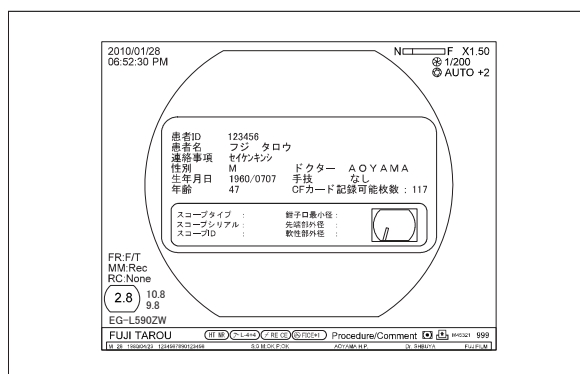
患者情報入力

患者番号 01 内容クリア

検査番号	: 20070215
患者ID	: 123456
患者名	: フジ タロウ
性別	: なし M F
生年月日	: 1960/07/07
年齢	: 47
医師名	: AOYAMA
手技	: なし
連絡事項	: セイケンキン

この患者で検査する

[] [] 移動 [Enter] 選択 [Esc] キャンセル



3.2 患者情報の呼び出し

患者情報の呼び出し方法について説明します。

- (1) **[患者]** キーを押します。

患者リスト画面が表示されます。

リストのページを変更する場合は「患者リスト 1/3 (~ 3/3)」にカーソルを合わせ、**[←]**、**[→]** キーを押します。

番号	患者名	患者ID
01	タナカ イチロウ	123455
02	フジ タロウ	123456
03	スズキ ケンイチ	123457
04	カトウ マサコ	123458
05	ササキ ヨシハル	123459
06	モリサワ ミヨ	123460
07	アサダ アイコ	123461
08	コバヤシ ケンタ	123462
09	イガラシ タカオ	123463
10		
11		
12		
13		
14		
15		

検査番号 :
患者ID :
患者名 :
性別 :
生年月日 :
年齢 :
ドクター :
手扶 :
連絡事項 :

- (2) 患者番号にカーソルを合わせると、選択した患者情報の詳細情報が右側に表示されます。

番号	患者名	患者ID
01	タナカ イチロウ	123455
02	フジ タロウ	123456
03	スズキ ケンイチ	123457
04	カトウ マサコ	123458
05	ササキ ヨシハル	123459
06	モリサワ ミヨ	123460
07	アサダ アイコ	123461
08	コバヤシ ケンタ	123462
09	イガラシ タカオ	123463
10		
11		
12		
13		
14		
15		

検査番号 : 20070215
患者ID : 123456
患者名 : フジ タロウ
性別 : M
生年月日 : 1960/07/07
年齢 : 47
ドクター : AOYAMA
手扶 : なし
連絡事項 : セイケンケン

[Enter] キーを押すと、選択している患者情報を呼び出して観察画面に戻ります。

呼び出した患者情報と、スコープ情報の確認ダイアログが表示されます。

確認ダイアログは **[Enter]** キーを押すと消去されます。

参考

「周辺機器設定」の「CFカード」または「ネットワーク」を「使用する」に設定している場合、内視鏡のFRスイッチを押すと、この画面をCFメモリーカードまたはネットワークのFTPサーバーに保存します。

→ 「2.7 CFメモリーカードの設定」

→ 「2.8 ネットワークの設定」

2010/01/28 06:52:30 PM NCF F X1.50 1/200 AUTO +2

患者ID 123456
患者名 フジ タロウ
連絡事項 セイケンケン
性別 M ドクター AOYAMA
生年月日 1960/0707 手扶 なし
年齢 47 CFカード記録可能枚数: 117

スコープタイプ : 鏡子口最小径 :
スコープリアル : 実視野径 :
スコープID : 数値部外径 :

FR:FT MM:Rec RC:None
(2.8) 10.8 9.8
EG-LS902W
FUJII TAROU (01) (01) (01) (01) (01) Procedure/Comment 999

3.3 患者情報の修正

患者情報の修正方法について説明します。

- (1) **[患者]** キーを押します。

患者リスト画面が表示されます。

リストのページを変更する場合は「患者リスト 1/3 (～ 3/3)」にカーソルを合わせ、**[←]**、**[→]** キーを押します。

参考

一度検査終了をした患者情報は、検査済みを示すマーク (☑) が、患者番号の前に表示されます。

→ VP-4450HD 取扱説明書 (基本編) LL-7000 用「5.17 検査終了」

- (2) 患者番号にカーソルを合わせると、選択した患者情報の詳細情報が右側に表示されます。

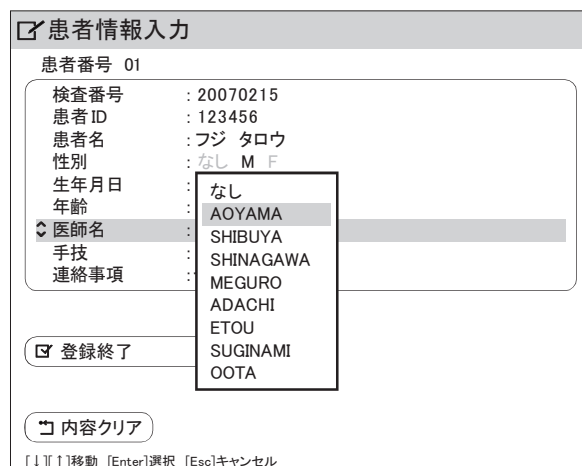
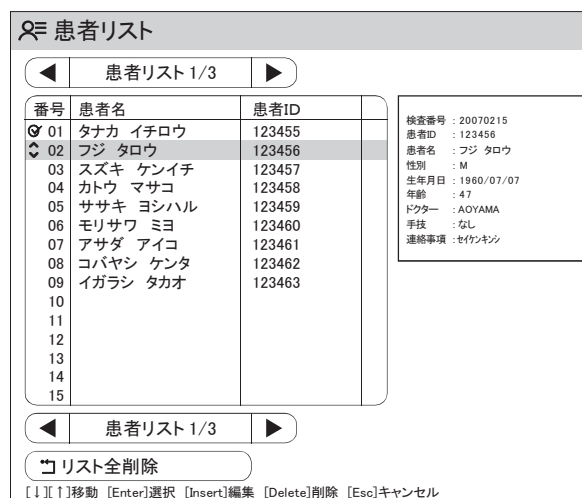
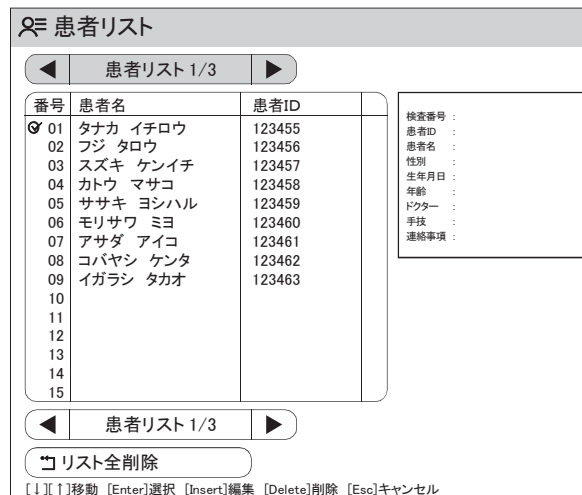
[Insert] キーを押すと、患者情報入力画面が表示されます。

参考

[Enter] キーを押すと、選択している患者情報を呼び出して観察画面に戻ります。

- (3) 患者情報入力画面上で、患者情報を修正します。患者情報の修正方法については、患者情報の登録方法を参照してください。

→ 「3.1 患者情報の登録」



参考

- ・入力したすべての内容を消去する場合は、「内容クリア」にカーソルを合わせ、**[Enter]**キーを押します。
患者情報をクリアします。よろしいですか？」のアラートが表示され、「はい」を選択すると修正中の患者情報のすべての内容を消去します。
- ・患者情報を削除する場合は「患者情報の削除」を行ってください。

→ 「3.4 患者情報の削除」

- (4) 患者情報の修正が終わったら、「登録終了」にカーソルを合わせ、**[Enter]**キーを押します。
患者リスト画面に戻ります。

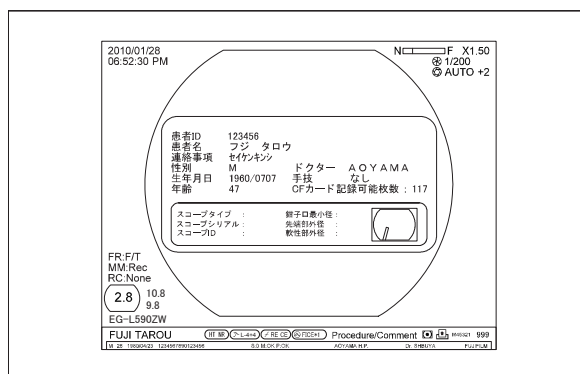
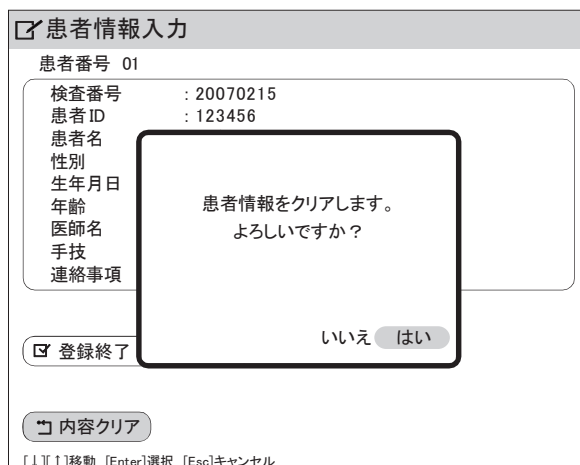
- (5) 患者リスト画面で**[Enter]**キーを押します。
修正した患者情報を反映して、観察画面に戻ります。
呼び出した患者情報と、スコープ情報の確認ダイアログが表示されます。
確認ダイアログは**[Enter]**キーを押すと消去されます。

参考

「周辺機器設定」の「CFカード」または「ネットワーク」を「使用する」に設定している場合、内視鏡のFRスイッチを押すと、この画面をCFメモリーカードまたはネットワークのFTPサーバーに保存します。

→ 「2.7 CFメモリーカードの設定」

→ 「2.8 ネットワークの設定」



3.4 患者情報の削除

患者情報の修正方法について説明します。

参考 患者情報の削除を実行すると、データの復帰はできません。

- (1) **[患者]** キーを押します。

患者リスト画面が表示されます。

リストのページを変更する場合は「患者リスト 1/3 (~ 3/3)」にカーソルを合わせ、**[←]**、**[→]** キーを押します。

患者リスト

患者リスト 1/3

番号	患者名	患者ID
01	タナカ イチロウ	123455
02	フジ タロウ	123456
03	スズキ ケンイチ	123457
04	カトウ マサコ	123458
05	ササキ ヨシハル	123459
06	モリサワ ミヨ	123460
07	アサダ アイコ	123461
08	コバヤシ ケンタ	123462
09	イガラシ タカオ	123463
10		
11		
12		
13		
14		
15		

検査番号 :
患者ID :
患者名 :
性別 :
生年月日 :
年齢 :
ドクター :
手技 :
連絡事項 :

患者リスト 1/3

リスト全削除

[↑][↓]移動 [Enter]選択 [Insert]編集 [Delete]削除 [Esc]キャンセル

- (2) 患者番号にカーソルを合わせると、選択した患者情報の詳細情報が右側に表示されます。

参考

[Enter] キーを押すと、選択している患者情報を呼び出して観察画面に戻ります。

患者リスト

患者リスト 1/3

番号	患者名	患者ID
01	タナカ イチロウ	123455
02	フジ タロウ	123456
03	スズキ ケンイチ	123457
04	カトウ マサコ	123458
05	ササキ ヨシハル	123459
06	モリサワ ミヨ	123460
07	アサダ アイコ	123461
08	コバヤシ ケンタ	123462
09	イガラシ タカオ	123463
10		
11		
12		
13		
14		
15		

検査番号 : 20070215
患者ID : 123456
患者名 : フジ タロウ
性別 : M
生年月日 : 1960/07/07
年齢 : 47
ドクター : AOYAMA
手技 : なし
連絡事項 : セイケンシ

患者リスト 1/3

リスト全削除

[↑][↓]移動 [Enter]選択 [Insert]編集 [Delete]削除 [Esc]キャンセル

- (3) 削除する患者情報にカーソルを合わせ、**[Delete]** キーを押します。

「この患者情報を削除します。よろしいですか？」のアラートが表示されます。

患者リスト

患者リスト 1/3

番号	患者名	患者ID
01	タナカ イチロウ	123455
02	フジ タロウ	123456
03	スズキ ケンイチ	123457
04	カトウ マサコ	123458
05	ササキ ヨシハル	123459
06	モリサワ ミヨ	123460
07	アサダ アイコ	123461
08	コバヤシ ケンタ	123462
09	イガラシ タカオ	123463
10		
11		
12		
13		
14		
15		

検査番号 : 20070215
患者ID : 123456
患者名 : フジ タロウ
性別 : M
生年月日 : 1960/07/07
年齢 : 47
ドクター : AOYAMA
手技 : なし
連絡事項 : セイケンシ

この患者情報を削除します。
よろしいですか？

いいえ はい

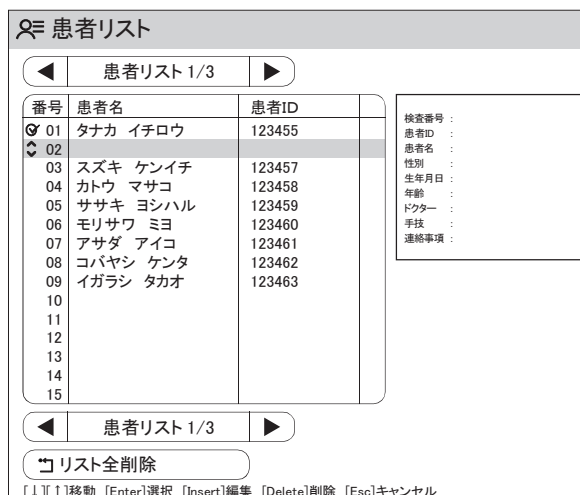
患者リスト 1/3

リスト全削除

[↑][↓]移動 [Enter]選択 [Insert]編集 [Delete]削除 [Esc]キャンセル

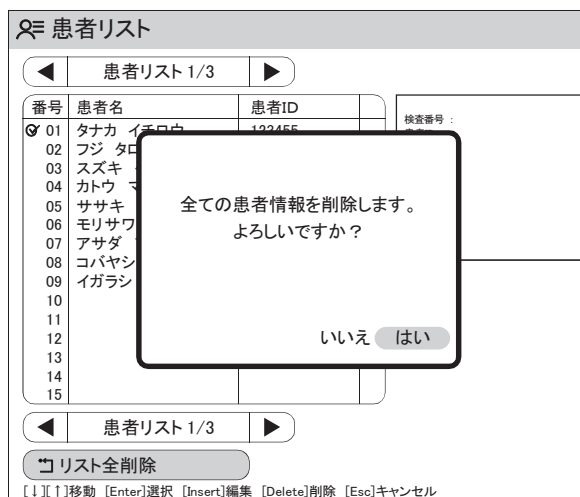
「はい」を選択すると患者情報が削除されます。
 削除されたリストは空白で表示されます。

「いいえ」を選択すると、(1)の画面に戻ります。

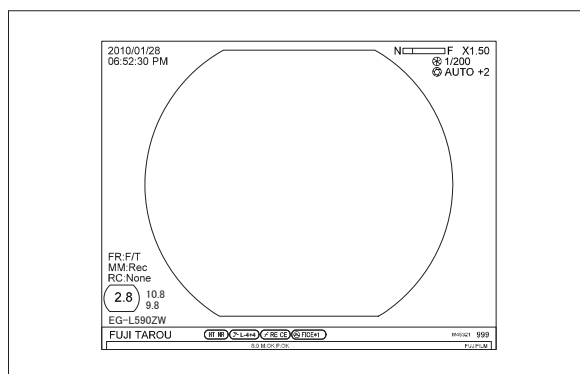


参考

すべての患者情報を削除する場合は、「リスト全削除」にカーソルを合わせ、**[Enter]** キーを押します。



- (4) **[Esc]** キーを押します。
 観察画面に戻ります。



3.5 磁気カードからの患者情報の登録

磁気カードリーダーに磁気カードを通すと、磁気カードに書き込まれている患者情報がVP-4450HDに読み込まれます。

表示されている画面の状態によって、磁気カードを読み込んだときの対応が異なります。

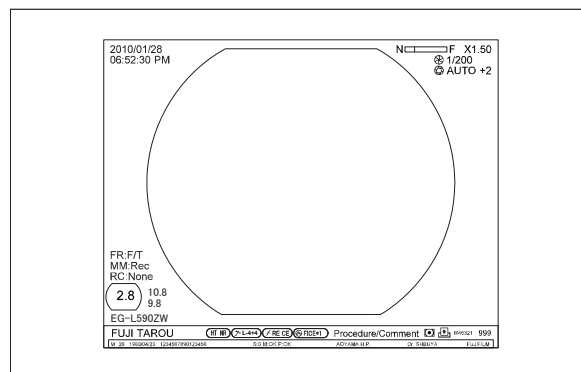
<観察画面を表示して読み込んだ場合>

観察画面が表示されている状態で磁気カードを読み込んだ場合、磁気カードから読み込んだ患者情報を患者リストの45番に登録します。また、観察画面の患者情報を、読み込んだ患者情報に切り替えます。

参考

患者情報は必ず患者リストの45番に登録されます。

45番に患者情報がすでに登録されている場合、患者情報が上書きされます。



<患者情報入力画面を表示して読み込んだ場合>

患者入力 キーを押して、患者情報入力画面を表示した状態で磁気カードを読み込んだ場合、磁気カードの患者情報が新規の患者情報として自動的に入力されます。

その後の操作は「3.1 患者情報の登録」の手順に従ってください。

参考

入力された患者情報は、「この患者で検査する」「登録終了」「次の患者情報を入力する」のボタンのいずれかを選択しないと登録されません。

患者情報入力

患者番号 01

検査番号	:
患者ID	:
患者名	:
性別	: なし M F
生年月日	:
年齢	:
医師名	:
手技	:
連絡事項	:

[] 移動 [Enter] 選択 [Esc] キャンセル

<患者リストを表示して読み込んだ場合>

[患者] キーを押して患者リストを表示した状態で磁気カードを読み込んだ場合、カーソルを合わせている番号のリストに、磁気カードの患者情報が新規の患者情報として自動的に入力、登録されます。

参考

すでに入力されているリストの番号にカーソルを合わせた場合、またはリストから患者情報入力画面を開いた場合は、患者情報が上書きされません。

患者リスト

患者リスト 1/3

番号	患者名	患者ID
01	タナカ イチロウ	123455
02	フジ タロウ	123456
03	スズキ ケンイチ	123457
04	カトウ マサコ	123458
05	ササキ ヨシハル	123459
06	モリサワ ミヨ	123460
07	アサダ アイコ	123461
08	コバヤシ ケンタ	123462
09	イガラシ タカオ	123463
10		
11		
12		
13		
14		
15		

検査番号 : 20070215
患者ID : 123456
患者名 : フジ タロウ
性別 : M
生年月日 : 1960/07/07
年齢 : 47
ドクター : AOYAMA
手扶 : なし
連絡事項 : セイケンケン

患者リスト 1/3

リスト全削除

[↑][↓]移動 [Enter]選択 [Insert]編集 [Delete]削除 [Esc]キャンセル

第4章 画像処理機能の設定

この章では画像処理機能の操作方法について説明します。

参考 観察中は、設定画面の右下に観察画面が子画面で表示されます。

4.1 構造強調の設定

構造強調の設定方法について説明します。

被写体の細かい構造等をよりはっきりと観察したいときに、被写体の輪郭を強調し、はっきりとした画像にすることができます。

輪郭を強調するレベルを強くするに従って、画像全体のノイズが目立つようになることがあります。画像を確認しながら設定してください。

4.1.1 構造強調の切り替え

構造強調ボタンを押すたびに、構造強調機能の入/切が切り替わります。

電源投入時または検査開始時は、「切」に設定されています。

<通常モードの場合>

構造強調機能が設定されている場合、画面には次のように表示されます。

ア-L-4+4

設定値の文字および文字色は、初期設定の状態に応じて次のように表示されます。(()内は設定値)

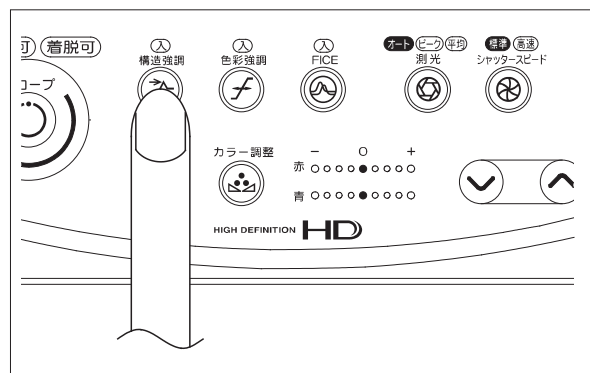
SE (構造強調) : L / 白 (弱)、M / 緑 (中)、H / 黄 (強)

設定文字の右隣の数値は、それぞれ、

輪郭強調の DH (微細部)

輪郭強調の DL (構造部)

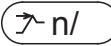
の設定レベルを表します。

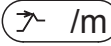


< BLI、BLI-bright または LCI の場合 >

構造強調機能が設定されている場合、画面には次のように表示されます。


設定値の文字色は常に白で表示されます。

Aモード： (nはAモードの設定レベルを表します。)

Bモード： (mはBモードの設定レベルを表します。)

4.1.2 構造強調の設定

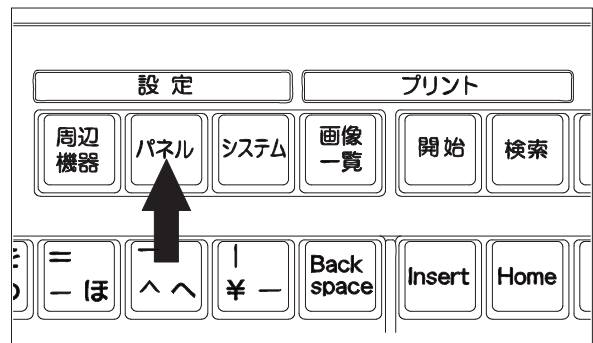
<通常モードの場合>

- (1)  キーを押します。


参考

構造強調機能は FICE 入/切それぞれの状態の設定を個別に行うことができます。


FICE 入時に構造強調設定画面を呼び出すと FICE 入時の構造強調、FICE 切時に構造強調設定画面を呼び出すと、FICE 切時の構造強調を設定します。

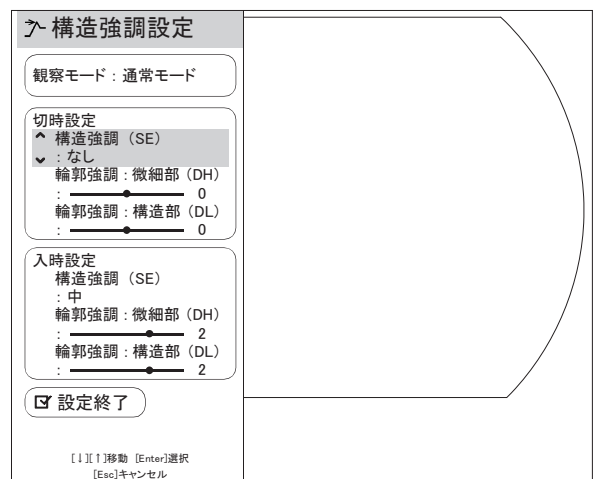


- (2) パネルスイッチ設定画面が表示されます。

「構造強調設定」にカーソルを合わせ、 キーを押します。



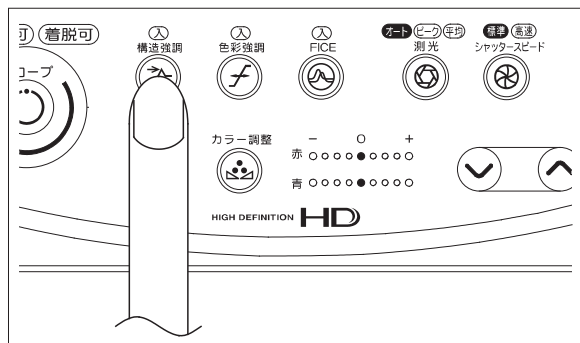
構造強調設定画面が表示され、構造強調ボタン上部の LED が点滅します。



参考

(1) ~ (2) の手順の代わりに VP-4450HD 前面パネルの「構造強調」ボタンを約 2 秒間押し続けても同じ画面が表示されます。

もう一度「構造強調」ボタンを押すと、観察画面に戻ります。

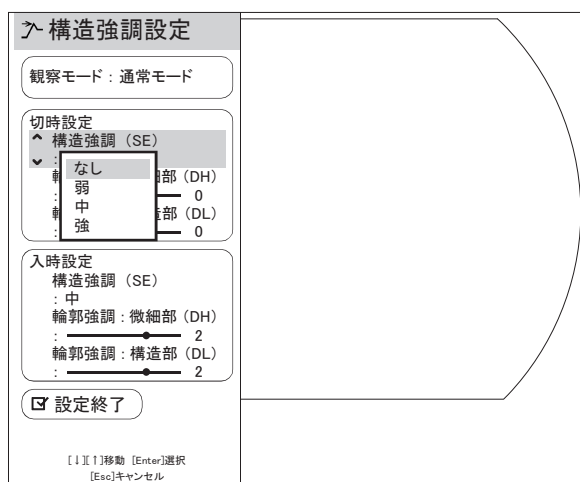


(3) 「構造強調」機能「切」時の設定をします。

「構造強調」にカーソルを合わせ、**[Enter]** キーを押します。

ポップアップメニューが表示されるので、構造強調をかける強さを「なし」「弱」「中」「強」から選択します。

「なし」を選択した場合は、構造強調をかけません。



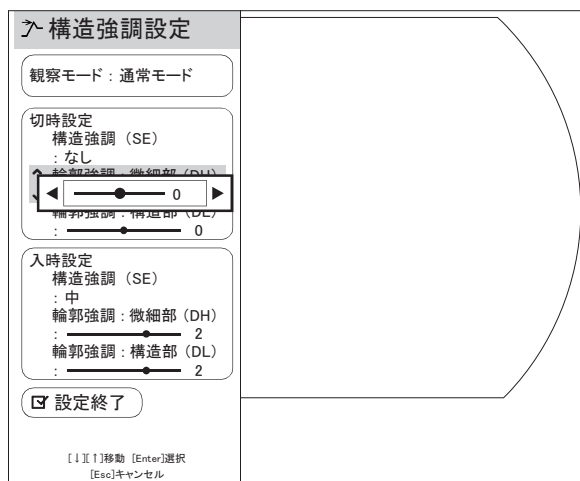
参考

ここで設定した値は「構造強調」機能を「切」にしているときに有効となります。

(4) 「輪郭強調 (微細部)」にカーソルを合わせ、**[Enter]** キーを押します。

スライダーが表示されるので、**[←]**、**[→]** キーで数値を設定します。数値を選択後、**[Enter]** キーで確定します。

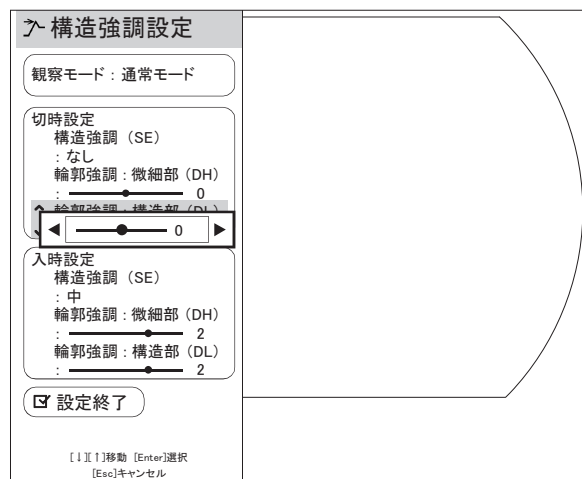
設定値は - 4 から + 4 の 9 段階です。- 4 は輪郭強調をかけません。



- (5) 「輪郭強調（構造部）」にカーソルを合わせ、**Enter** キーを押します。

スライダーが表示されるので、**←**、**→** キーで数値を設定します。数値を選択後、**Enter** キーで確定します。

設定値は-4から+4の9段階です。-4は輪郭強調をかけません。

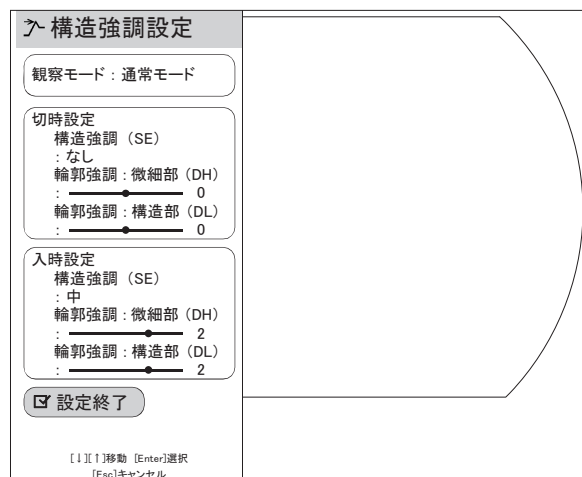


- (6) 同様に「構造強調」機能「入」時の「構造強調」「輪郭強調（微細部）」「輪郭強調（構造部）」を設定をします。

- (7) 「設定終了」にカーソルを合わせ、**Enter** キーを押します。

設定を読み込んで、観察画面に戻ります。

「設定終了」せずに **Esc** キーまたは前面パネルの「構造強調」ボタンを押すと、設定をキャンセルして観察画面に戻ります。



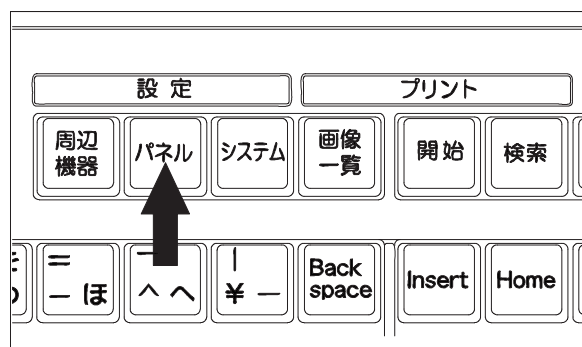
< BLI、BLI-bright または LCI の場合 >

参考 構造強調の設定は観察モード毎にそれぞれの状態の設定を個別に保持することができます。BLI モード時に構造強調設定画面を呼び出すと BLI モード時の構造強調、BLI-bright モード時に構造強調設定画面を呼び出すと BLI-bright モード時の構造強調、LCI モード時に構造強調設定画面を呼び出すと LCI モード時の構造強調を設定します。

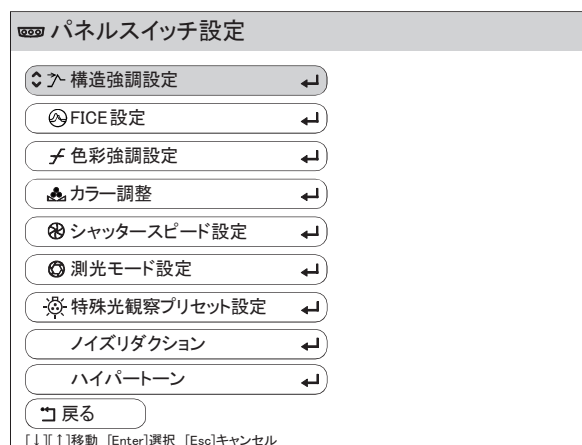
- (1) **パネル** キーを押します。

参考

BLI、BLI-bright または LCI の構造強調を設定する場合は予め観察モードを BLI、BLI-bright または LCI モードに設定する必要があります。



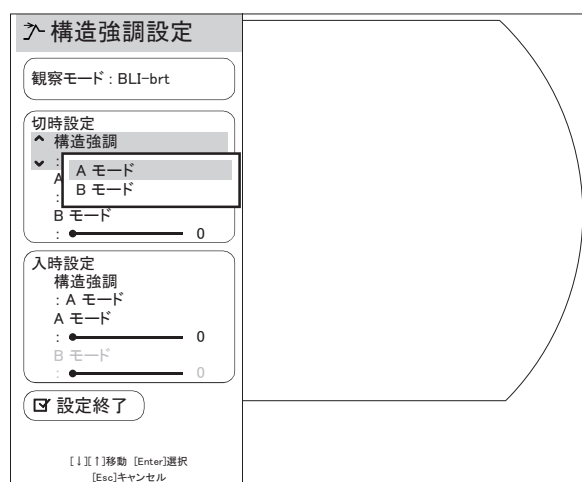
- (2) パネルスイッチ設定画面が表示されます。「構造強調設定」にカーソルを合わせ、**Enter** キーを押します。



- (3) 「構造強調」機能「切」時の設定をします。「構造強調」にカーソルを合わせ、**Enter** キーを押します。ポップアップメニューが表示されるので、構造強調のモードを「A モード」「B モード」から選択します。

参考

ここで設定した値は「構造強調」機能を「切」にしているときに有効となります。

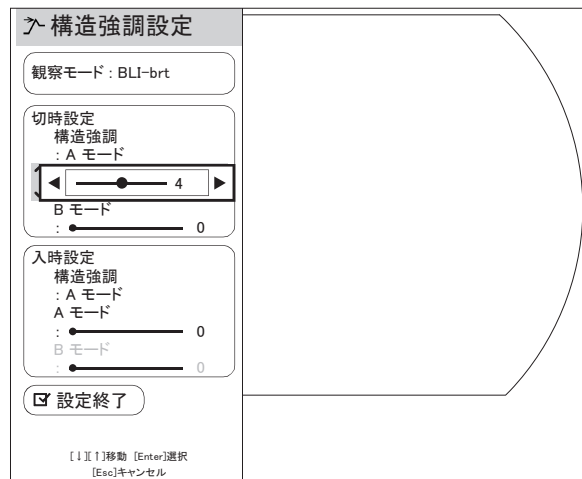


- (4) Aモード選択時は「Aモード」にカーソルを合わせ、**[Enter]**キーを押します。

スライダーが表示されるので、**[←]**、**[→]**キーで数値を設定します。

数値を選択後、**[Enter]**キーで確定します。

設定値は0から8の9段階です。0は構造強調を掛けません。

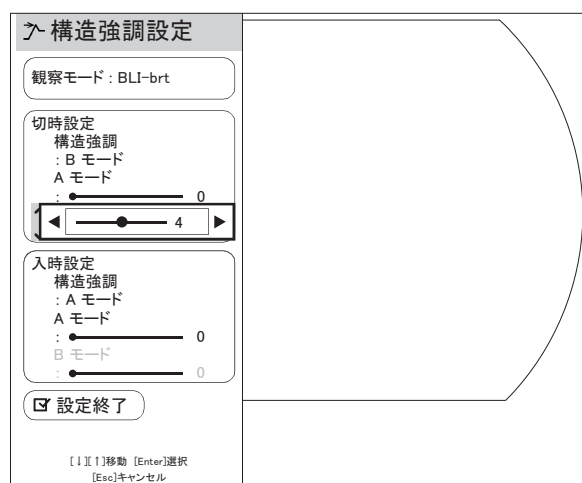


- (5) Bモード選択時は「Bモード」にカーソルを合わせ、**[Enter]**キーを押します。

スライダーが表示されるので、**[←]**、**[→]**キーで数値を設定します。

数値を選択後、**[Enter]**キーで確定します。

設定値は0から8の9段階です。0は構造強調を掛けません。

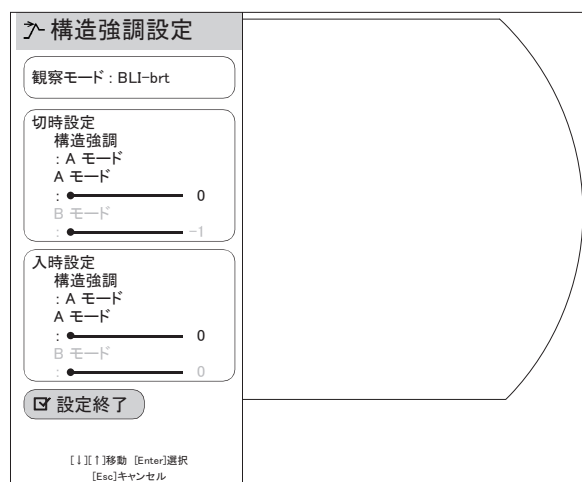


- (6) 同様に「構造強調」機能「入」時の構造強調のモードと各モードのレベルを設定します。

- (7) 「設定終了」にカーソルを合わせ、**[Enter]**キーを押します。

設定を読み込んで、観察画面に戻ります。

「設定終了」せずに**[Esc]**キーまたは前面パネルの「構造強調」ボタンを押すと、設定をキャンセルして観察画面に戻ります。



4.2 FICE の設定

FICE の設定方法について説明します。

FICE とは、分光画像処理機能のことです。

通常の内視鏡画像から、特定の波長成分によって得られる画像（分光画像）を画像処理によって抽出し、R,G,B 表示成分にそれぞれ当てはめて、擬似カラー表示することができます。

R,G,B 表示成分に当てはめる波長は、それぞれ 400 ～ 695nm の範囲で 5nm ごとに設定することができます。また、R、G、B ゲインによって表示する画像の色調を変えることができます。

観察したい被写体の構造や領域を選択的に色調強調し、構造や領域の視認性を向上させることができます。

R,G,B 表示成分と R、G、B ゲインの設定は、1つの FICE セットとして登録され、FICE ページと呼ばれる領域に保存し必要なときに呼び出すことができます。

- 参考**
- ・BLI、BLI-bright および LCI では FICE は使用できません。
 - ・FICE が「入」の場合、観察モードの切り替えはできません。あらかじめ FICE を「切」にしてから観察モードを切り替えてください。

4.2.1 FICE の切り替え

FICE ボタンまたはキーボードの FICE キーを押すたびに、FICE の入 / 切が切り替わります。

参考

色彩強調機能が「入」のときに FICE を「入」にすると、自動的に色彩強調機能が「切」になります。

FICE が「入」の場合、画面には次のように表示されます。

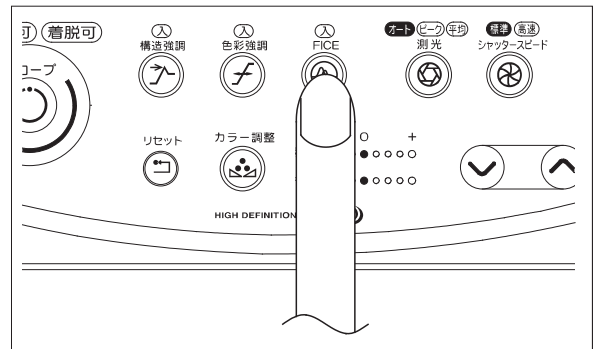
 FICE*0

「*0」「23」などの数字は選択している FICE ページと FICE セットの番号です。

*印は、デフォルトの FICE ページ(FICE ページ: 0) を示します。

FICE セットは、テンキーで変更することができます。

→ 「4.2.3 FICE セットの呼び出し」



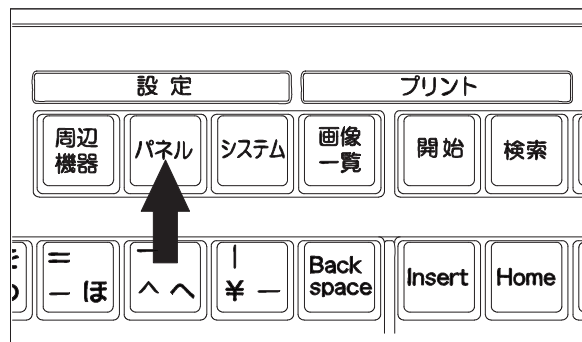
4.2.2 FICE ページの登録・呼び出し

FICE ページは、FICE セット番号 0 ～ 9 の合計 10 個の FICE セット設定内容と、簡易 FICE 切り替えの FICE セットをプリセットとして保存する領域です。複数の術者が共用して使用する場合、術者ごとの異なる FICE セットを設定・保存するのに有効です。

FICE セットの設定については、「4.2.4 FICE セットの設定」を参照してください。

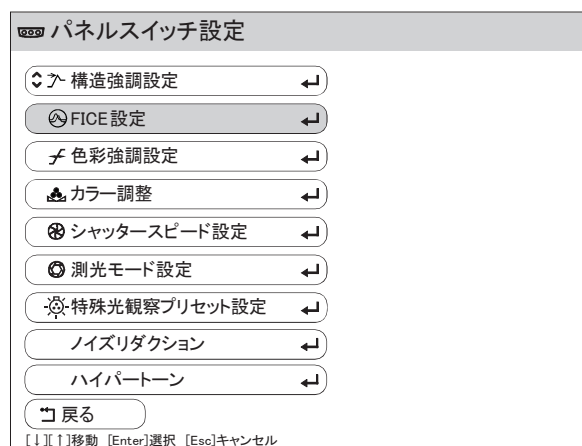
VP-4450HD の電源を入れた時およびスコープボタンを押して検査を開始した後、初めて FICE を「入」にした場合には、デフォルトページ（FICE ページ：0）が表示されます。

- (1) FICE を「入」にして、**パネル** キーを押します。



- (2) パネルスイッチ設定画面が表示されます。

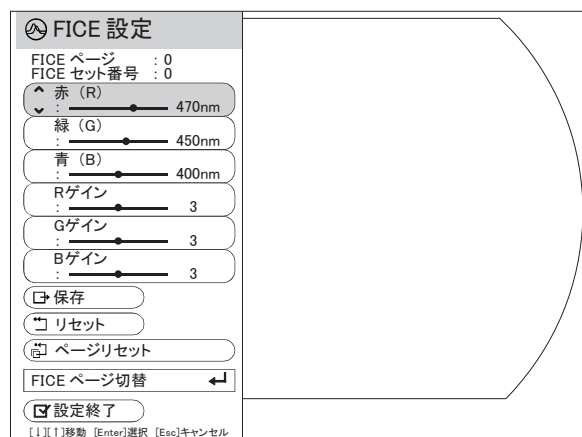
「FICE 設定」にカーソルを合わせ、**Enter** キーを押します。



FICE 設定画面が表示され、FICE ボタン上部の **入** LED が点滅します。

FICE ページ：選択されている FICE ページの番号が表示されます。「FICE ページ：0」はデフォルトページです。ここでは番号の変更はできません。

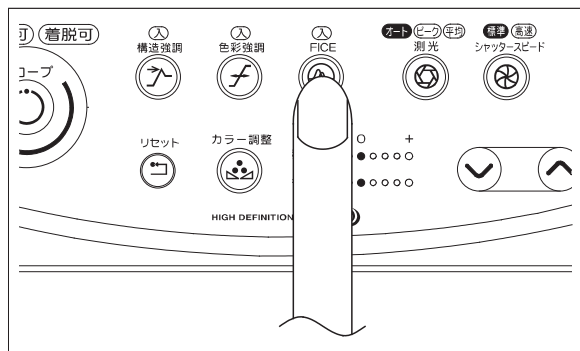
FICE セット番号：選択されている FICE セット番号が表示されます。ここでは番号の変更はできません。



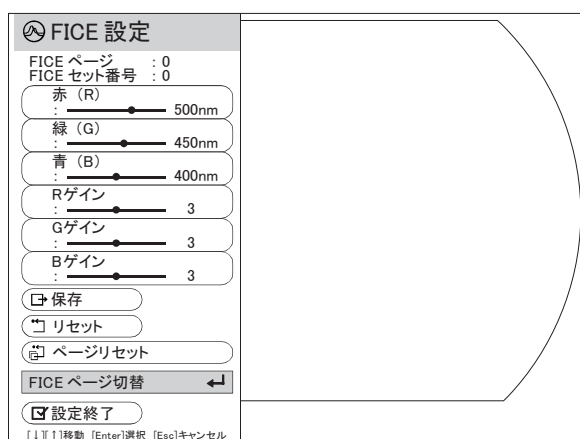
参考

(1)～(2)の手順の代わりに、FICEを「入」にしてVP-4450HD前面パネルの「FICE」ボタンを約2秒間押し続けても同じ画面が表示されます。

もう一度「FICE」ボタンを押すと、観察画面に戻ります。



(3) 「FICE ページ切替」にカーソルを合わせ、**Enter** キーを押します。



FICE ページ設定画面が表示されます。

FICE ページ

設定リスト

番号	FICE ページ名	割り当て 1	割り当て 2	割り当て 3
*	(起動時設定)	0	1	設定なし
01	FICE Page1	1	4	7
02	未登録	2	5	8
03	未登録	0	1	設定なし
04	未登録	0	1	設定なし
05	未登録	0	1	設定なし

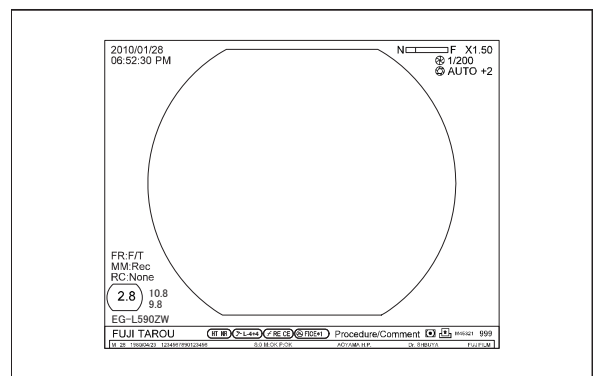
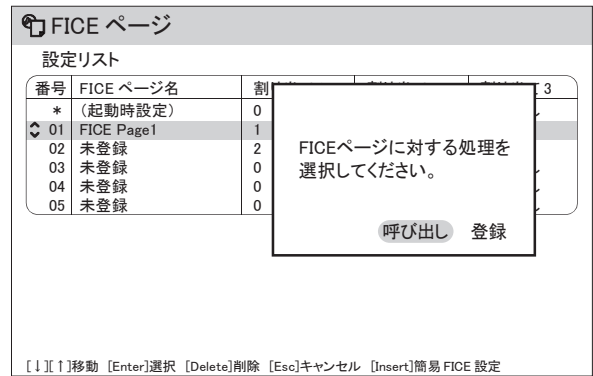
[] [] 移動 [Enter] 選択 [Delete] 削除 [Esc] キャンセル [Insert] 簡易 FICE 設定

- (4) 登録または呼び出したい FICE ページのリスト番号にカーソルを合わせ、**[Enter]** キーを押します。
「FICE ページに対する処理を選択してください。」の確認ウィンドウが表示されます。

参考

- ・「未登録」のページを選択した場合は、確認ウィンドウで「登録」のみ選択可能となります。
- ・「起動時設定」のページを選択した場合は、確認ウィンドウで「呼び出し」のみ選択可能となります。

- (5) 「呼び出し」を選択すると、その FICE ページに登録されている FICE セットの情報を呼び出して観察画面に戻ります。



- (6) (4) で「登録」を選択すると、文字入力が可能となるので FICE ページの名称を変更し、**[Enter]** キーで確定します。

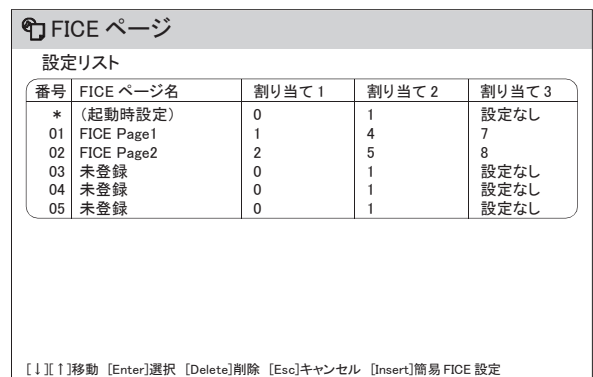
「未登録」の FICE ページには、工場出荷時に設定された FICE セット (番号 0 ~ 9) が保存されています。

手順 (1)、(2) の前に FICE セットの設定を変更した場合は、変更した FICE セット番号を上書き保存します。

参考

「割り当て」については、「4.2.5 簡易 FICE スイッチ設定」をご参照ください。


→ 「4.2.5 簡易 FICE スイッチ設定」

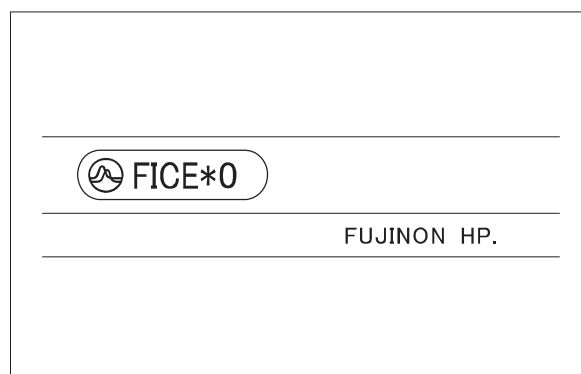


4.2.3 FICE セットの呼び出し

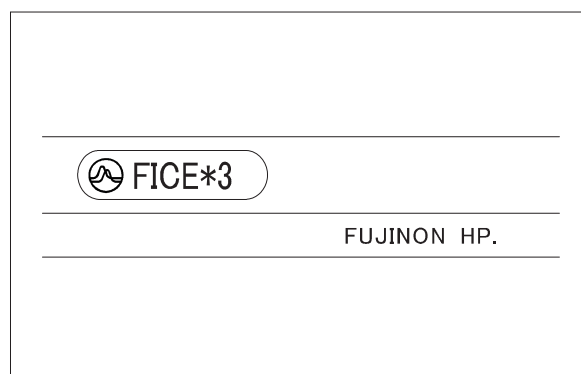
FICE セットは5つのFICE ページにそれぞれ10セット(番号0~9)保存することができます。ここではあらかじめ設定されている FICE セットを呼び出す方法について説明します。FICE セットの設定については、「4.2.4 FICE セットの設定」を参照してください。

- (1) FICE を「入」にします。
「4.2.2 FICE ページの登録・呼び出し」に従って、目的の FICE セットが登録されている FICE ページを呼び出します。

- (2) 観察画面に  FICE*0 が表示されます。*印はデフォルトの FICE ページ (FICE ページ : 0) を示し、その次の数字 (このイラストでは「0」) が FICE セット番号を示します。



- (3) キーボードのテンキーで 0 ~ 9 までの数字を入力します。
FICE セット番号を変更し、その番号に登録されている FICE セットを呼び出して表示します。



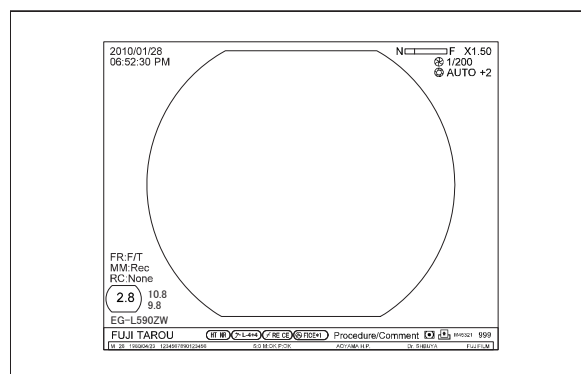
4.2.4 FICE セットの設定

FICE で、FICE セットの RGB に当てはめる設定値の変更方法について説明します。

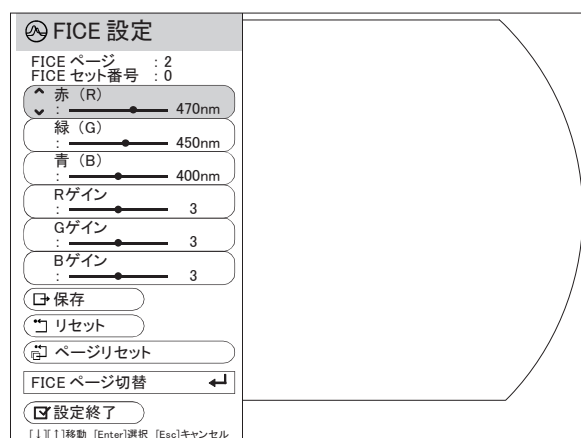
FICE セットは5つのFICE ページにそれぞれ10セット(番号0～9)保存することができます。1つのFICE セットは赤 (R)、緑 (G)、青 (B) の「R,G,B 表示成分」と、R ゲイン、G ゲイン、B ゲインの各「ゲインレベル」で構成されています。R,G,B 表示成分に当てはめる波長は、それぞれ 400 ～ 695nm の範囲で 5nm ごとに設定することができます。また、R、G、B ゲインによって表示する画像の色調を変えることができます。

R、G、B ゲインのゲインレベルは 1 ～ 5 の 5 段階で設定できます。

- (1) 「4.2.2 FICE ページの登録・呼び出し」の手順に従って、設定するFICE ページを呼び出します。必要に応じて「4.2.3 FICE セットの呼び出し」に従って FICE セット番号を呼び出します。

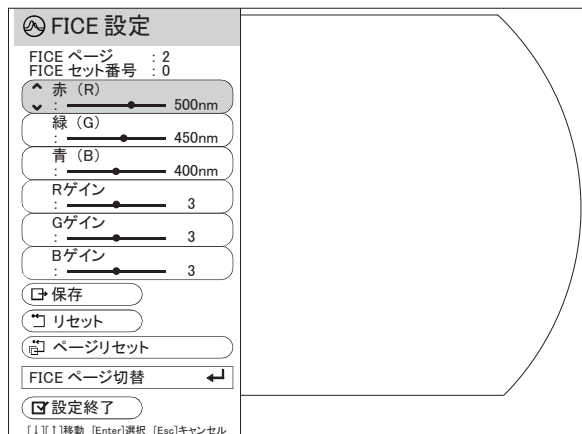


- (2) パネルスイッチ設定画面から「FICE 設定」を選択するか、VP-4450HD 前面パネルの「FICE」ボタンを約 2 秒間押し続けます。FICE 設定画面が表示されます。



- (3) R,G,B 表示成分の波長を設定します。

「赤 (R)」にカーソルを合わせ、**←**、**→**キーで数値を設定します。
波長は 400nm ~ 695nm の範囲で、5nm 刻みで設定できます。



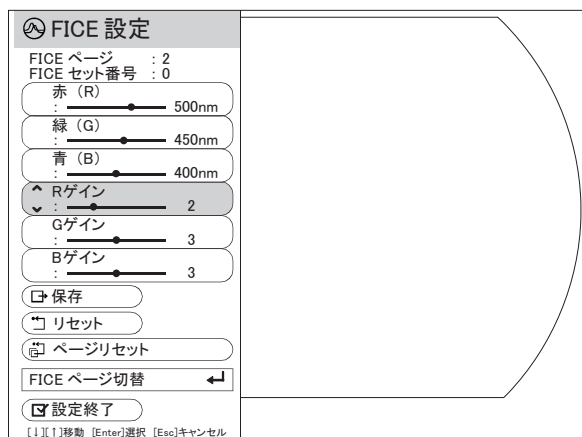
- (4) 同様に「緑 (G)」、「青 (B)」を設定します。

参考

- ・650nm 以上の波長を設定した場合、該当波長成分を強調する効果が、FICE 画像に反映されにくいことがあります。
- ・波長を変更するとき、RGB 全てを同じ波長に設定することはできません。

- (5) 色調を画面で確認しながら、ゲインレベルを設定します。

「Rゲイン」にカーソルを合わせ、**←**、**→**キーで数値を設定します。
ゲインレベルは 1 ~ 5 の 5 段階で設定できます。

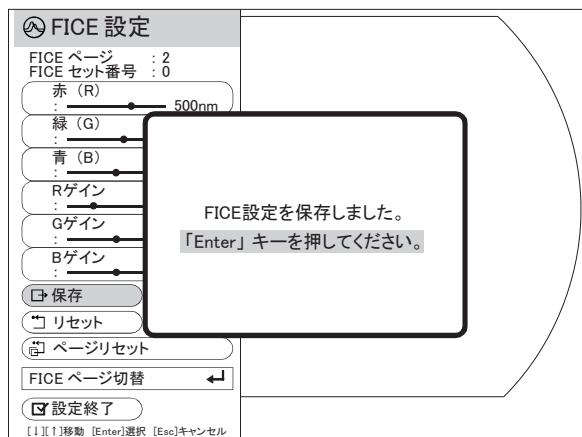


参考

ゲインレベルを高い数値に設定すると、画像の高輝度部分がハレーションをおこす場合があります。

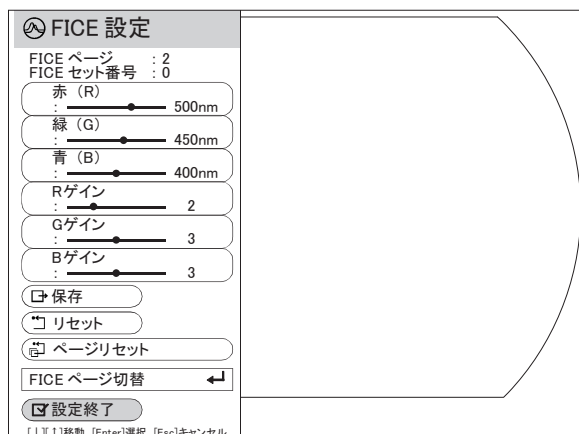
- (6) 同様に「Gゲイン」、「Bゲイン」を設定をします。

- (7) 「保存」にカーソルを合わせ、**Enter**キーを押します。
選択した FICE ページに設定値が上書き保存されます。



- (8) 「設定終了」にカーソルを合わせ、**Enter** キーを押します。
観察画面に戻ります。

「設定終了」せずに **Esc** キーまたは前面パネルの「FICE」ボタンを押すと、設定をキャンセルして観察画面に戻ります。



4.2.5 簡易 FICE スイッチ設定

簡易 FICE スイッチ設定は「FICE」を割り当てているスコープスイッチを押すことで切り替えられる FICE セットの FICE セット番号を割り当てる機能です。

ここで FICE セット番号を割り当てておくと、FICE「切」時にスコープスイッチを押したときに「FICE 入および “割り当て 1” のセット番号呼び出し → “割り当て 2” 呼び出し → “割り当て 3” 呼び出し → FICE 切」と機能を切り替えます。

→ VP-4450HD/LL-7000 設置マニュアル「4.3 スコープスイッチの設定」

- 参考**
- ・呼び出される FICE セット番号は、スコープスイッチを押したときに呼び出している FICE ページ内のセット番号となります。
 - ・すでに FICE が入になっている場合も同じ動きをします。

- (1) FICE ページ設定画面を表示します。

→ 「4.2.2 FICE ページの登録・呼び出し」

FICE ページ				
設定リスト				
番号	FICE ページ名	割り当て 1	割り当て 2	割り当て 3
*	(起動時設定)	0	1	設定なし
01	FICE Page1	1	4	7
02	未登録	2	5	8
03	未登録	0	1	設定なし
04	未登録	0	1	設定なし
05	未登録	0	1	設定なし

[Left Arrow]移動 [Enter]選択 [Delete]削除 [Esc]キャンセル [Insert]簡易 FICE 設定

- (2) 簡易 FICE 切り替えの設定を行いたい FICE ページのリスト番号にカーソルを合わせ、**Insert** キーを押します。

割り当て 1 のポップアップメニューが表示されるので、「設定なし」または 0 から 9 の FICE セット番号を選択します。

- (3) 割り当て 1 の選択が終わったら **Enter** キーを押します。

割り当て 2 のポップアップメニューが表示されるので、「設定なし」または 0 から 9 の FICE セット番号を選択します。

- (4) 同様に割り当て 3 の FICE セットを設定し

Enter キーを押すと、FICE ページの簡易 FICE 切り替えの設定を確定します。

- (5) **Esc** キーを押すと、観察画面に戻ります。

FICE ページ

設定リスト

番号	FICE ページ名	割り当て 1	割り当て 2	割り当て 3
*	(起動時設定)	0	1	設定なし
01	FICE Page1	設定なし	4	7
02	未登録	0	5	8
03	未登録	1	1	設定なし
04	未登録	1	1	設定なし
05	未登録	2	1	設定なし

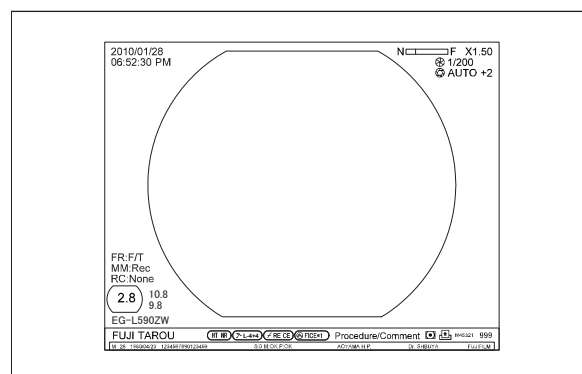
0
1
2
3
4
5
6
7
8 v

[!][] 移動 [Enter] 選択 [Delete] 削除 [Esc] キャンセル [Insert] 簡易 FICE 設定

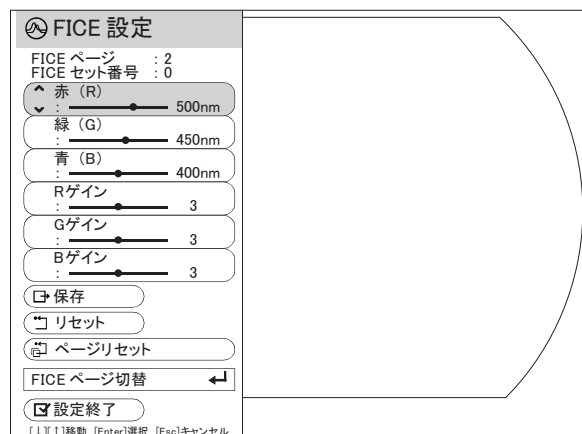
4.2.6 FICE セットのリセット

設定した FICE セットの値を工場出荷時の状態に戻します。

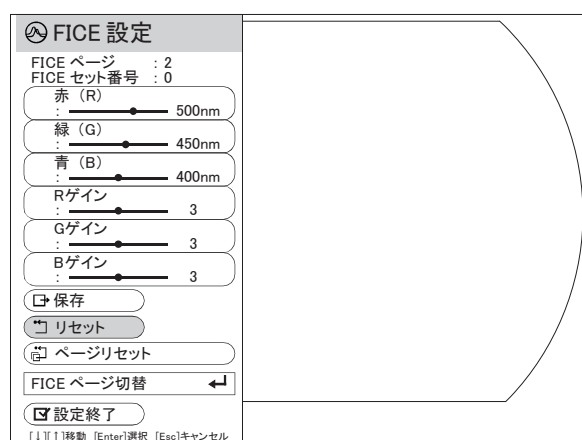
- (1) 「4.2.2 FICE ページの登録・呼び出し」の手順に従って、設定する FICE ページを呼び出します。必要に応じて「4.2.3 FICE セットの呼び出し」に従って FICE セット番号を呼び出します。



- (2) パネルスイッチ設定画面から「FICE 設定」を選択するか、VP-4450HD 前面パネルの「FICE」ボタンを約 2 秒間押し続けます。
FICE 設定画面が表示されます。



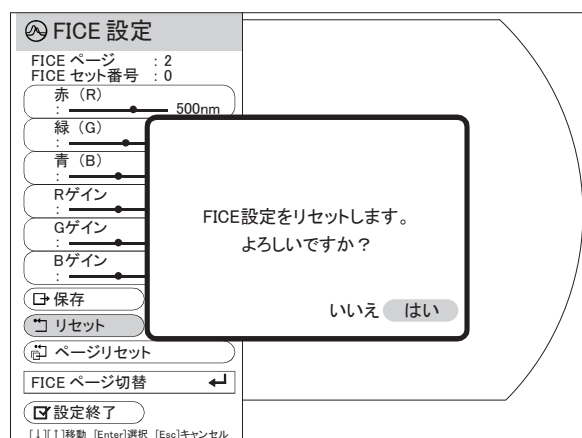
- (3) 選択した FICE ページに保存されている FICE セットのうち表示している FICE セット番号の設定のみ (例:FICE ページ「2」の中の FICE セット番号「0」のみ) をリセットする場合は、「リセット」にカーソルを合わせ、「Enter」キーを押します。



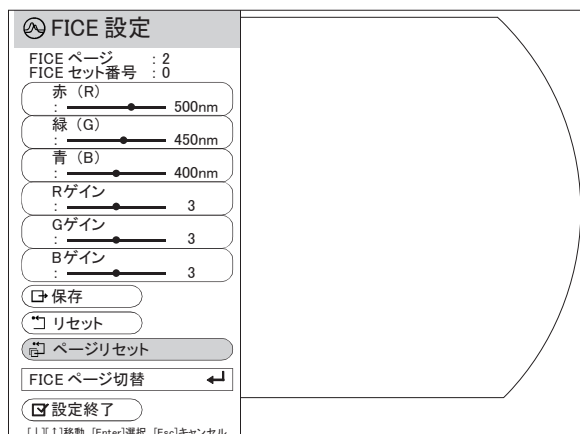
「FICE 設定をリセットします。よろしいですか？」のアラートが表示されます。

「はい」を選択すると、0～9の FICE セットのうち、現在選択されている FICE セットを工場出荷時の設定に戻します。

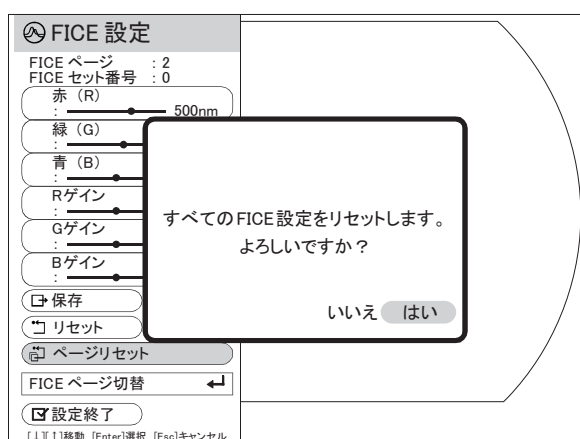
「いいえ」を選択すると、設定を変更せずに (1) の画面に戻ります。



- (4) 選択している FICE ページに保存されているすべての FICE セットの設定 (例:FICE ページ「2」の中の FICE セット番号「0～9」すべて) をリセットする場合は、「ページリセット」にカーソルを合わせ、**[Enter]** キーを押します。



「すべての FICE 設定をリセットします。よろしいですか？」のアラートが表示されます。「はい」を選択すると、現在選択されている FICE ページのすべての FICE セットを工場出荷時の設定に戻します。「いいえ」を選択すると、設定を変更せずに (2) の画面に戻ります。



4.2.7 FICE ページの削除

- (1) FICE ページ設定画面を表示します。

→ 「4.2.2 FICE ページの登録・呼び出し」

FICE ページ

設定リスト

番号	FICE ページ名	割り当て 1	割り当て 2	割り当て 3
*	(起動時設定)	0	1	設定なし
01	FICE Page1	1	4	7
02	FICE Page2	2	5	8
03	未登録	0	1	設定なし
04	未登録	0	1	設定なし
05	未登録	0	1	設定なし

[] [] 移動 [Enter] 選択 [Delete] 削除 [Esc] キャンセル [Insert] 簡易 FICE 設定

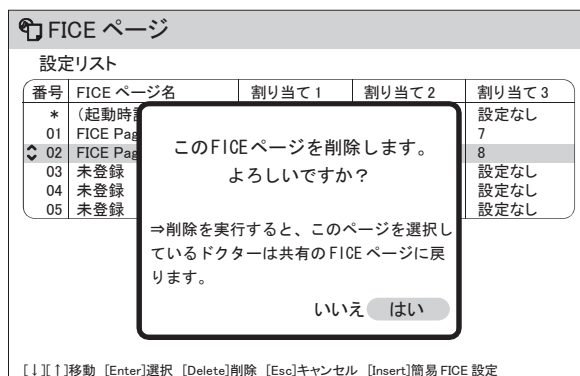
- (2) 変更する FICE ページ番号にカーソルを合わせ、
 [Delete] キーを押します。

「この FICE ページを削除します。よろしいですか？」のアラートが表示されます。

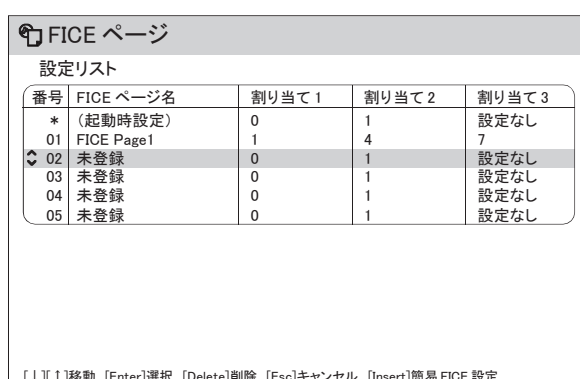
「はい」を選択すると、FICE ページの情報が削除され、「未登録」になります。

削除した FICE ページをドクターリストに登録していた場合、そのリストの FICE ページはデフォルトの設定に変更されます。

「いいえ」を選択すると、(1) の画面に戻ります。



- (3) FICE ページの情報が削除され、「未登録」になります。



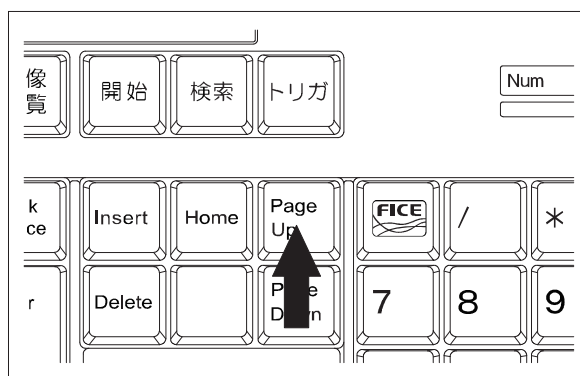
4.2.8 FICE 設定値の確認

観察画面を表示し、FICE を「入」にします。

[PageUp] キーを押すと、観察画面に現在の FICE セットを表示します。

再度 [PageUp] キーを押すと FICE セットの表示は消えます。

- VP-4450HD 取扱説明書（基本編）LL-7000 用
 「3.8 FICE セットの表示について」



4.3 色彩強調の設定

色彩強調の設定方法について説明します。

色彩強調は、被写体のわずかな色調の変化をよりはっきりと観察したいときに、被写体の色調の変化をより強調することができます。色調の鮮やかさの度合いを強めて表示します。

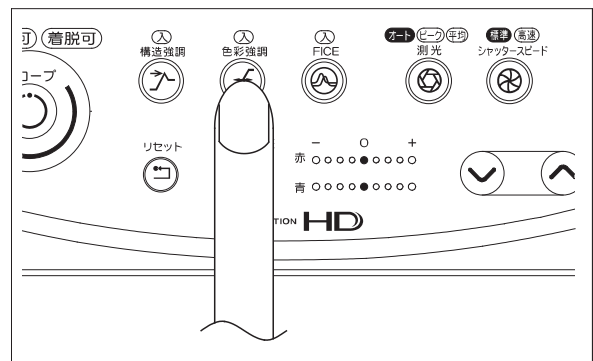
また赤色強調は、粘膜と血管のような微妙な色調の違いを強調することができます。

4.3.1 色彩強調機能の切り替え

色彩強調ボタンを押すたびに、色彩強調機能の入 / 切が切り替わります。

参考

色彩強調機能が「入」のときに FICE を「入」にすると、自動的に色彩強調機能が「切」になります。



<通常モードの場合>

色彩強調機能が設定されている場合、画面には次のように表示されます。

f RE CE

設定値の文字色は、初期設定の状態に応じて次のように表示されます。(() 内は設定値)

RE (赤色強調) : 白 (弱)、緑 (中)、黄 (強)

CE (色彩強調) : 白 (弱)、緑 (中)、黄 (強)

<BLI、BLI-bright または LCI の場合>

色彩強調機能が設定されている場合、画面には次のように表示されます。

f C1

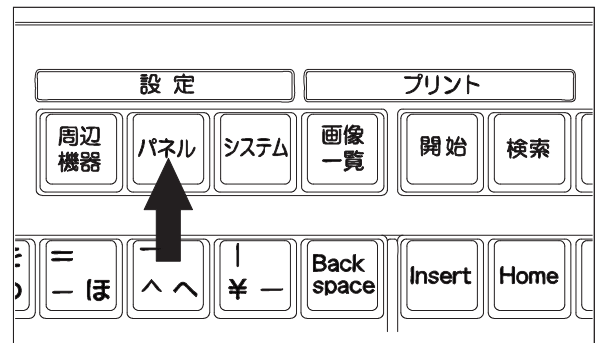
設定値の文字および文字色は、初期設定の状態に応じて次のように表示されます。(() 内は設定値)

CE (色彩強調) : C1 / 白 (色調 1)、C2 / 緑 (色調 2)、C3 / 黄 (色調 3)

4.3.2 色彩強調機能の設定

＜通常モードの場合＞

(1) **パネル** キーを押します。



(2) パネルスイッチ設定画面が表示されます。

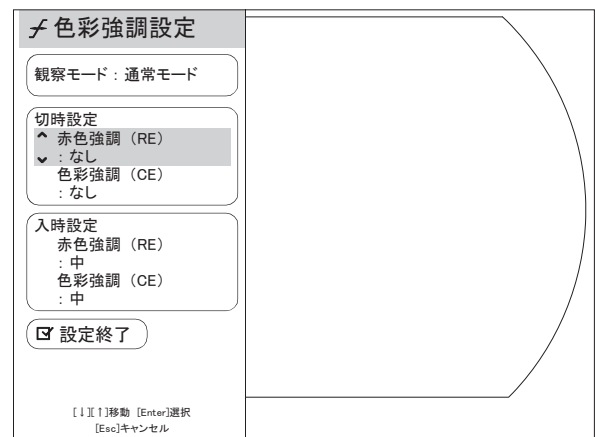
「色彩強調設定」にカーソルを合わせ、**Enter** キーを押します。



色彩強調設定画面が表示され、色彩強調ボタン上部の**入** LED が点滅します。

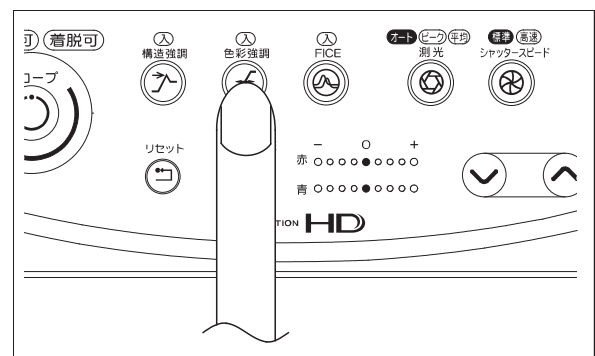
参考

FICE が「入」のときは、色彩強調機能設定はできません。



参考

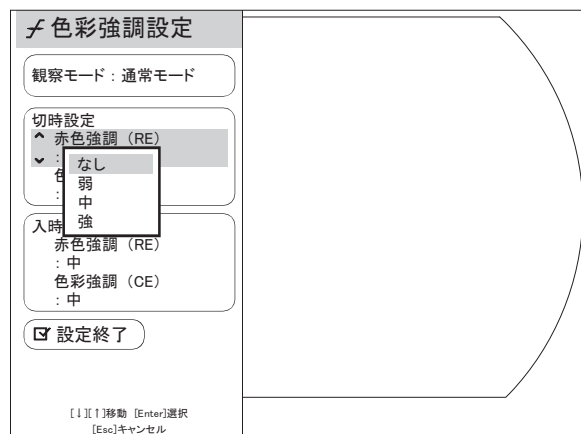
(1) ~ (2) の手順の代わりに VP-4450HD 前面パネルの「色彩強調」ボタンを約 2 秒間押し続けても同じ画面が表示されます。もう一度「色彩強調」ボタンを押すと、観察画面に戻ります。



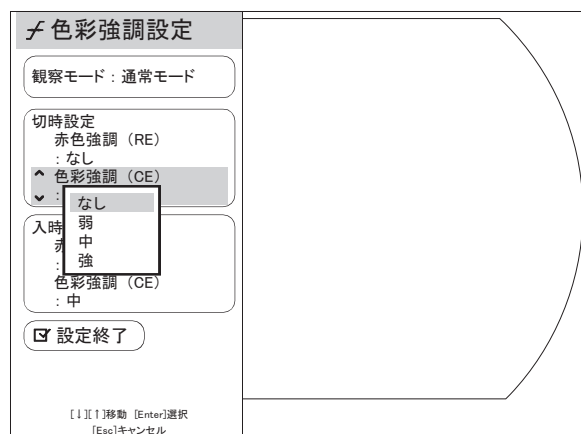
- (3) 「色彩強調」機能「切」時の設定をします。
 「赤色強調」にカーソルを合わせ、**[Enter]**キーを押します。
 ポップアップメニューが表示されるので、赤色強調をかける強さを「なし」「弱」「中」「強」から選択します。
 「なし」を選択した場合は、赤色強調をかけません。

参考

ここで設定した値は「色彩強調」機能を「切」にしているときに有効となります。



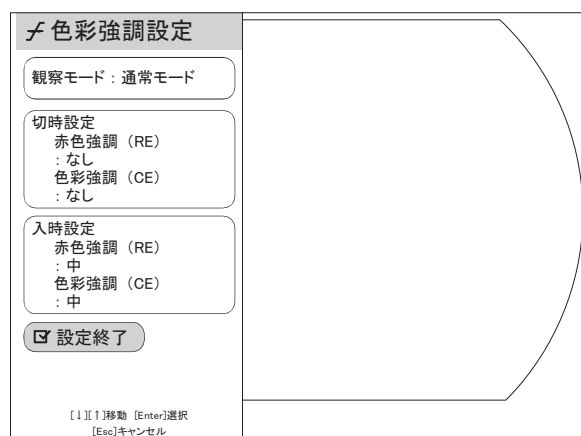
- (4) 「色彩強調」にカーソルを合わせ、**[Enter]**キーを押します。
 ポップアップメニューが表示されるので、色彩強調をかける強さを「なし」「弱」「中」「強」から選択します。
 「なし」を選択した場合は、色彩強調をかけません。



- (5) 同様に「色彩強調」機能「入」時の「赤色強調」「色彩強調」を設定します。

- (6) 「設定終了」にカーソルを合わせ、**[Enter]**キーを押します。
 設定を読み込んで、観察画面に戻ります。

「設定終了」せずに**[Esc]**キーまたは前面パネルの「色彩強調」ボタンを押すと、設定をキャンセルして観察画面に戻ります。



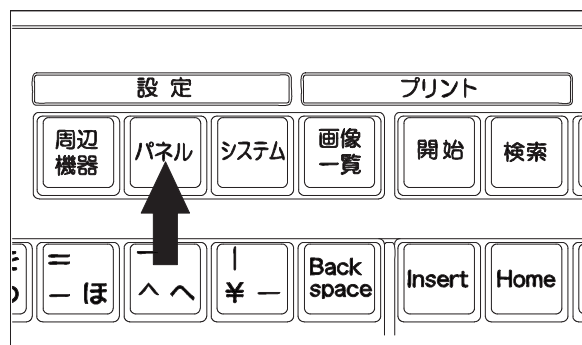
< BLI、BLI-bright または LCI の場合 >

参考 色彩強調の設定は観察モード毎にそれぞれの状態の設定を個別に保持することができます。BLI モード時に色彩強調設定画面を呼び出すと BLI モード時の色彩強調、BLI-bright モード時に色彩強調設定画面を呼び出すと BLI-bright モード時の色彩強調、LCI モード時に色彩強調設定画面を呼び出すと LCI モード時の色彩強調を設定します。

- (1) **パネル** キーを押します。

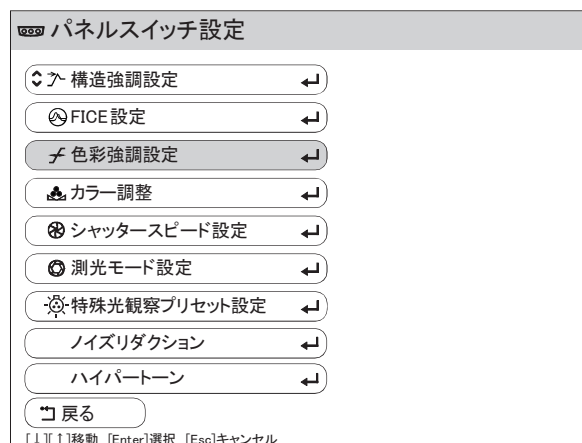
参考

BLI、BLI-bright または LCI の色彩強調を設定する場合は予め観察モードを BLI、BLI-bright または LCI モードに設定する必要があります。

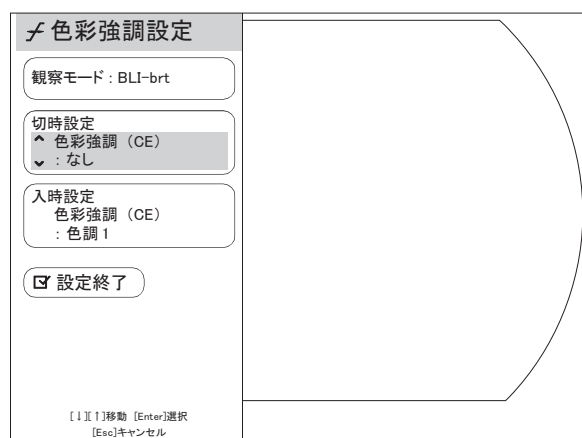


- (2) パネルスイッチ設定画面が表示されます。

「色彩強調設定」にカーソルを合わせ、**Enter** キーを押します。



色彩強調設定画面が表示され、色彩強調ボタン上部の **入** LED が点滅します。



- (3) 「色彩強調」機能「切」時の設定をします。
「色彩強調 (CE)」にカーソルを合わせ、
[Enter] キーを押します。

ポップアップメニューが表示されるので、色彩強調のモードを「なし」「色調 1」「色調 2」「色調 3」から選択します。

参考

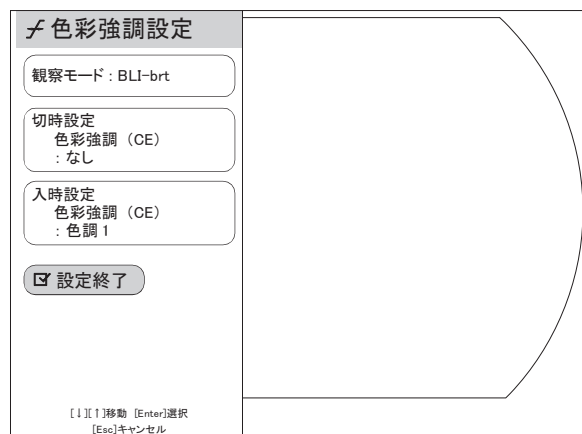
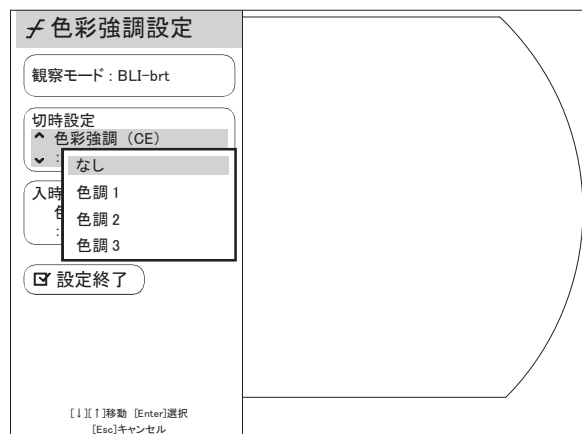
- ・ここで設定した値は「色彩強調」機能を「切」にしているときに有効となります。
- ・「なし」は BLI-bright モード時のみ選択できません。

- (4) 同様に「色彩強調」機能「入」時の構造強調のモードと各モードのレベルを設定します。

- (5) 「設定終了」にカーソルを合わせ、[Enter] キーを押します。

設定を読み込んで、観察画面に戻ります。

「設定終了」せずに [Esc] キーまたは前面パネルの「色彩強調」ボタンを押すと、設定をキャンセルして観察画面に戻ります。



4.4 カラー調整の設定

カラー調整の設定方法について説明します。

ここで調整した値は、設定時に接続している L600 システムスコープまたは L500 システムスコープと観察モードの組み合わせごとに記憶します。

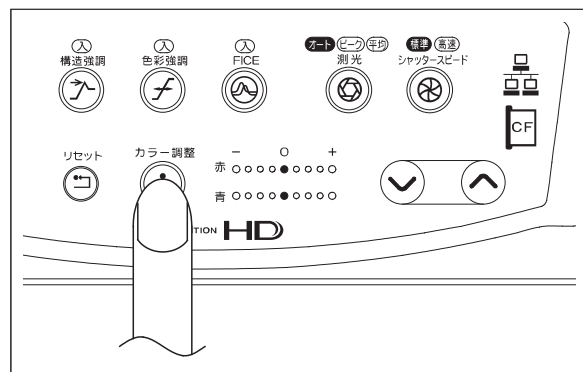
4.4.1 「赤」と「青」の色調整

VP-4450HD 前面パネルで、「赤」と「青」の色調整を行うことができます。

色調全体における「赤」と「青」の成分割合を -4 から +4 の 9 段階で設定します。

- 参考**
- ・カラー調整の設定は観察モード毎にそれぞれの状態の設定を個別に保持することができます。ただし、LCI モード時はカラー調整の設定はできません。
 - ・BLI モード時にカラー調整の設定を行うと BLI モード時のカラー調整、BLI-bright モード時にカラー調整の設定を行うと BLI-bright モード時のカラー調整を設定します。
 - ・BLI または BLI-bright のカラー調整を設定する場合は予め観察モードを BLI または BLI-bright モードに設定する必要があります。

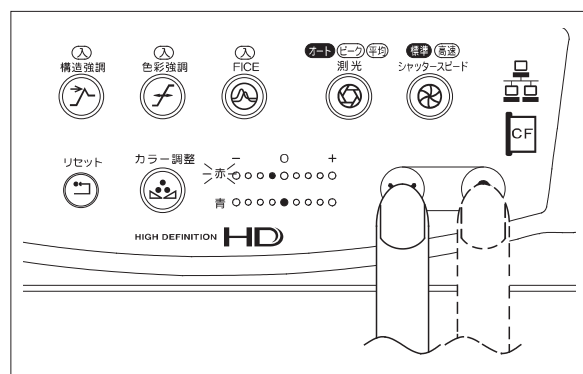
- (1) カラー調整ボタンを押します。
カラー調整ボタンを押すごとに「赤」調整（「赤」LED 点滅）→「青」調整（「青」LED 点滅）→通常状態（「赤」LED、「青」LED 点灯）と、順に切り替わります。



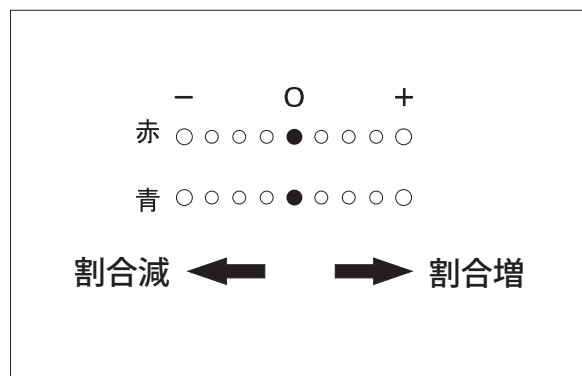
- (2) 「赤」調整または「青」調整の可能な状態で、
▽、△ボタンを押して、「赤」または「青」の
レベルを調整します。

参考

FICE が「入」の場合、または LCI モードの場合は、
カラー調整の設定はできません。



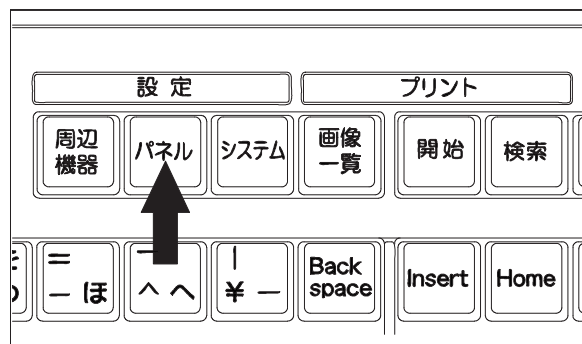
- (3) カラー調整インジケータでレベルを確認しながら、カラー調整をすることができます。
- (4) 「赤」または「青」レベルの調整が終了したら、カラー調整ボタンを数回押して、通常状態（「赤」LED、「青」LED点灯）に戻します。



4.4.2 カラー調整の設定

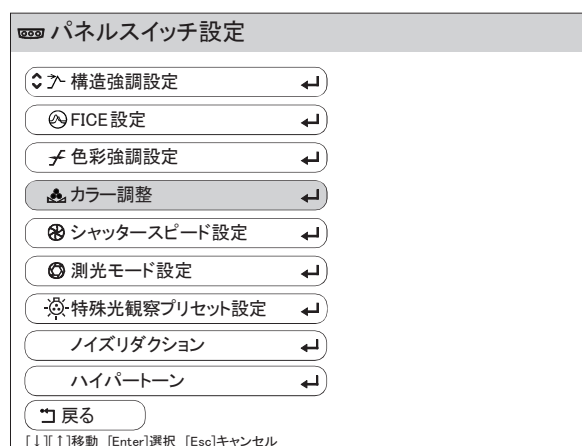
詳細な色調整を行うことができます。

- (1) **パネル** キーを押します。



- (2) パネルスイッチ設定画面が表示されます。

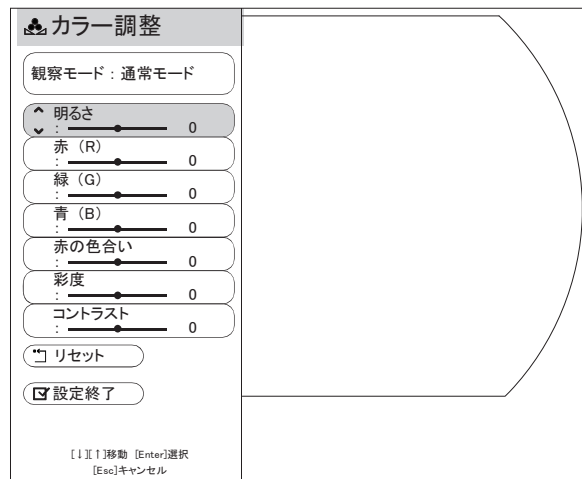
「カラー調整」にカーソルを合わせ、**Enter** キーを押します。



カラー調整設定画面が表示されます。

参考

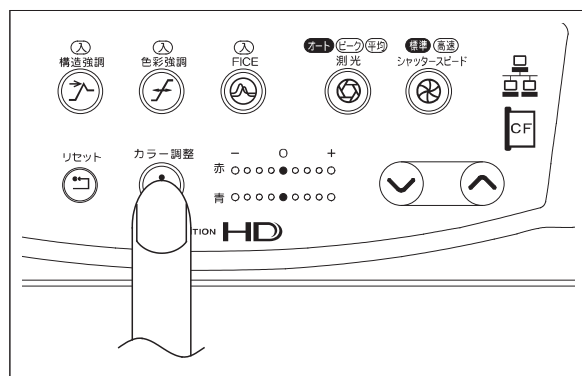
FICEが「入」の場合、またはLCIモードの場合は、カラー調整の設定はできません。



参考

(1)～(2)の手順の代わりにVP-4450HD 前面パネルの「カラー調整」ボタンを約2秒間押し続けても同じ画面が表示されます。

もう一度「カラー調整」ボタンを押すと、観察画面に戻ります。



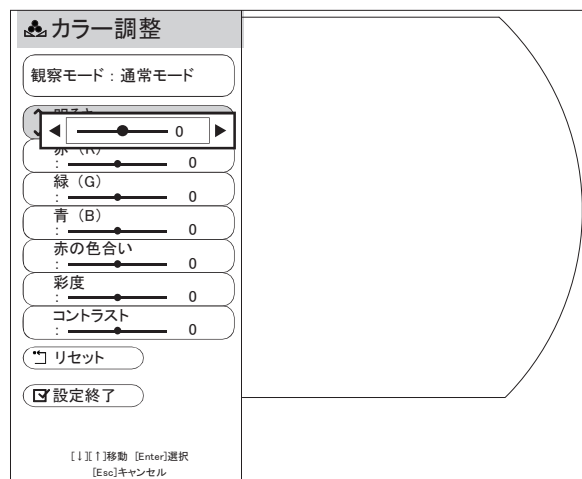
(3) 「明るさ」にカーソルを合わせ、**Enter** キーを押します。

スライダーが表示されるので、**←**、**→** キーで数値を設定します。数値を選択後、**Enter** キーで確定します。

設定値は-4から+4の9段階です。数値が高いほど明るくなります。0は工場出荷時の設定値です。

参考

「明るさ」を高い数値に設定すると、画像の高輝度部分がハレーションをおこす場合があります。



- (4) 「赤 (R)」にカーソルを合わせ、**Enter** キーを押します。

スライダーが表示されるので、**←**、**→** キーで数値を設定します。

設定値は - 4 から + 4 の 9 段階です。数値が高いほど画像の色調における「赤」の成分割合が高くなります。0 は工場出荷時の設定値です。

数値を選択後、**Enter** キーで確定します。

参考

「赤 (R)」の設定値は VP-4450HD 前面パネルで設定した値と連動しています。

- VP-4450HD 取扱説明書 (基本編) LL-7000 用
「4.5 画質の調整」

- (5) (4) と同様に、「緑 (G)」「青 (B)」を設定します。

参考

「青 (B)」の設定値は VP-4450HD 前面パネルで設定した値と連動しています。

- VP-4450HD 取扱説明書 (基本編) LL-7000 用
「4.5 画質の調整」

- (6) 「赤の色合い」にカーソルを合わせ、**Enter** キーを押します。

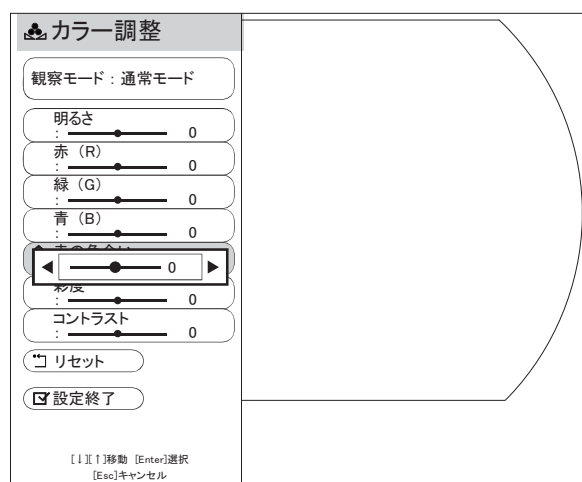
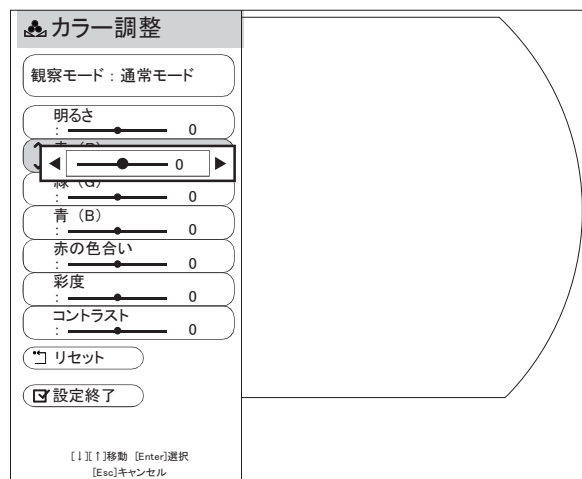
スライダーが表示されるので、**←**、**→** キーで数値を設定します。

設定値は M4 から Y4 の 9 段階です。M の数値が高いほど画像は赤っぽくなり、Y の数値が高いほど画像は黄色っぽくなります。0 は工場出荷時の設定値です。

数値を選択後、**Enter** キーで確定します。

参考

観察モードが BLI または BLI-bright の場合、「赤の色合い」は変更できません。

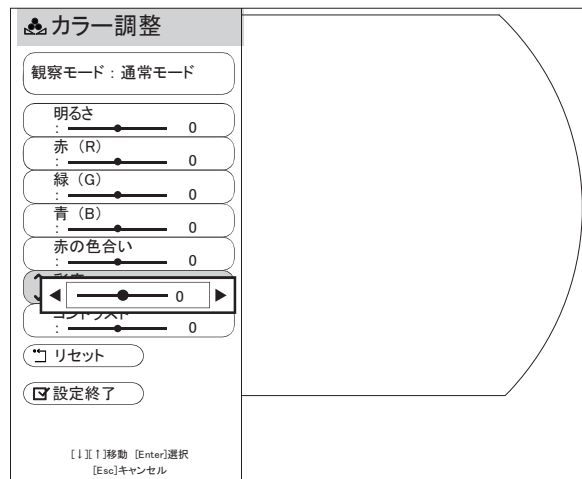


- (7) 「彩度」にカーソルを合わせ、**Enter** キーを押します。

スライダーが表示されるので、**←**、**→** キーで数値を設定します。

設定値は-4 から+4 の9段階です。数値が高いほど彩度の高い画像になります。0 は工場出荷時の設定値です。

数値を選択後、**Enter** キーで確定します。

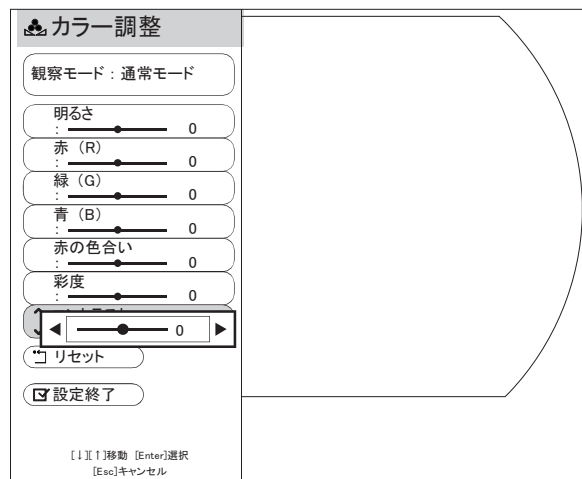


- (8) 「コントラスト」にカーソルを合わせ、**Enter** キーを押します。

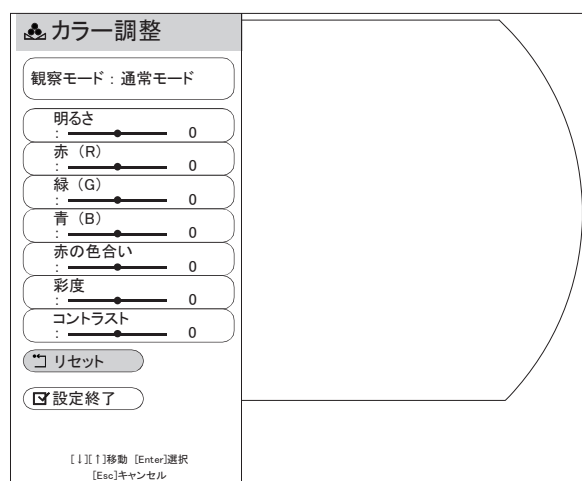
スライダーが表示されるので、**←**、**→** キーで数値を設定します。

設定値は-1 から+1 の3段階です。数値が高いほどコントラストの高い画像になります。0 は工場出荷時の設定値です。

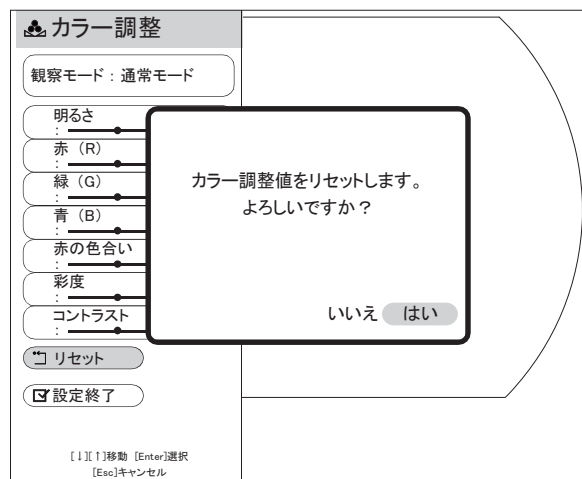
数値を選択後、**Enter** キーで確定します。



- (9) 設定した値をリセットする場合は、「リセット」にカーソルを合わせ、**Enter** キーを押します。

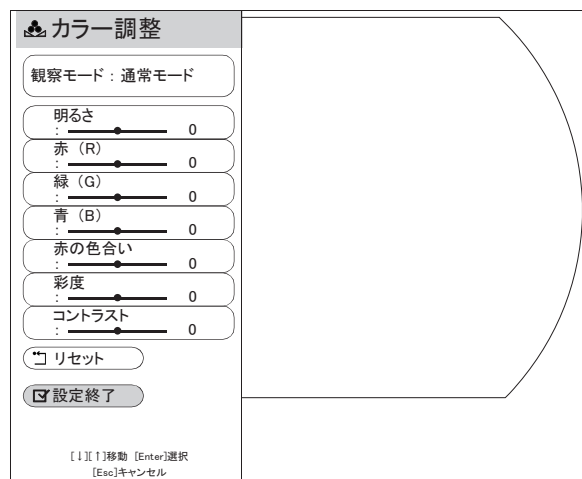


「カラー調整値をリセットします。よろしいですか？」のアラートが表示されます。
 「はい」を選択すると、工場出荷時の設定に戻します。
 「いいえ」を選択すると、設定を変更せずに(2)の画面に戻ります。



(10) 「設定終了」にカーソルを合わせ、**Enter** キーを押します。
 設定を読み込んで、観察画面に戻ります。

「設定終了」せずに **Esc** キーまたは前面パネルの「カラー調整」ボタンを押すと、設定をキャンセルして観察画面に戻ります。



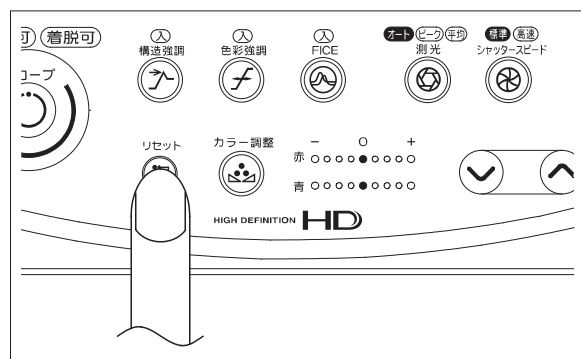
4.4.3 カラー調整のリセット

<リセットボタンによるリセット>

参考 リセットボタンに「リセット」機能を割り当てている場合に有効です。「タイマー開始 / 停止」機能または「マルチズーム動作モード」設定機能を割り当てている場合はカラー調整をリセットできません。

→ 「2.1 病院名・日付・時刻の設定」

カラー調整後、リセットボタンを約2秒間押し続けます。「カラー調整値をリセットします。よろしいですか？」のアラートが表示され、「はい」を選択すると、カラー調整を工場出荷時の設定に戻します。



参考

接続しているシステムスコープのカラー調整値を工場出荷時の設定に戻します。

「いいえ」を選択するか、もう一度リセットボタンを押すと、リセットせず観察画面に戻ります。

<カラー調整設定画面によるリセット>

- (1) カラー調整設定画面の「リセット」にカーソルを合わせ、**[Enter]**キーを押します。

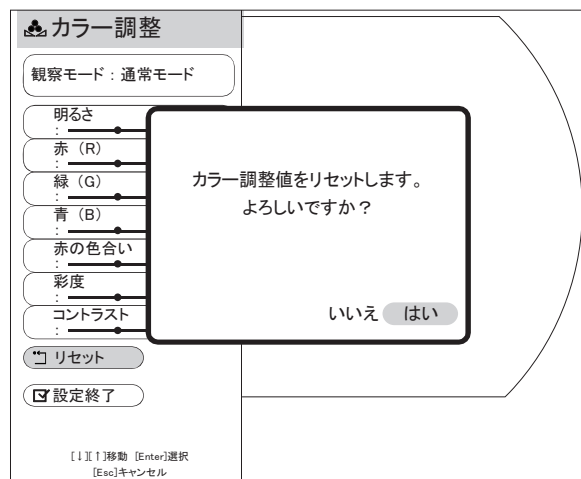
→ 「4.4.2 カラー調整の設定」

- (2) 「カラー調整値をリセットします。よろしいですか？」のアラートが表示され、「はい」を選択すると、カラー調整値を工場出荷時の設定に戻します。

参考

接続しているシステムスコープのカラー調整値を工場出荷時の設定に戻します。

「いいえ」を選択するか、もう一度リセットボタンを押すと、リセットせず観察画面に戻ります。



4.5 シャッタースピードの設定

シャッタースピードの設定方法について説明します。

4.5.1 シャッタースピードの切り替え

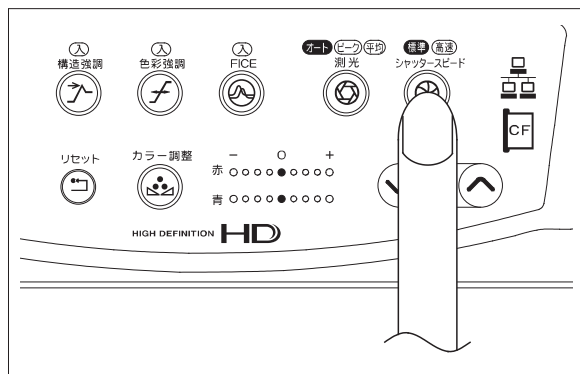
<シャッタースピードの手動切り替え>

シャッタースピードボタンを押すたびにシャッタースピード「高速」(**高速** LED 点灯) と「標準」(**標準** LED 点灯) が交互に切り替わります。

画面には次のように表示されます。

「標準」: \odot 1/60 (設定値は白色で表示されます。)

「高速」: \odot 1/200 (設定値は緑色で表示されます。)



参考

表示される数値はシャッタースピードの設定値 (単位: 秒) です。

<光学ズームスコープ使用時の自動切り替え>

光学ズームスコープ使用時に、光学ズームの倍率によってシャッタースピードを自動的に切り替えることができます。

設定はサービスマンが行います。

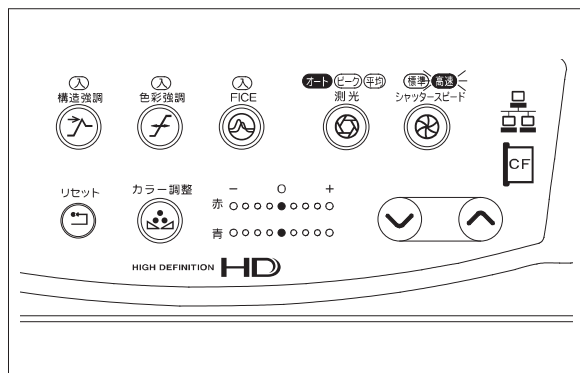
→ VP-4450HD/LL-7000 設置マニュアル「4.5 シャッタースピードの切り替えの設定」

シャッタースピードが切り替わるとシャッタースピードボタンの **高速** LED が点滅します。

画面には次のように表示されます。

\odot 1/200

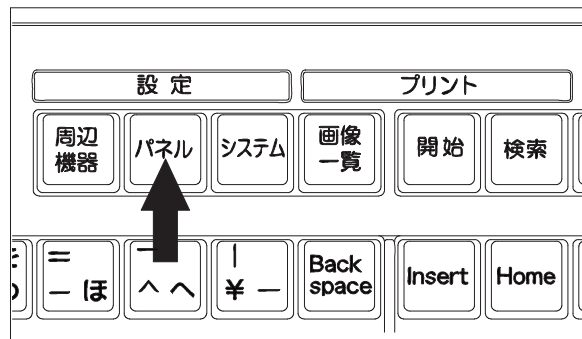
設定値は白地に黒文字で表示されます。



4.5.2 シャッタースピードの詳細設定

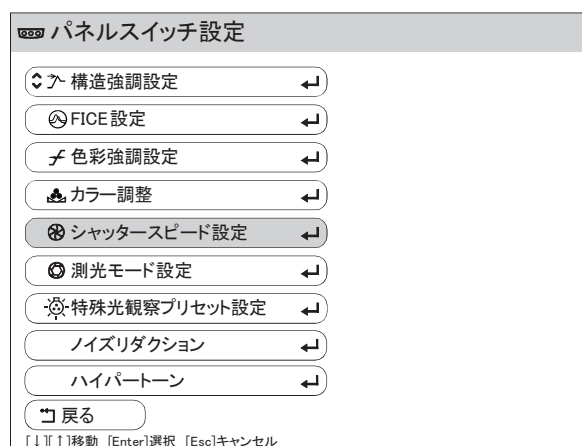
シャッタースピードの詳細設定を行うことができます。

- (1) **パネル** キーを押します。

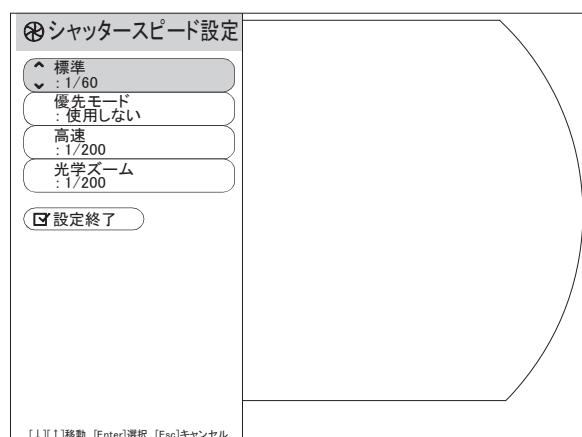


- (2) パネルスイッチ設定画面が表示されます。

「シャッタースピード設定」にカーソルを合わせ、**Enter** キーを押します。

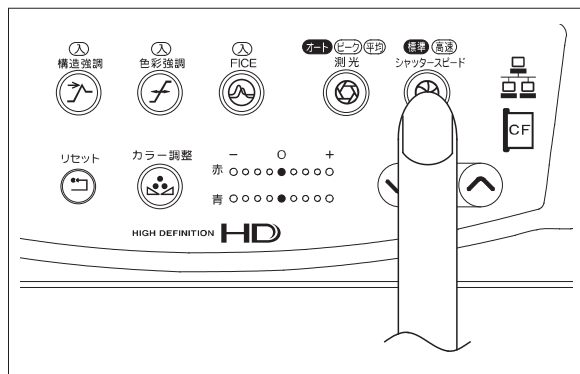


シャッタースピード設定画面が表示され、シャッタースピードボタン上部の **標準**、**高速** LED が点滅します。

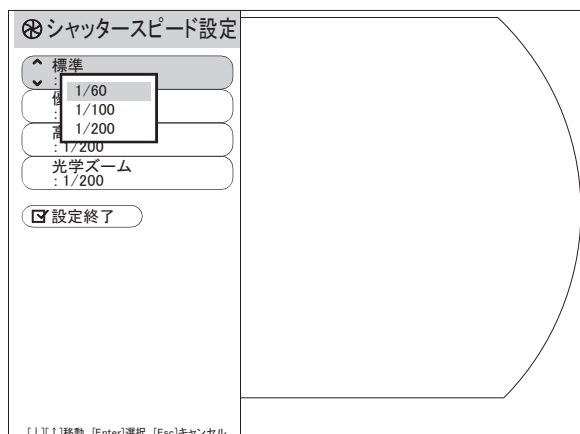


参考

(1)～(2)の手順の代わりにVP-4450HD 前面パネルの「シャッタースピード」ボタンを約2秒間押し続けても同じ画面が表示されます。もう一度「シャッタースピード」ボタンを押すと、観察画面に戻ります。



- (3) 「標準」にカーソルを合わせ、**[Enter]** キーを押します。
ポップアップメニューが表示されるので、電源投入時の標準シャッタースピードを選択します。



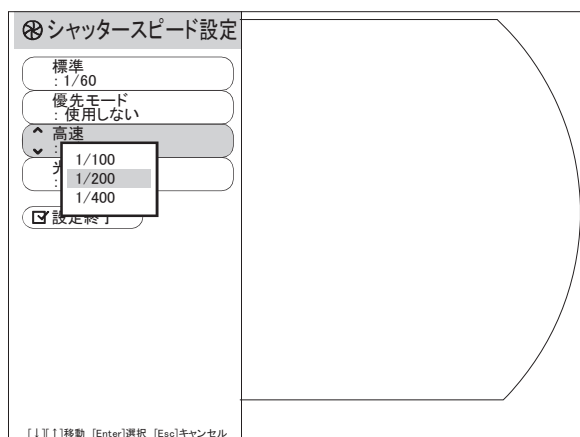
参考

設定値は接続されている内視鏡によって異なります。

- (4) 同様に「高速」切り替え時のシャッタースピードと「光学ズーム」自動切り替え時のシャッタースピードを設定します。

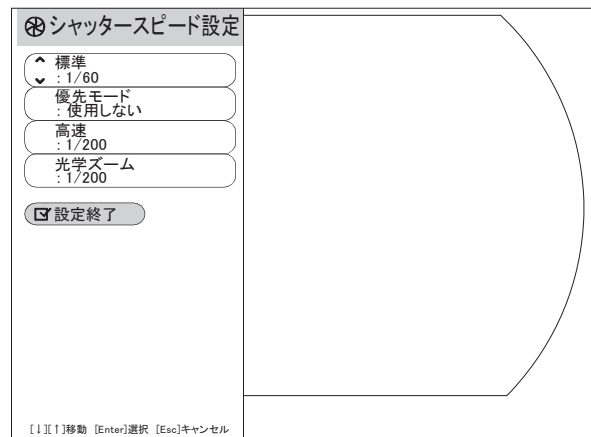
参考

- ・設定値は接続されている内視鏡によって異なります。
- ・光学ズームに対応していない内視鏡を接続している場合「光学ズーム」の設定は不可となります。
- ・光学ズーム対応の内視鏡を接続している場合「高速」の設定は不可となります。



- (5) 「設定終了」にカーソルを合わせ、**Enter** キーを押します。
設定を読み込んで、観察画面に戻ります。

「設定終了」せずに **Esc** キーまたは前面パネルの「シャッタースピード」ボタンを押すと、設定をキャンセルして観察画面に戻ります。



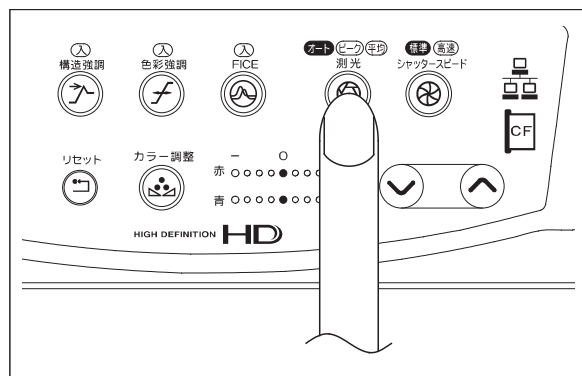
4.6 測光モードの設定

測光モードの設定方法について説明します。

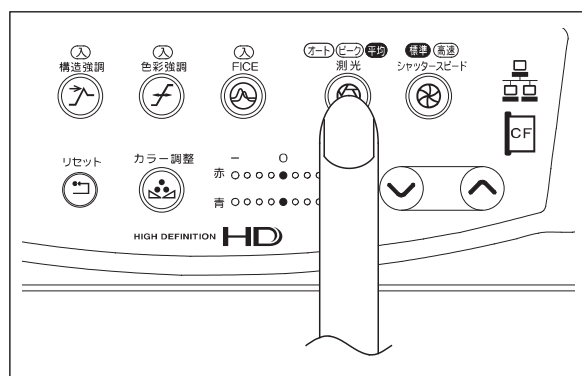
4.6.1 測光モードの切り替え

測光ボタンを押して、画面の明るさを制御する ALC（自動調光）のモードを選択します。

画面全体の明るさを基準に制御する「平均」と、ハイライト部の明るさで制御する「ピーク」、平均測光とピーク測光を自動で最適調整する「オート」の3つのモードがあります。電源投入時はオート測光になっています。



測光ボタンを押すたびに、この3つのモードが切り替わります。



画面には次のように表示されます。

「オート」：☉ AUTO+1（設定は白色で表示されます。）

「ピーク」：☉ PEAK+1（設定は緑色で表示されます。）

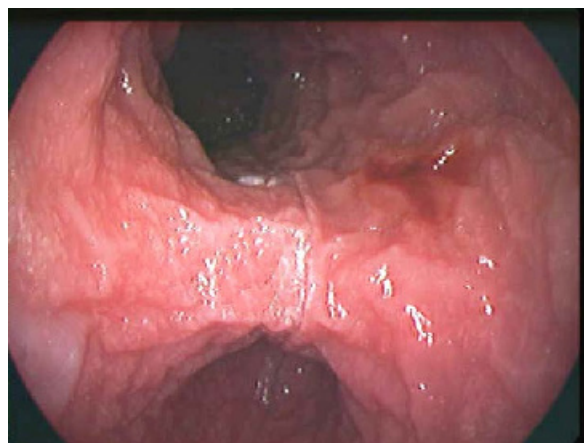
「平均」：☉ AVE+1（設定は緑色で表示されます。）

※ ライト点灯時 AUTO、PEAK、AVE の横に表示される数字は、明るさレベルです。

→ VP-4450HD 取扱説明書（基本編）LL-7000 用「5.6 光量の調節」



明るさにあまり差がない画面は、平均測光が適している

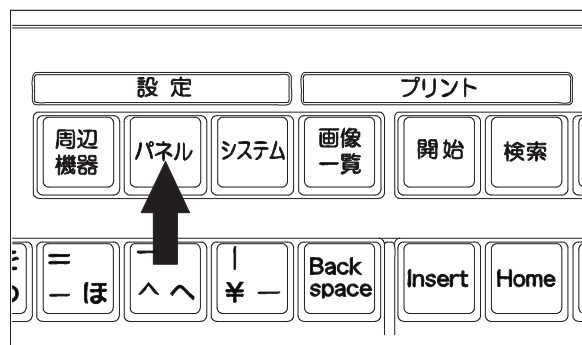


画面の一部に高輝度部分がある場合は、ピーク測光が適している

4.6.2 測光モードの設定

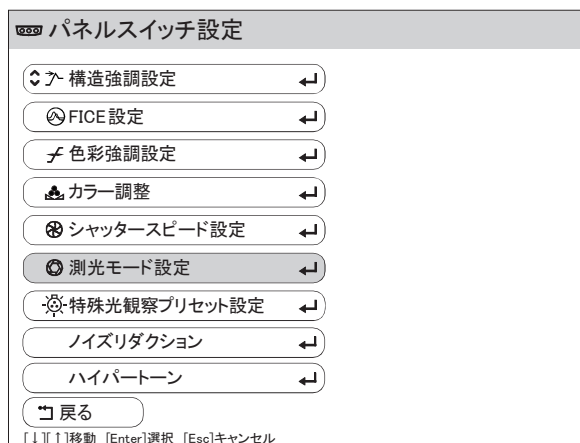
VP-4450HD 前面パネルの「測光」ボタンを押して測光モードを切り替える順序の設定を行うことができます。

- (1) パネル キーを押します。

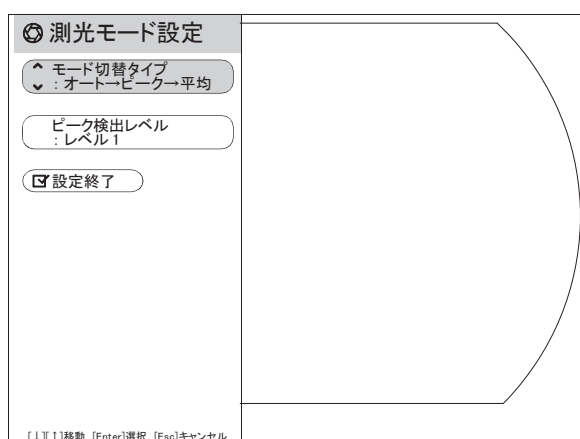


(2) パネルスイッチ設定画面が表示されます。

「測光モード設定」にカーソルを合わせ、
[Enter] キーを押します。

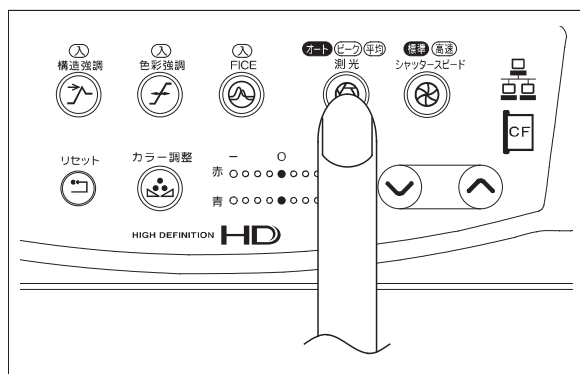


測光モード設定画面が表示され、測光ボタン上
部の(オート)(ピーク)(平均) LED が点滅します。



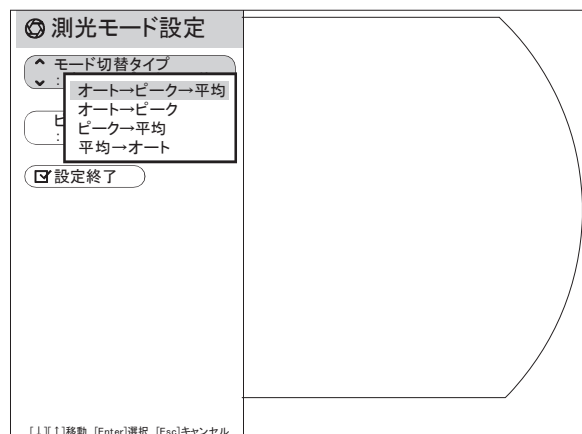
参考

(1) ~ (2) の手順の代わりに VP-4450HD 前面
パネルの「測光」ボタンを約 2 秒間押し続けて
も同じ画面が表示されます。
もう一度「測光」ボタンを押すと、観察画面に
戻ります。



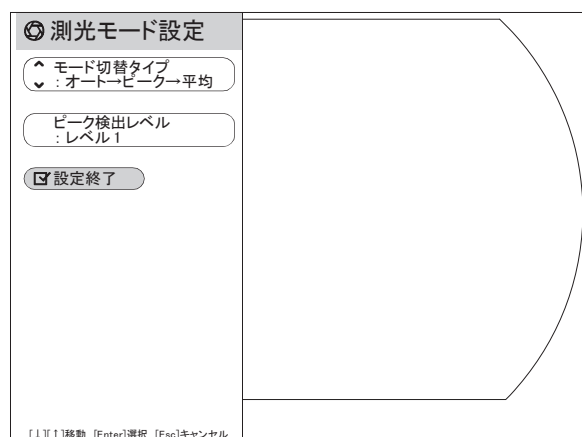
- (3) 「モード切替タイプ」にカーソルを合わせ、**Enter** キーを押します。

ポップアップメニューが表示されるので、測光モード切替タイプを「オート→ピーク→平均」「オート→ピーク」「ピーク→平均」「平均→オート」の中から選択します。



- (4) 「設定終了」にカーソルを合わせ、**Enter** キーを押します。
設定を読み込んで、観察画面に戻ります。

「設定終了」せずに **Esc** キーまたは前面パネルの「測光」ボタンを押すと、設定をキャンセルして観察画面に戻ります。



4.7 ピーク検出レベルの設定

ピーク検出レベルの設定方法について説明します。

4.7.1 ピーク検出レベルの切り替え

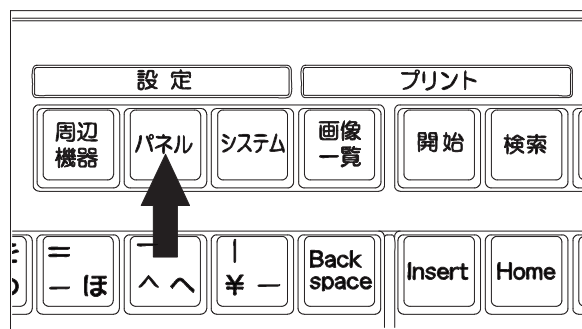
パネル キーを押して、ピーク検出レベルの設定を行うことでピーク検出レベルを切り替えることができます。

- 参考**
- ・本機能は、キーボード操作でのみ切り替えることができる設定になります。そのため、前面パネルからの切り替えはできません。
 - ・ピーク検出レベルは、ハレーションをどの程度軽減させるかの設定です。ハレーションとは、強い光の当たった部分の周りが白くぼやける現象を言います。

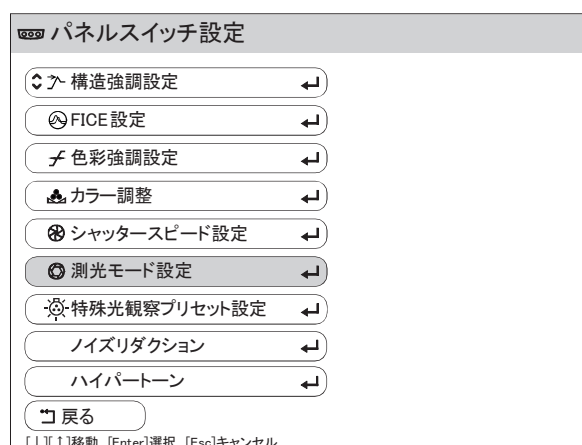
4.7.2 ピーク検出レベルの設定

ピーク検出レベルの設定を行うことができます。

- (1) **パネル** キーを押します。

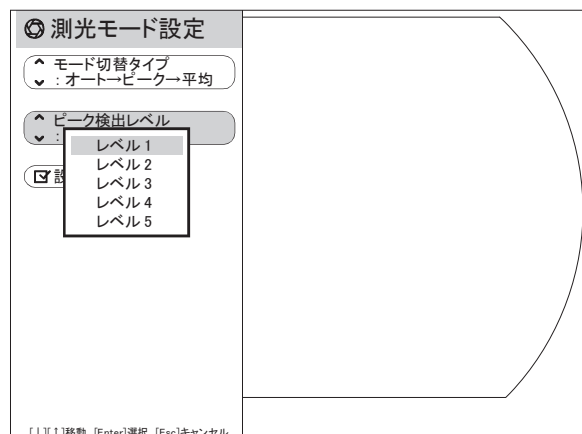


- (2) パネルスイッチ設定画面が表示されます。「測光モード設定」にカーソルを合わせ、**Enter** キーを押します。



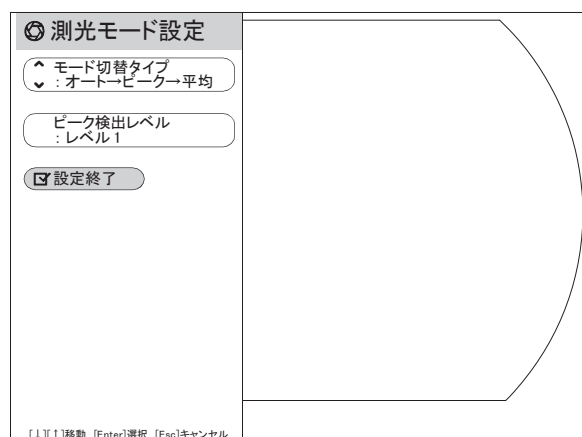
- (3) 「ピーク検出レベル」にカーソルを合わせ、**Enter** キーを押します。

ポップアップメニューが表示されるので、ピーク検出レベルを「レベル1」～「レベル5」の中から選択します。



- (4) 「設定終了」にカーソルを合わせ、**Enter** キーを押します。
設定を読み込んで、観察画面に戻ります。

「設定終了」せずに **Esc** キーまたは前面パネルの「測光」ボタンを押すと、設定をキャンセルして観察画面に戻ります。



4.8 ノイズリダクションの設定

ノイズリダクションの設定方法について説明します。

ノイズリダクションを行うことで、ノイズが目立たない画像にすることができます。

ノイズリダクションを強くすると、細かな構造が弱く見える等、不自然に見えることがあります。画像を確認しながら設定してください。

4.8.1 ノイズリダクションの切り替え

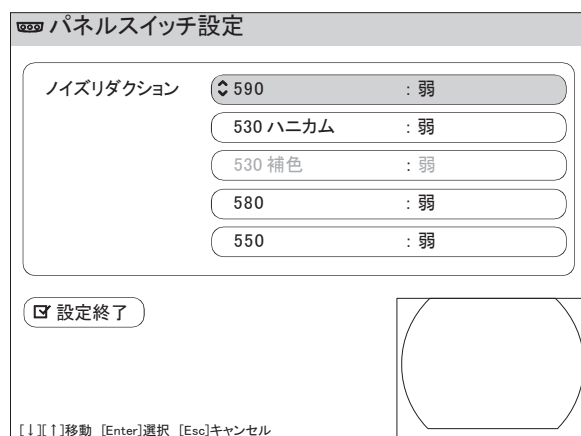
ノイズリダクションはパネルスイッチ設定画面の「ノイズリダクション」ボタンを押したときに開くノイズリダクション設定画面で設定を変更します。

ノイズリダクションが設定されている場合、画面には次のように表示されます。

NR

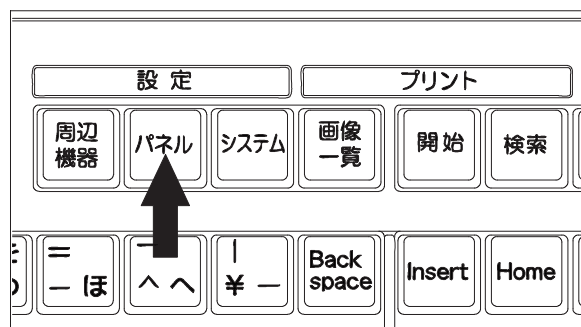
設定値の文字色は、初期設定の状態に応じて次のように表示されます。()内は設定値)

NR : 白 (弱)、緑 (中)、黄 (強)



4.8.2 ノイズリダクションの設定

- (1) **パネル** キーを押します。

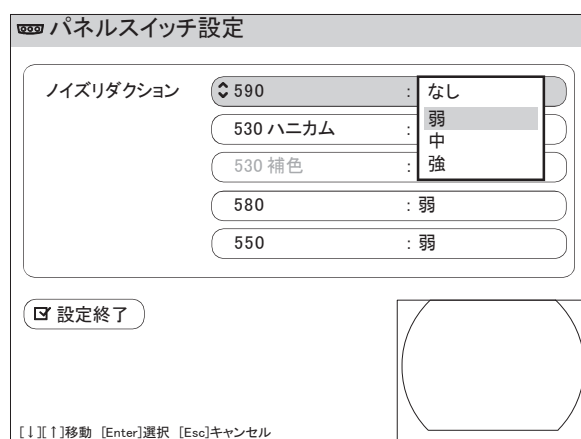


- (2) パネルスイッチ設定画面が表示されます。
「ノイズリダクション」にカーソルを合わせ、
[Enter] キーを押します。



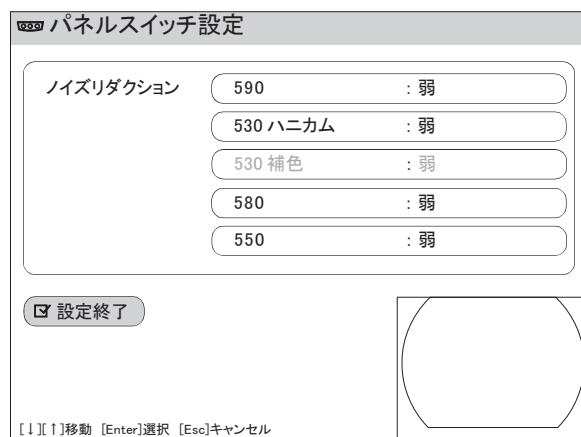
- (3) ノイズリダクション設定画面が表示されます。
設定を変更したいシステムスコープ名、もしくは
シリーズスコープ名にカーソルを合わせ、
[Enter] キーを押します。

ポップアップメニューが表示されるので、ノイズリダクションをかける強さを「なし」「弱」「中」「強」から選択します。
「なし」を選択した場合は、ノイズリダクションをかけません。



- (4) 「設定終了」にカーソルを合わせ、[Enter] キーを押します。
設定を読み込んで、観察画面に戻ります。

「設定終了」せずに [Esc] キーを押すと、設定をキャンセルして観察画面に戻ります。



4.9 ハイパートーンの設定

ハイパートーンの設定方法について説明します。

ハイパートーンを行うことで、被写体暗部の画像の明るさを補うことができます。

ハイパートーンを強くすると、被写体暗部のノイズが強く見えることがあります。

画像を確認しながら設定してください。

4.9.1 ハイパートーンの切り替え

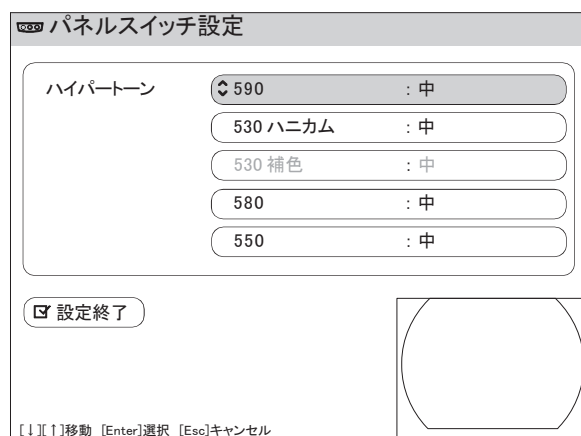
ハイパートーンはパネルスイッチ設定画面の「ハイパートーン」ボタンを押したときに開くハイパートーン設定画面で設定を変更します。

ノイズリダクションが設定されている場合、画面には次のように表示されます。

HT

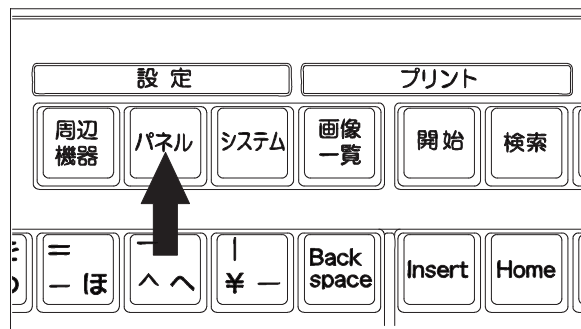
設定値の文字色は、初期設定の状態に応じて次のように表示されます。()内は設定値)

HT : 白 (弱)、緑 (中)、黄 (強)

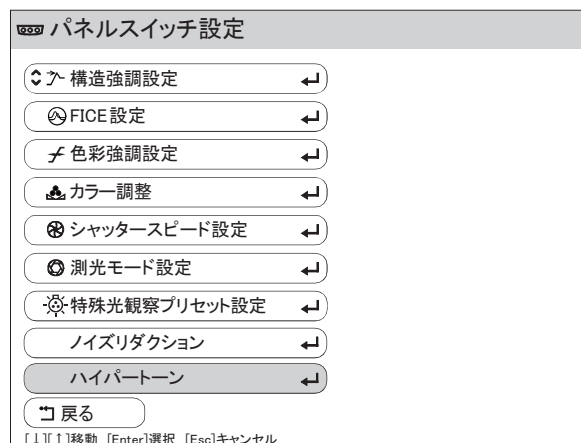


4.9.2 ハイパートーンの設定

- (1) **パネル** キーを押します。

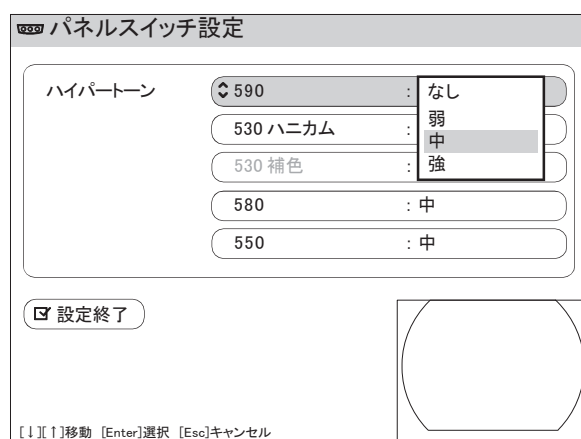


- (2) パネルスイッチ設定画面が表示されます。
「ハイパートーン」にカーソルを合わせ、
[Enter] キーを押します。



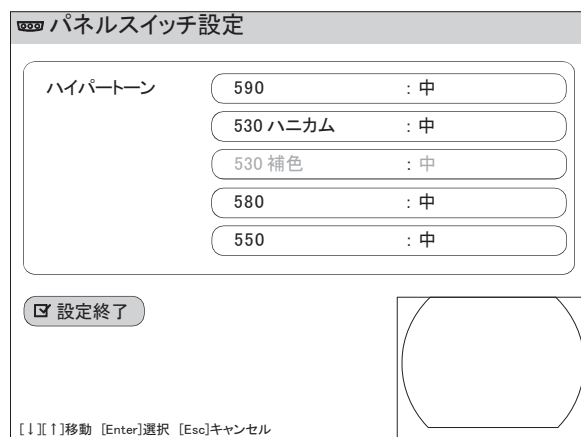
- (3) ハイパートーン設定画面が表示されます。設定を変更したいシステムスコープ名、もしくはシリーズスコープ名にカーソルを合わせ、
[Enter] キーを押します。

ポップアップメニューが表示されるので、ハイパートーンをかける強さを「なし」「弱」「中」「強」から選択します。
「なし」を選択した場合は、ハイパートーンをかけません。



- (4) 「設定終了」にカーソルを合わせ、[Enter] キーを押します。
設定を読み込んで、観察画面に戻ります。

「設定終了」せずに [Esc] キーを押すと、設定をキャンセルして観察画面に戻ります。



4.10 ドクターページの登録・編集

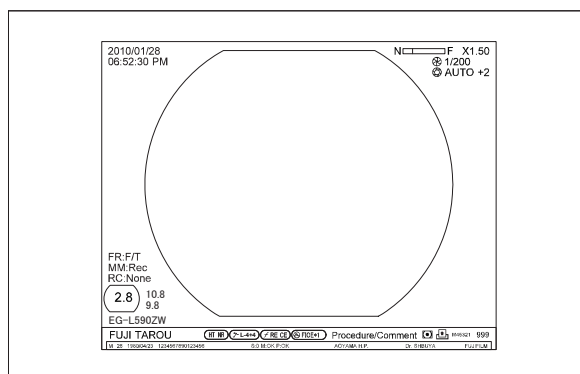
プロセッサで設定した観察画面の「構造強調」「色彩強調」「カラー調整」「特殊光観察プリセット設定」「特殊光簡易切替設定」の設定値を、5パターンまでドクターページに登録しておくことができます。ドクターページを呼び出せば、設定した色調で画像を表示することができます。

ここでは、ドクターページの登録、呼び出し方法について説明します。

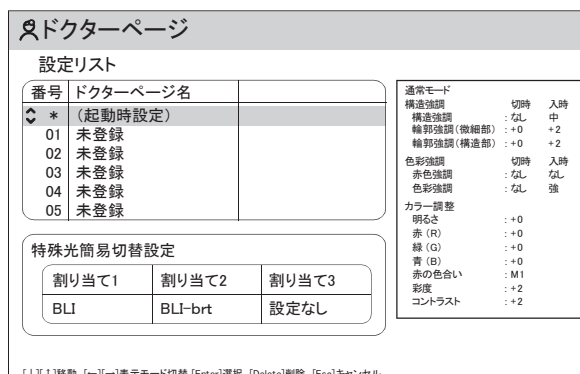
4.10.1 ドクターページの登録

- (1) 「構造強調」「色彩強調」「カラー調整」「特殊光観察プリセット設定」「特殊光簡易切替設定」の色調調整を行います。

- 「4.1 構造強調の設定」
- 「4.3 色彩強調の設定」
- 「4.4 カラー調整の設定」
- 「4.13 特殊光観察プリセット設定」
- 「4.14 特殊光簡易切替設定」



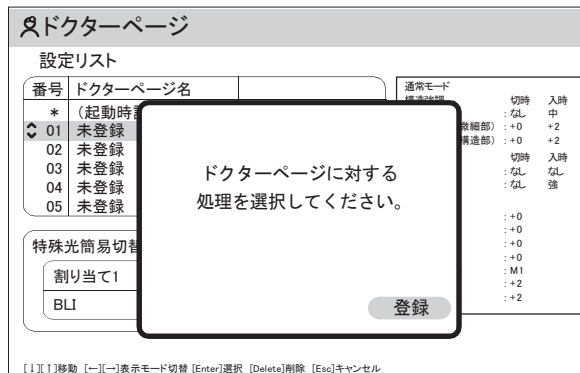
- (2) **[ドクターページ]** キーを押します。
ドクターページの設定画面が表示されます。



- (3) 色調を登録するページ番号を選択し、**[Enter]** キーを押します。
「ドクターページに対する処理を選択してください。」の確認ウィンドウが表示されます。

参考

「起動時設定」のページを選択した場合は、確認ウィンドウで「呼び出し」のみ選択可能となります。



- (4) 「登録」を選択し、**[Enter]** キーを押します。ページ名を入力できる状態になります。
 ページ名を入力し、**[Enter]** キーを押します。

参考

- ページ名は 20 文字以内で入力します。
- 同じ名前のドクターページ名、または空欄を登録することはできません。

ドクターページ

設定リスト

番号	ドクターページ名			
*	(起動時設定)			
01	DoctorPage1			
02	未登録			
03	未登録			
04	未登録			
05	未登録			

通常モード	切時	入時
構造強調	なし	中
輪郭強調 (微細部)	: +0	+2
輪郭強調 (構造部)	: +0	+2
色彩強調	切時	入時
赤色強調	なし	なし
青色強調	: なし	強
カラー調整		
明るさ	: +0	
赤 (R)	: +0	
緑 (G)	: +0	
青 (B)	: +0	
赤の色合い	: M1	
彩度	: +2	
コントラスト	: +2	

特殊光簡易切替設定

割り当て1	割り当て2	割り当て3
BLI	BLI-brt	設定なし

[] [] 移動 [←] [→] 表示モード切替 [Enter] 選択 [Delete] 削除 [Esc] キャンセル

- (5) 設定していた色調調整の値がドクターページに登録され、観察画面に戻ります。

2010/01/28
06:52:30 PM

N 1 F X1.50
1/200
AUTO +2

FR:F/T
MM:Rec
RC:None
2.8 10.8
9.8
EG-LS90ZW

FUJII TAROU (F) (C) (E) (B) (R) (M) Procedure/Comment 999

0.0 MEDICAL FUJIFILM 2007/08/14 01.00/01 FUJIFILM

4.10.2 ドクターページの色調の呼び出し

- (1) **[ドクターページ]** キーを押します。
ドクターページの設定画面が表示されます。

ドクターページ番号にカーソルを合わせると、選択したドクターページの詳細情報が右側に表示されます。

[←]、**[→]** キーで観察モード毎の詳細情報を切り替えて表示することができます。

通常モード表示例：

参考

「通常モード」 ↔ 「特殊光観察プリセット設定 No.1 に登録されている観察モード」 ↔ 「特殊光観察プリセット設定 No.2 に登録されている観察モード」 ↔ 「特殊光観察プリセット設定 No.3 に登録されている観察モード」と詳細情報表示が切り替わります。

特殊光観察プリセット設定 No.1 に登録されている観察モードの表示例：

- (2) 色調を呼び出すドクターページにカーソルを合わせ、**[Enter]** キーを押します。
「ドクターページに対する処理を選択してください。」の確認ウィンドウが表示されます。

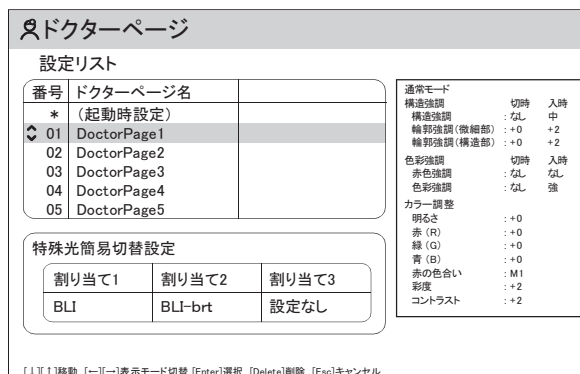
参考

「起動時設定」のページを選択した場合は、確認ウィンドウで「呼び出し」のみ選択可能となります。

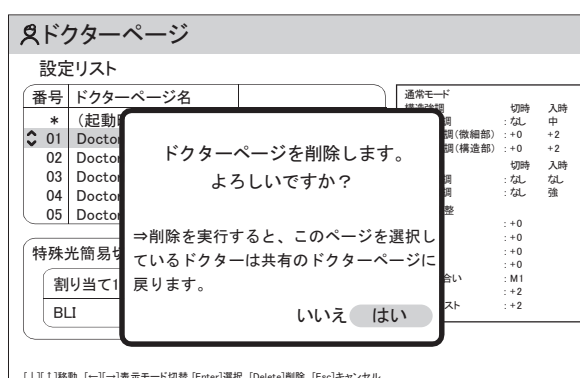
- (3) 「呼び出し」にカーソルを合わせ、**[Enter]** キーを押します。
選択したドクターページの色調を呼び出して、観察画面に戻ります。

4.10.3 ドクターページの削除

- (1) **ドクターページ** キーを押します。
- ドクターページの設定画面が表示されます。
ドクターページ番号にカーソルを合わせると、
選択したドクターページの詳細情報が右側に表
示されます。



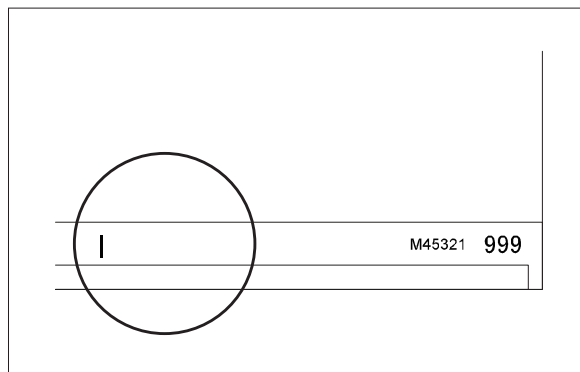
- (2) 削除するドクターページにカーソルを合わせ、
Delete キーを押します。
- 「ドクターページを削除します。よろしいですか？」
のアラートが表示されます。
「はい」を選択すると、ドクターページを削除し
て、未登録の状態に戻します。
「いいえ」を選択すると(1)の画面に戻ります。



4.11 コメントの入力

観察画面にコメントを入力する方法について説明します。

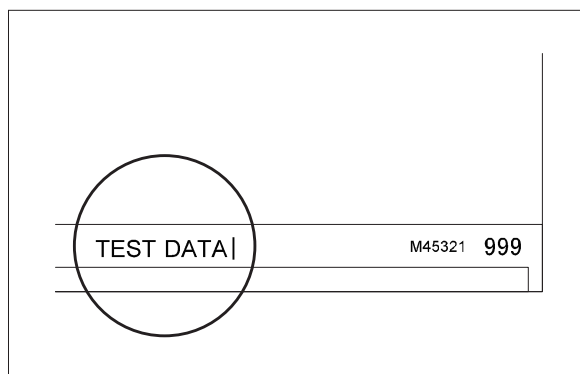
- (1) **コメント入力** キーを押します。
観察画面上の手技名が消えて、文字カーソルが表示されます。



- (2) コメントを 20 文字以内で入力し、**Enter** キーで確定します。

参考

確定前に **Esc** キーを押すと、入力がキャンセルされ、変更前の手技名が表示されます。

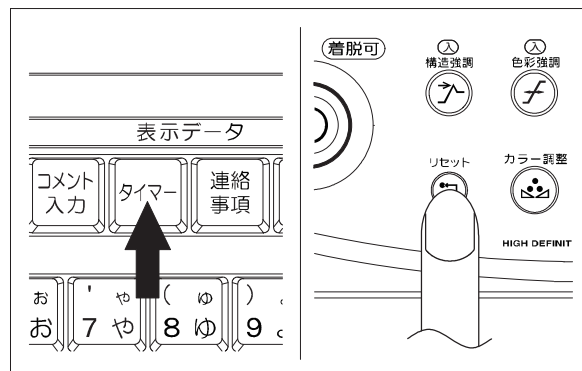


4.12 タイマーのスタート / ストップ

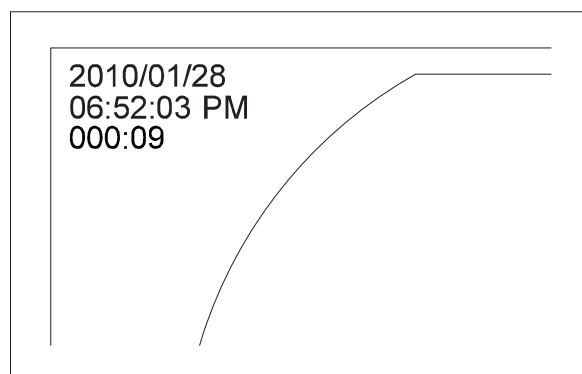
観察画面でタイマーをスタート / ストップさせることができます。

参考 前面パネルのリセットボタンによるタイマーのスタート / ストップは、リセットボタンに「タイマー開始 / 停止」機能を割り当てている場合に有効です。「リセット」機能または「マルチズーム動作モード」設定機能を割り当てている場合はタイマーのスタート / ストップはできません。

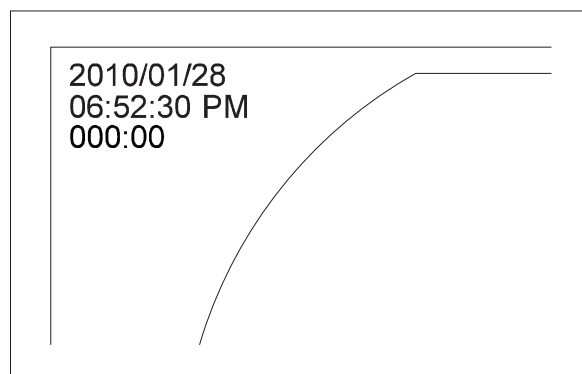
- (1) **タイマー** キーまたはリセットボタンを押します。
タイマーがスタートし、観察画面に表示されます。



- (2) 再び、**タイマー** キーまたはリセットボタンを押します。
タイマーがストップします。



- (3) タイマーをリセットする場合は、**Shift** キーを押しながら **タイマー** キーを押すか、リセットボタンを約 2 秒間押し続けます。

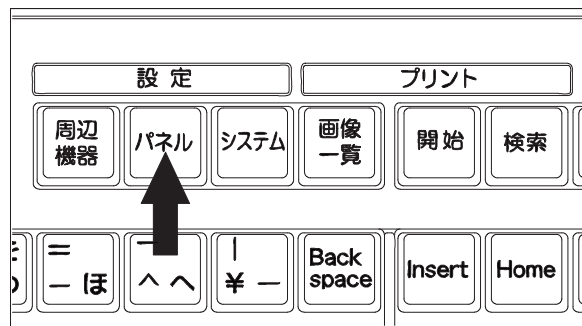


- (4) タイマーの表示を消すには、まずタイマーをストップします。次に **Shift** キーを押しながら **タイマー** キーを押すか、リセットボタンを約 2 秒間押し続けてタイマーをリセットします。最後に再度 **Shift** キーを押しながら **タイマー** キーを押すか、リセットボタンを約 2 秒間押し続けるとタイマーの表示が消えます。

4.13 特殊光観察プリセット設定

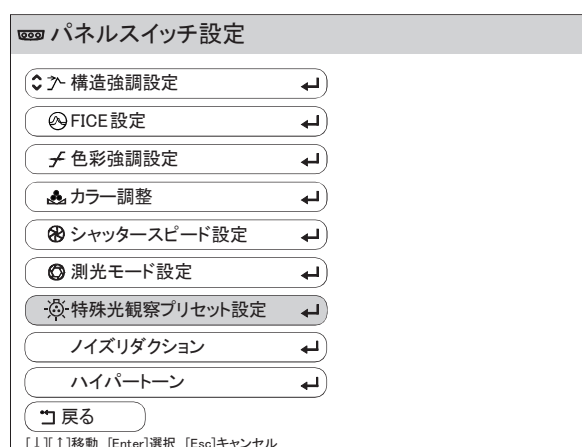
4.13.1 特殊光観察プリセットの設定

- (1) **パネル** キーを押します。



- (2) パネルスイッチ設定画面が表示されます。

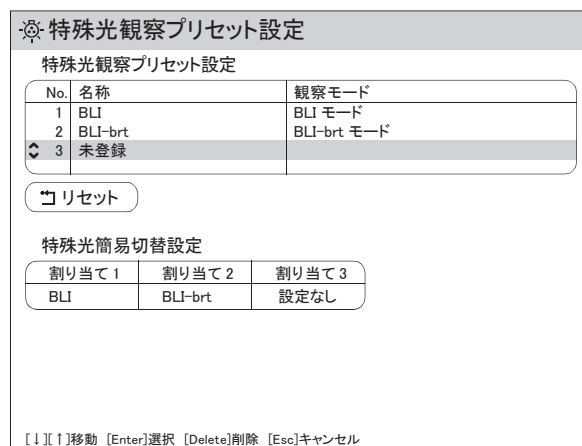
「特殊光観察プリセット設定」にカーソルを合わせ、**Enter** キーを押します。



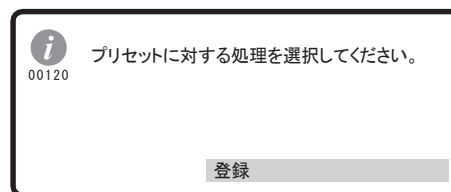
特殊光観察プリセット設定画面が表示されます。

参考

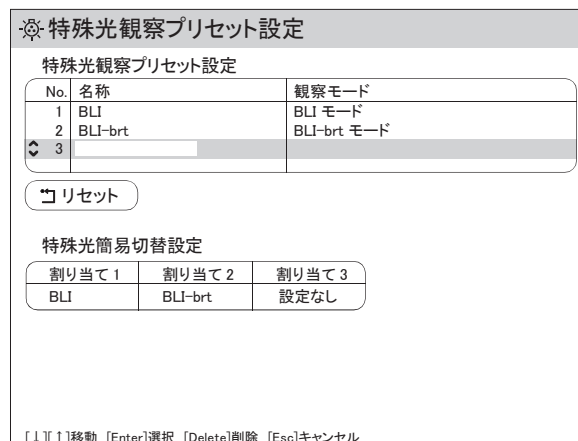
検査中の場合、(1)～(2)の手順の代わりにLL-7000 前面パネルの照明モードボタンを約2秒間押し続けても同じ画面が表示されます。



- (3) プリセットを登録する番号を選択し、**Enter** キーを押します。
 「プリセットに対する処理を選択してください。」
 の確認ウィンドウが表示されます。



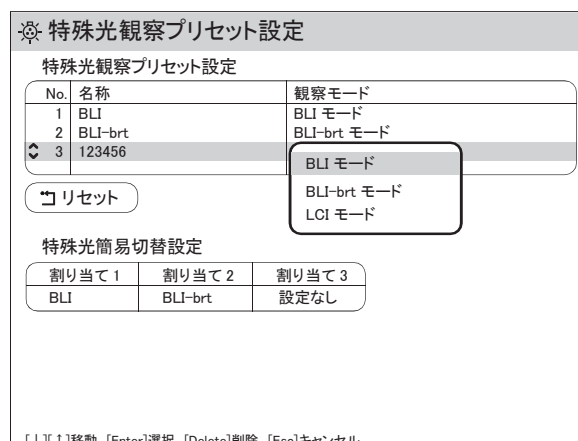
- (4) 「登録」を選択し、**Enter** キーを押します。名称を入力できる状態になります。
 名称を入力し、**Enter** キーを押します。



参考

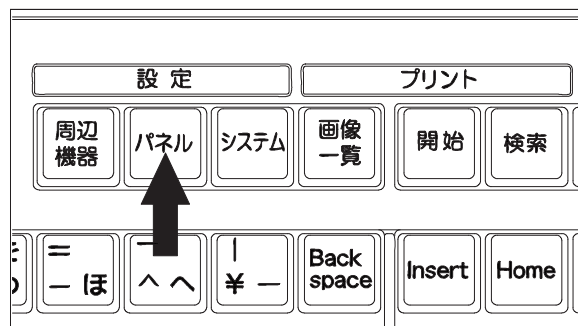
- ・名称は7文字以内で入力します。
- ・同じ名称、または空欄を登録することはできません。

- (5) ポップアップメニューが表示されるので、登録する観察モードを選択します。



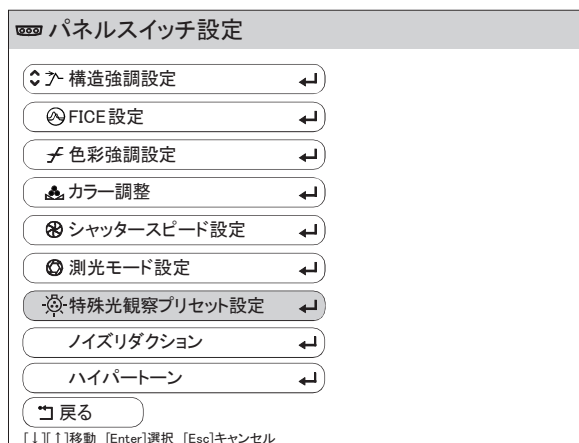
4.13.2 特殊光観察プリセットの削除

- (1) **パネル** キーを押します。



(2) パネルスイッチ設定画面が表示されます。

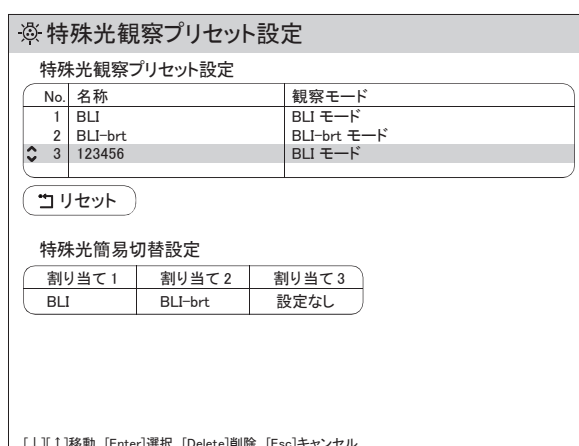
「特殊光観察プリセット設定」にカーソルを合わせ、**[Enter]**キーを押します。



特殊光観察プリセット設定画面が表示されます。

参考

検査中の場合、(1)～(2)の手順の代わりにLL-7000 前面パネルの照明モードボタンを約2秒間押し続けても同じ画面が表示されます。

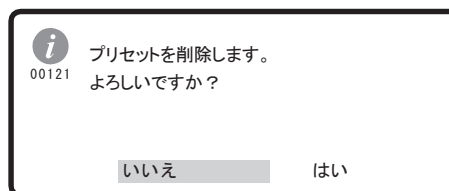


(3) 削除する番号を選択し、**[Delete]**キーを押します。

「プリセットを削除します。よろしいですか？」のアラートが表示されます。

「はい」を選択すると、選択された番号の特殊光観察プリセットを未登録状態にします。

「いいえ」を選択すると、設定を変更せずに(2)の画面に戻ります。



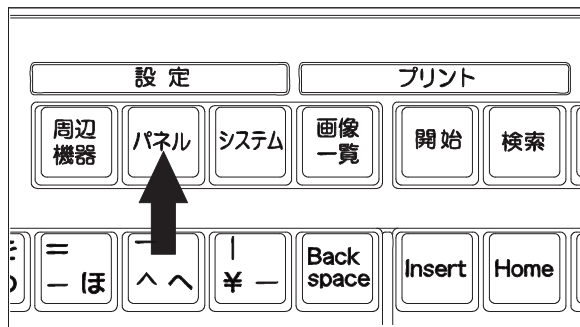
参考

現在の観察モードを削除した場合は一旦通常モードに切り替わります。

4.13.3 特殊光観察プリセットのリセット

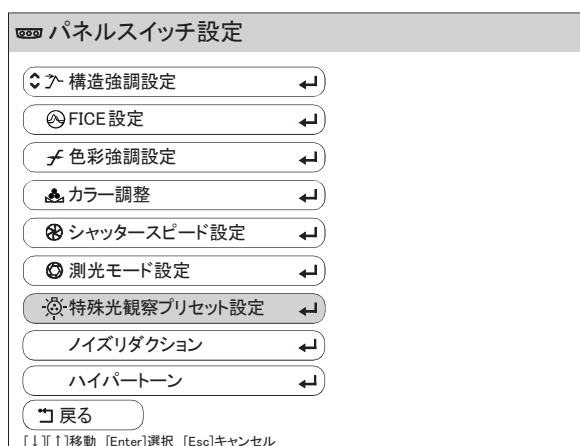
設定した特殊光観察プリセットの値を工場出荷時の状態に戻します。

- (1) **パネル** キーを押します。



- (2) パネルスイッチ設定画面が表示されます。

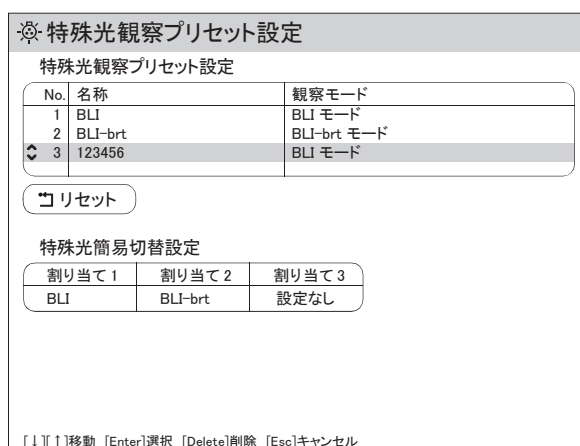
「特殊光観察プリセット設定」にカーソルを合わせ、**Enter** キーを押します。



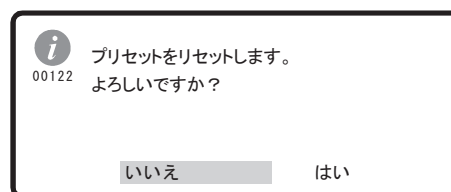
特殊光観察プリセット設定画面が表示されます。

参考

検査中の場合、(1) ~ (2) の手順の代わりに LL-7000 前面パネルの照明モードボタンを約2秒間押し続けても同じ画面が表示されます。



- (3) 「リセット」にカーソルを合わせ、**Enter**キーを押します。
「プリセットをリセットします。よろしいですか？」のアラートが表示されます。
「はい」を選択すると、特殊光観察プリセットを工場出荷時の設定に戻します。
「いいえ」を選択すると、設定を変更せずに②の画面に戻ります。



参考

特殊光観察モードで検査中にリセットを行った場合は一旦通常モードに切り替わります。

4.14 特殊光簡易切り替え設定

スコープスイッチを「特殊光簡易切り替え」に設定した場合、スコープスイッチを押すたびに、あらかじめ割り当てた観察モードを順番に切り替えることができます。

ここでは、観察モードの割り当て方法について説明します。

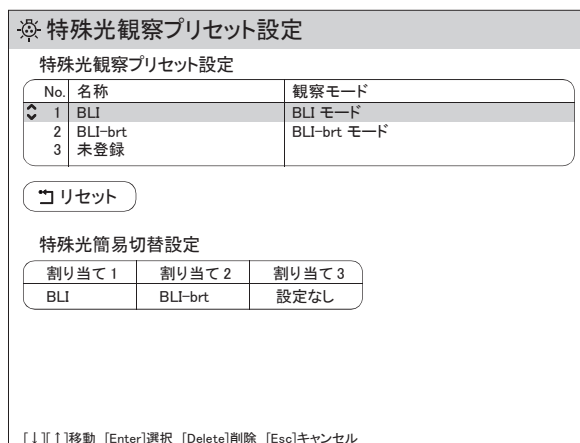
観察モードを割り当てておくと、スコープスイッチを押したときに「割り当て1」の観察モード切り替え→「割り当て2」の観察モード切り替え→「割り当て3」の観察モード切り替え→通常モード」と観察モードを切り替えます。

→ 設置マニュアル「4.3 スコープスイッチの設定」

参考 特殊光観察プリセット設定で設定された観察モードおよび FICE のセット番号を割り当てる
ことができます。

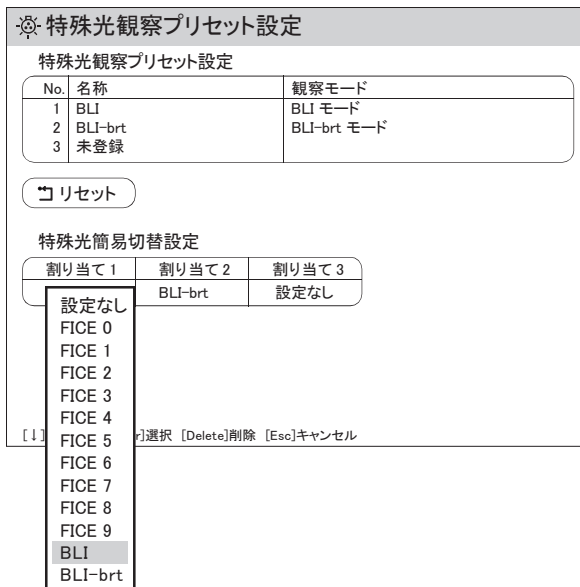
(1) 特殊光観察プリセット設定画面を表示します。

→ 「4.13.1 特殊光観察プリセットの設定」



(2) 割り当て 1 にカーソルを合わせ **Enter** キーを押します。

割り当て 1 のポップアップメニューが表示されるので、「設定なし」または 0 から 9 の FICE セット番号または特殊光プリセットを選択します。



(3) 割り当て 1 の選択が終わったら **Enter** キーを押します。

割り当て 2 のポップアップメニューが表示されるので、「設定なし」または 0 から 9 の FICE セット番号または特殊光プリセットを選択します。

特殊光観察プリセット設定

特殊光観察プリセット設定		
No.	名称	観察モード
1	BLI	BLI モード
2	BLI-brt	BLI-brt モード
3	未登録	

リセット

特殊光簡易切替設定

割り当て 1	割り当て 2	割り当て 3
BLI		

設定なし
FICE 0
FICE 1
FICE 2
FICE 3
FICE 4
FICE 5
FICE 6
FICE 7
FICE 8
FICE 9
BLI
BLI-brt

[] [↑] 移動 [Enter] 選択 [Esc] キャンセル

(4) 同様に割り当て 3 の観察モードを設定し、**Enter** キーを押すと、特殊光簡易切り替え設定を確認します。

(5) **Enter** キーを押すと観察画面に戻ります。

参考

- ・特殊光プリセット設定が未登録状態の項目はポップアップに表示されません。
- ・各割り当ての設定を解除する場合は、同じ手順でポップアップメニューから「設定なし」を選択し、**Enter** キーを押して設定を確認させてください。

第 5 章 画像の記録

5.1 本体メモリー

VP-4450HD は、本体に画像記録用のメモリーを内蔵しています。

CF メモリーカードやデジタルプリンターを使用するとき、あるいはネットワークの FTP サーバーに画像を転送する場合、取り込まれた静止画像は、一度本体メモリーに記録されます。（本体メモリーには、非圧縮で記録されます。）

本体メモリーに記録された画像は、その後それぞれの機器に転送されます。

1 検査あたり記録できる画像枚数は、次のとおりです。

< CF メモリーカードを「使用する」に設定し、使用するプリンターにデジタルプリンターを設定している場合 >

1 検査あたり記録できる画像枚数は、999 枚となります。

< CF メモリーカードを「使用しない」に設定している場合 >

1 検査あたり記録できる画像枚数は、保存する圧縮率で異なります。記録可能な枚数は次の通りです。

圧縮率	記録可能枚数
1/1	12 枚
1/5	80 枚
1/10	270 枚
1/20	380 枚

本体メモリーに記録された画像をデジタルプリンターでプリントする場合の表示圧縮率は 1/5 固定です。

→ 「2.7 CF メモリーカードの設定」

→ 「2.9 プリンターの設定」

5.2 CFメモリーカード

CFメモリーカードを使用するように設定しておく、取り込んだ画像をCFメモリーカードに保存することができます。CFメモリーカードの画像はサムネイル表示画面で確認したり、検査日付や患者データから検索することができます。

参考 CFメモリーカードは本システム専用として使用し、他のシステムとは共用しないでください。

■ CFメモリーカード容量別記録可能枚数

メモリーカード容量 512MB (枚)

		画像サイズ	
		1280 × 1024	
表示圧縮率	1/1	125	
	1/5	900	
	1/10	3000	
	1/20	4300	

メモリーカード容量 1GB (枚)

		画像サイズ	
		1280 × 1024	
表示圧縮率	1/1	250	
	1/5	1800	
	1/10	6000	
	1/20	8600	

メモリーカード容量 2GB (枚)

		画像サイズ	
		1280 × 1024	
表示圧縮率	1/1	500	
	1/5	3600	
	1/10	12000	
	1/20	17200	

メモリーカード容量 4GB (枚)

		画像サイズ	
		1280 × 1024	
表示圧縮率	1/1	1000	
	1/5	7200	
	1/10	24000	
	1/20	34400	

メモリーカード容量 8GB (枚)

		画像サイズ	
		1280 × 1024	
表示圧縮率	1/1	2000	
	1/5	14400	
	1/10	48000	
	1/20	68800	

メモリーカード容量 16GB (枚)

		画像サイズ	
		1280 × 1024	
表示圧縮率	1/1	4000	
	1/5	28800	
	1/10	96000	
	1/20	137600	

参考 撮影対象の画像や記録した検査件数によって記録できる枚数は変わります。同表示サイズのメモリであってもフォーマットにより使用できる容量領域サイズは異なります。

5.3 CF メモリーカード内の検索

CFメモリーカードをCFメモリーカードスロットに挿入し、**検索**キーを押すと、検索画面が表示されます。患者ID、日付によって画像を絞り込んでリスト表示やサムネイル表示をし、画像を選択して拡大表示したり、プリントすることができます。

患者情報によって画像を検索するには、画像を取り込む際に患者IDが登録されている患者情報を呼び出しておく必要があります。

画像を取り込む際に患者情報を呼び出していない場合、または患者情報に患者IDが登録されていない場合は、日付による検索となります。

→ VP-4450HD 取扱説明書（基本編）LL-7000 用
「6.8 CFメモリーカードに画像を記録し、プリントするには」

5.3.1 CFメモリーカード内の検索

- (1) スコープボタンを約2秒間押し続けて、オレンジ色の**着脱可**が点灯している状態で、**検索**キーを押します。
検索画面が表示されます。

参考

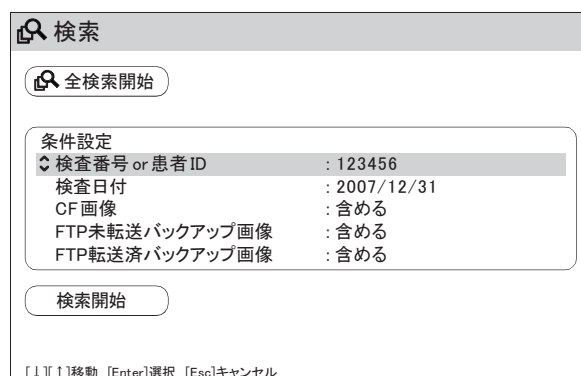
CFメモリーカード内の検索は、スコープボタンを押してオレンジ色の**着脱可**が点灯しているときに行うことができます。



- (2) 検索の条件を設定します。
検査番号または患者IDで検索する場合は「検査番号 or 患者ID」にカーソルを合わせ、**Enter**キーを押します。
文字入力が可能となるので、検査番号または患者IDを入力します。

参考

患者IDは前方一致検索です。



- (3) 検査日付で検索する場合は、「検査日付」にカーソルを合わせ、**[Enter]** キーを押します。

日付を入力し、**[Enter]** キーを押すたびに次の入力が可能となります。

検索

全検索開始

条件設定

検査番号 or 患者ID	: 123456
検査日付	: 2007/12/31
CF画像	: 含める
FTP未転送バックアップ画像	: 含める
FTP転送済バックアップ画像	: 含める

検索開始

[↑][↓]移動 [Enter]選択 [Esc]キャンセル

- (4) 検索の対象とする画像を選択します。

「CF 画像」にカーソルを合わせ、**[Enter]** キーを押します。

ポップアップメニューが表示されますので、CFメモリーカードに保存されている画像データを含めるか含めないかを選択し、**[Enter]** キーを押します。

同様に「FTP 未転送バックアップ画像」「FTP 転送済バックアップ画像」についても含めるか含めないかを選択し、**[Enter]** キーを押します。

検索

全検索開始

条件設定

検査番号 or 患者ID	: 123456
検査日付	: 2007/12/31
CF画像	: 含める
FTP未転送バックアップ画像	: 含める
FTP転送済バックアップ画像	: 含める

検索開始

[↑][↓]移動 [Enter]選択 [Esc]キャンセル

CF 画像 :

「CF カード設定」を「使用する」にしているときに、CFメモリーカードに保存された画像データ

→ 「2.7 CFメモリーカードの設定」

FTP 未転送バックアップ画像 :

ネットワーク設定の「CF カードにバックアップ」を「する」にしてCFメモリーカードをバックアップモードにしていたときに、FTPサーバーに転送されずCFメモリーカードのみに保存された画像データ

FTP 転送済バックアップ画像 :

ネットワーク設定の「CF カードにバックアップ」を「する」にしてCFメモリーカードをバックアップモードにしていたときに、FTPサーバーへの転送が完了している画像データ

→ 「2.8 ネットワークの設定」

- (5) 「検索開始」にカーソルを合わせ、**[Enter]**キーを押します。
「患者 ID」または「検査日付」のみ、「患者 ID」「検査日付」両方の一致する条件で検索できます。

検索

全検索開始

条件設定

検査番号 or 患者 ID	: 123456
検査日付	: 2007/12/31
CF画像	: 含める
FTP未転送バックアップ画像	: 含める
FTP転送済バックアップ画像	: 含める

検索開始

[↑][↓]移動 [Enter]選択 [Esc]キャンセル

参考

CFメモリーカード内のすべての画像をリスト表示する場合は、「全検索開始」にカーソルを合わせ、**[Enter]**キーを押します。

検索

全検索開始

条件設定

検査番号 or 患者 ID	: 123456
検査日付	: 2007/12/31
CF画像	: 含める
FTP未転送バックアップ画像	: 含める
FTP転送済バックアップ画像	: 含める

検索開始

[↑][↓]移動 [Enter]選択 [Esc]キャンセル

- (6) 検索が完了すると、検索結果をリスト表示します。

リストのページを変更する場合は「検索結果 1/4 (~ 4/4)」にカーソルを合わせ、**[←]**、**[→]**キーを押します。

参考

- ・検索結果は新しいものから表示されます。
- ・リスト化できる件数は 1000 件までです。
- ・ネットワーク設定の「CFカードにバックアップ」を「する」にして CFメモリーカードにバックアップした画像データは、FTPサーバーに未転送の画像データであればマーク (🗑️) が、FTPサーバーに転送済みの画像データであればマーク (📁) が、検索結果のリスト番号の前に表示されます。

検索

検索条件 : 123456 NA

◀ 検索結果 1/4 ▶

番号	検査日付	患者ID	患者名	検査番号
01	2007/12/31	123456	フジ タロウ	0223459
02	2007/12/31	123456	フジ タロウ	0223459
03	2007/12/31	123456	フジ タロウ	0223459
04	2007/12/31	123456	フジ タロウ	0223459
05	2007/12/31	123456	フジ タロウ	0223459
🗑️ 06	2007/11/10	123456	フジ タロウ	0223457
🗑️ 07	2007/11/10	123456	フジ タロウ	0223457
🗑️ 08	2007/11/10	123456	フジ タロウ	0223457
09	2007/11/10	1234567	フジ ハナコ	0223658
10	2007/11/10	1234567	フジ ハナコ	0223658
11	2007/09/22	123456	フジ タロウ	0223456
🗑️ 12	2007/09/22	123456	フジ タロウ	0223456
13	2007/09/22	123456	フジ タロウ	0223456
🗑️ 14	2007/09/22	123456	フジ タロウ	0223456
15	2007/09/22	123456	フジ タロウ	0223456

◀ 検索結果 1/4 ▶

[↑][↓]移動 [Enter]選択 [Esc]キャンセル [N]転送 [D]削除

- (7) 表示する画像リスト番号にカーソルを合わせ、
Enter キーを押します。

検索

検索条件 : 123456 NA

◀ 検索結果 1/4 ▶

番号	検査日付	患者ID	患者名	検査番号
01	2007/09/22	123456	フジ タロウ	0223456
02	2007/12/31	123456	フジ タロウ	0223459
03	2007/12/31	123456	フジ タロウ	0223459
04	2007/12/31	123456	フジ タロウ	0223459
05	2007/12/31	123456	フジ タロウ	0223459
06	2007/11/10	123456	フジ タロウ	0223457
07	2007/11/10	123456	フジ タロウ	0223457
08	2007/11/10	123456	フジ タロウ	0223457
09	2007/11/10	1234567	フジ ハナコ	0223458
10	2007/11/10	1234567	フジ ハナコ	0223458
11	2007/09/22	123456	フジ タロウ	0223456
12	2007/09/22	123456	フジ タロウ	0223456
13	2007/09/22	123456	フジ タロウ	0223456
14	2007/09/22	123456	フジ タロウ	0223456
15	2007/09/22	123456	フジ タロウ	0223456

◀ 検索結果 1/4 ▶

[↓][↑]移動 [Enter]選択 [Esc]キャンセル [N]転送 [D]削除

選択したリストの画像がサムネイルで表示されます。

参考

検索機能のサムネイル表示から拡大表示した画像は、NTSC/PAL に設定された RGB TV/PC 端子、RGB TV 端子、ビデオ端子、S ビデオ端子に接続しているモニターにも表示されます。



プリント


001/999 01/99
M 47

[←][→][↓][↑]移動 [Space]選択 [Enter]拡大表示 [開始]プリントプレビュー [Esc]キャンセル



5.3.2 検索した画像の転送

CFメモリーカードから検索した画像の転送方法について説明します。

- (1) 「5.3.1 CFメモリーカード内の検索」の手順に従って、検索結果のリストを表示します。
リストのページを変更する場合は「検索結果 1/4 (～ 4/4)」にカーソルを合わせ、、キーを押します。



番号	検査日付	患者ID	患者名	検査番号
01	2007/12/31	123456	フジ タロウ	0223459
02	2007/12/31	123456	フジ タロウ	0223459
03	2007/12/31	123456	フジ タロウ	0223459
04	2007/12/31	123456	フジ タロウ	0223459
05	2007/12/31	123456	フジ タロウ	0223459
06	2007/11/10	123456	フジ タロウ	0223457
07	2007/11/10	123456	フジ タロウ	0223457
08	2007/11/10	123456	フジ タロウ	0223457
09	2007/11/10	1234567	フジ ハナコ	0223658
10	2007/11/10	1234567	フジ ハナコ	0223658
11	2007/09/22	123456	フジ タロウ	0223456
12	2007/09/22	123456	フジ タロウ	0223456
13	2007/09/22	123456	フジ タロウ	0223456
14	2007/09/22	123456	フジ タロウ	0223456
15	2007/09/22	123456	フジ タロウ	0223456

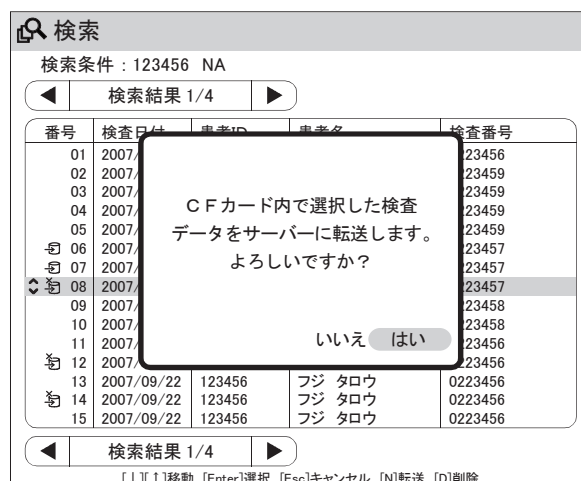
- (2) 、キーで、転送する画像リスト番号にカーソルを合わせ、「N」キーを押します。
「CFカード内で選択した検査データをサーバーに転送します。よろしいですか？」のアラートが表示されます。

「はい」を選択すると画像を転送します。

「いいえ」を選択すると検索結果の一覧表示画面に戻ります。

参考



ネットワーク設定画面の「使用」で「使用しない」を設定している場合、「N」キーを押しても、画像の転送はされません。



番号	検査日付	患者ID	患者名	検査番号
01	2007/			23456
02	2007/			23459
03	2007/			23459
04	2007/			23459
05	2007/			23459
06	2007/			23457
07	2007/			23457
08	2007/			23457
09	2007/			23458
10	2007/			23458
11	2007/			23456
12	2007/			23456
13	2007/09/22	123456	フジ タロウ	0223456
14	2007/09/22	123456	フジ タロウ	0223456
15	2007/09/22	123456	フジ タロウ	0223456

5.3.3 検索した画像の削除

CFメモリーカードから検索した画像の削除方法について説明します。

- (1) 「5.3.1 CFメモリーカード内の検索」の手順に従って、検索結果のリストを表示します。
 リストのページを変更する場合は「検索結果 1/4 (～ 4/4)」にカーソルを合わせ、、キーを押します。

検索



検索条件 : 123456 NA

検索結果 1/4

番号	検査日付	患者ID	患者名	検査番号
01	2007/12/31	123456	フジ タロウ	0223459
02	2007/12/31	123456	フジ タロウ	0223459
03	2007/12/31	123456	フジ タロウ	0223459
04	2007/12/31	123456	フジ タロウ	0223459
05	2007/12/31	123456	フジ タロウ	0223459
06	2007/11/10	123456	フジ タロウ	0223457
07	2007/11/10	123456	フジ タロウ	0223457
08	2007/11/10	123456	フジ タロウ	0223457
09	2007/11/10	1234567	フジ ハナコ	0223658
10	2007/11/10	1234567	フジ ハナコ	0223658
11	2007/09/22	123456	フジ タロウ	0223456
12	2007/09/22	123456	フジ タロウ	0223456
13	2007/09/22	123456	フジ タロウ	0223456
14	2007/09/22	123456	フジ タロウ	0223456
15	2007/09/22	123456	フジ タロウ	0223456

検索結果 1/4

[] [] 移動 [Enter] 選択 [Esc] キャンセル [N] 転送 [D] 削除

- (2) 、キーで、削除する画像リスト番号にカーソルを合わせ、「D」キーを押します。
 「CFカード内の選択した検査データを削除します。よろしいですか？」のアラートが表示されます。

「はい」を選択すると画像を削除します。
 「いいえ」を選択すると検索結果の一覧表示画面に戻ります。

検索

検索条件 : 123456 NA

検索結果 1/4

番号	検査日付	患者ID	患者名	検査番号
01	2007/			23456
02	2007/			23459
03	2007/			23459
04	2007/			23459
05	2007/			23459
06	2007/			23457
07	2007/			23457
08	2007/			23457
09	2007/			23458
10	2007/			23458
11	2007/			23456
12	2007/			23456
13	2007/09/22	123456	フジ タロウ	0223456
14	2007/09/22	123456	フジ タロウ	0223456
15	2007/09/22	123456	フジ タロウ	0223456




CFカード内の選択した検査データを削除します。
 よろしいですか？

いいえ はい

検索結果 1/4

[] [] 移動 [Enter] 選択 [Esc] キャンセル [N] 転送 [D] 削除

参考

- 削除した検査情報は、グレーアウトされます。グレーアウトされた検査情報は、、キーを押した場合、スキップされ選択することができなくなります。
- この操作をすると検査データは消去されますが、リスト番号は検索結果のリストに残ります。
 リストから消去するには、キーを押して観察画面に戻り、再度検索してください。

5.4 CFメモリーカードに記録された画像のプリント

CFメモリーカードから検索して表示した画像のプリント方法について説明します。

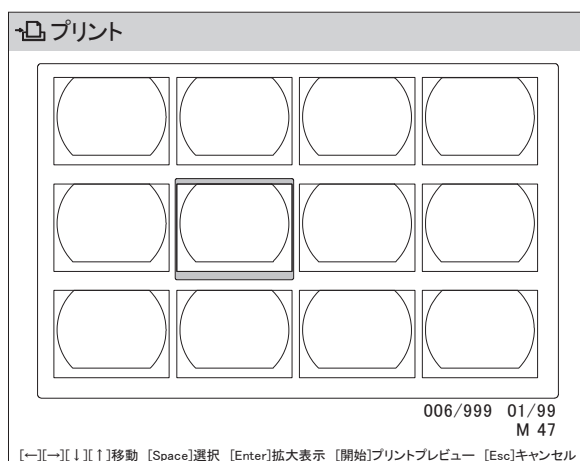
参考 CFメモリーカードから検索して表示した画像は、デジタルプリンター端子に接続されたデジタルプリンターおよび、NTSC/PALに設定されたRGB TV/PC端子、RGB TV端子、ビデオ端子、Sビデオ端子に接続されたプリンターでプリントすることができます。

プリンターの設定については、「2.9 プリンターの設定」を参照してください。

(1) 「5.3.1 CFメモリーカード内の検索」の手順に従って、画像をサムネイル表示します。

(2) **←** **→** **↑** **↓** キーで画像を選択します。選択されている画像はボックスカーソルで囲まれます。

最下段でさらに**↓**キーを押すと、次のページに移動します。



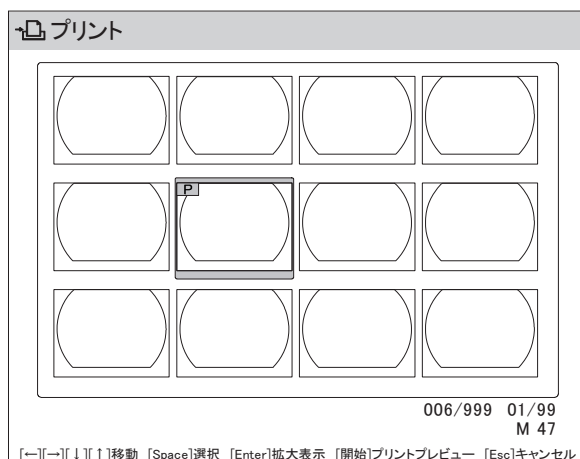
(3) プリントする画像にボックスカーソルを合わせ、**Space**キーを押します。

選択した画像に、「P」マークがつきます。もう一度**Space**キーを押すと「P」マークが解除します。

画像を選択した状態で**Enter**キーを押すと、選択した画像を拡大表示します。

参考

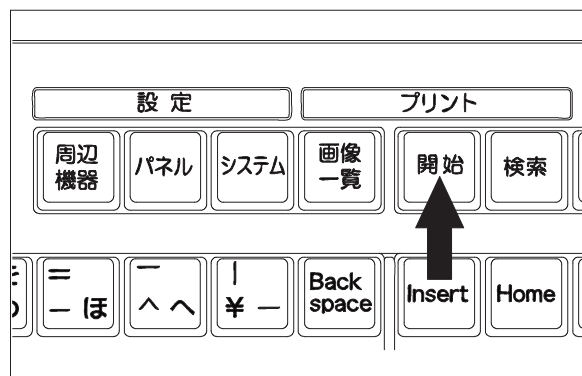
検索機能のサムネイル表示から拡大表示した画像は、NTSC/PALに設定されたRGB TV/PC端子、RGB TV端子、ビデオ端子、Sビデオ端子に接続しているモニターにも表示されます。



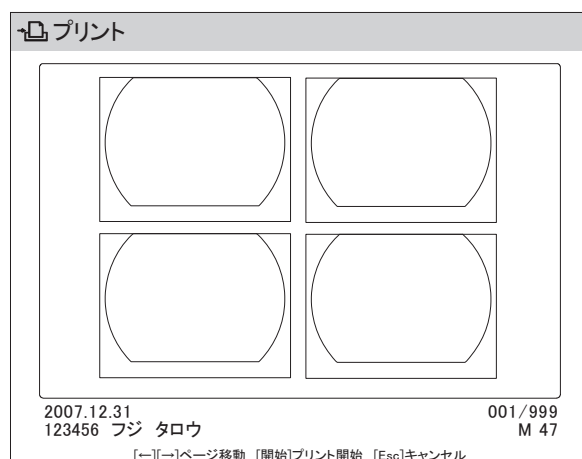
- (4) (2)～(3)を繰り返し、プリントする画像すべてに「P」マークをつけます。

〔開始〕キーを押します。

プリントプレビューを表示します。

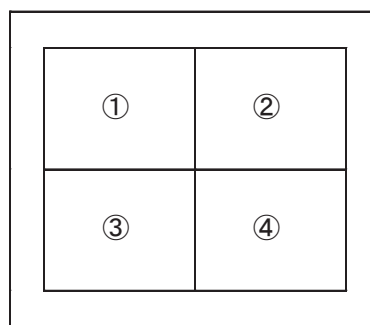


- (5) ◀、▶キーでプレビュー画面のページを変更し、すべてのプレビュー画像を確認します。プレビュー表示の状態は、プリンターの設定によって異なります。

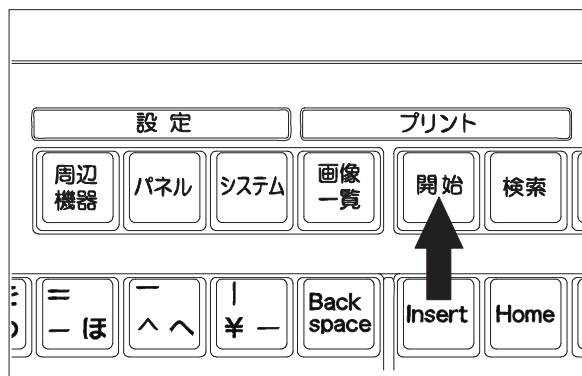


参考

「P」マークには「P1」「P2」等の番号が選択した順に振られます。プレビュー画面では、「P1」から順番に選択された画像が配置されます。



- (6) 〔開始〕キーを押します。プリントプレビュー画面に表示されているすべての画像をプリントします。



索引

C

CF メモリーカード 45, 134

F

FICE 81

R

RS232C 55

か

[画像一覧] キー 16
画像処理機能 75
カラー調整 98
観察モード 126
患者 ID 60
[患者] キー 8, 68
患者情報 59
患者情報入力画面 7, 59
[患者入力] キー 7, 59
患者名 60
患者リスト画面 8, 68

け

[検査] キー 17, 135
検索画面 17, 135
検査番号 59

こ

構造強調 75
コメント 123
[コメント入力] キー 9, 123

し

色彩強調 93
[システム] キー 16, 23
システム設定画面 16, 23
シャッタースピード 105
[周辺機器] キー 10
周辺機器設定画面 10
手技 62
[手技] キー 8, 39
手技名 39
手技リスト画面 8, 39

す

スコープ情報 63

せ

生年月日 61
性別 60

そ

測光モード 109

た

タイマー 124
[タイマー] キー 9, 124

と

特殊光観察プリセット設定 125
[ドクター] キー 8, 34
ドクターページ 119
ドクターページの設定画面 119
ドクターページ画面 9
[ドクターページ] キー 119
ドクター名 34
ドクターリスト画面 8, 34

ね

ネットワーク 51

は

[パネル] キー 11
パネルスイッチ設定画面 11, 12, 13, 14, 15

ひ

ピーク検出レベル 113
表記の説明 6

ふ

プリンター 55
プリント 141
プリント画面 16

ほ

本体メモリー 133

れ

連絡事項 42, 63
[連絡事項] キー 9, 42
連絡事項リスト画面 9, 42

製品のお問い合わせ窓口について

製品のお問い合わせ先

電話番号：**0570-02-7007** (ナビダイヤル)

富士フイルムメディカル株式会社

〒106-0031 東京都港区西麻布二丁目 26 番 30 号

電話番号：03-6419-8045

製造販売業者 **富士フイルム株式会社**
〒258-8538 神奈川県足柄上郡開成町宮台798番地

販売業者 **富士フイルム メディカル株式会社**
〒106-0031 東京都港区西麻布二丁目26番30号